

河合奈保子の生かし方

平成 21 年 2 月 25 日(水) 完成

有馬輝男

第 1 章	はじめに	2
第 2 章	過去の教訓	3
2.1	シングル作品の傾向	3
2.2	衰退期でのナオタン側の問題点と其の対策	8
2.2.1	シングル作品の軽視	9
2.2.2	中途半端な作曲能力でほとんどすべての曲を手がけた	11
2.2.3	女趣味的作風や個人的な好みへの執着	13
2.2.4	企画力, マネジメント力が低いにもかかわらず作品製作を主導	15
2.2.5	水着姿がなくなった	15
2.2.6	恵まれなかった製作陣	16
2.3	衰退期の活動をどうすればよかったか	17
第 3 章	売れる為に必要な事項	18
3.1	Youtube で観察された現在のナオタンファンの傾向	18
3.1.1	調査方法	19
3.1.2	調査結果	21
3.1.3	曲の発売時期と人気順の関係の考察	28
3.1.4	水着映像の人気度に関する考察	29
3.1.5	Youtube 調査で得られた知見のまとめ	30
3.2	音楽の曲やアレンジに客観的優劣はつけられない	30
3.3	一般的なヒット曲ではアップテンポの方が多い	35
3.4	男の収集癖について	48
3.5	カバー曲の有効性	49
3.6	ファンとの双方向的関係の構築について	49
3.7	CG と人工音声を使ったバーチャル・ナオタン実現のメリット	52
3.8	歌手や作曲家の不規則な労働環境を改善すべきである	55
第 4 章	販売戦略のまとめ	57
おまけ	運命を切り開くにはその運命の女神をぶちのめせばよい	58
第 5 章	その他のナオタンの考察	60
5.1	ナオタンの将来の行動予測	60
5.2	ナオタンの表象について該当する政略論の記述	61
5.3	ナオタンの身体能力, 容姿を維持するにはどういう方策が考えられるか	63
5.5	バイオ・ナオタンについて	66
第 6 章	結言	67
第 7 章	参考文献	68

第1章 はじめに

河合ナオタンは自分が良いと感じたアイドル系歌手の中の一人である。何故こうもナオタンにこだわるのかという点他に自分が良いと感じた女でヒットを連続して飛ばしたのが見当たらないからである。2,3年前にナオタンについて研究してレポートにまとめたのだが、その不十分な点を改善したかった。自分は昭和50年代アイドルに関しての知識が数年前に比べて格段に向上している。

見た目だけ、歌唱力だけの人間ならそこら辺に沢山いる。だが河合ナオタンは見た目と歌唱力どちらも優れているのが売りである。特にアイドル前半中盤の曲に佳作が多いと感じる。アイドル初期の頃はコンスタントな売れ行きを見せていたものの、前半の勢いのわりに特に昭和61年以降の売り上げ低下が激しい点を究明し、このような優れた人材を純粋に素材として活用して其のプロジェクトを成功に導くにはどうすれば良いかと自分は考察したいと考えた。本論分ではナオタンが昭和60年代から平成初期にかけてどういう曲の売り出し方をすれば安定してヒット曲を作り出せる事ができたか、今後どういう点をふまえて音楽活動すれば好調な売り上げを維持できるかを論考した。ここで自分はナオタン本人の希望や嗜好を完全無視し、歌手の素材として売り出す事のみを仮定して論考をすすめた。であるので本論考でのアイデアは本人の意思とは関連性が薄く、ナオタン分野での実現性に乏しい。現在のナオタンは富豪と結婚し、体を担保に莫大な財を得て生活できている。仮に離婚しても莫大な慰謝料が懐に入るので人生安泰である。多くのファンが喜ぶ曲をリリースしていく事に知力や労力を費やさずとも生活に困る事はないのである。であるからナオタンは同人趣味的な音楽活動だけ行い、贅沢三昧で悠々自適の生活を送り続けて生涯を終えていくであろう。

本論文はナオタンの為よりむしろ見た目と歌唱力を両立できる40代程度の元アイドル系の歌手の為になるのではと思う。であるから本論考は無意味ではない。河合奈保子を参考例としてその音楽プロジェクトを持続的成功に導くにはどうすれば良いかが重要なのである。自分は凡人とはアプローチの仕方が違う。平凡なファンの場合、好きな芸人のやる事なす事を好意的に表現しがちになるが、この論文ではマキャベリズムに基づき感情論を極力排除し、現実を直視してなるべく論理的かつストレートに記述をした(まだまだ詰めは甘い!)。又、マキャベリの「君主論」、「政略論」で参考になる文章をいくつか引用した。本質を突いた直接的な表現は知性と実学に富み、非常に美しい。科学的探究は真理に近づける唯一の手段である。科学はこの世に存在するあらゆる外的挙動に対して適用可能である。うわべの言動や理想論、周囲の評判、個人の思い込みに惑わされずに現実に観察された外的挙動の直視からその本質や真理を追究していく。

本論考では

第2章で主にナオタンシングル作品からその音楽活動の問題点を探る

第3章でナオタンが売れる音楽活動をするためにさらに必要な要素や守るべき原則などについて枚挙

第4章で2,3章からえられたナオタンが売れる販売戦略の結論をまとめる

第5章で音楽活動以外のナオタンについての考察を行う

自分は感情のやりとりや共感は一切しない主義である(感情の専有及び感情不介入の原則)。「感情」ではなくナオタンを売れる歌手にしようとする場合にとりうる方策や販売戦略についての「理論」を伝えたいのである。

第2章 過去の教訓

本章では過去の音楽作品やその売り上げを考察し、其の問題点をまとめる。過去の失敗を分析する事は過去の過ちを繰り返さずに之からどういう活動をすべきかを検討する上で非常に参考になるのである。以下のような流れで説明する。

2.1 シングル作品の傾向

シングル作品の傾向について分析し、その売上枚数と曲の傾向から観察された特徴について考察する

2.2 衰退期での問題点と其の対策

ナオタンのハーフムーンセレナーデ以降の音楽活動の問題点について考察する

2.3 衰退期の活動をどうすればよかったか

2.1,2.2 節の結果から衰退期の活動をどうすればよかったかをまとめる

ナオタンの之までに発売したアルバムとシングルの傾向から其の活動実態を解析し、其の問題点と当時考えられうる解決策について考察を行う。シングルの売り上げ枚数はシングルチャート大辞典から引用した。アルバムの売り上げ枚数は不明である。ハーフムーンセレナーデ以降の売り上げの低下原因に特に着目して解析する。一応自作曲はナオタン自ら作曲したと言う事になっているが、それらの作品の一部または全部が別のアーティストが代わりに作曲したという可能性も否定できない。自ら創作したとしても他のアーティストの作品を真似たり助言を誰かから得るという可能性もある。芸人がゴーストライターや別の作曲作詞家が代筆した本や曲を自分の創作物であるとして出す例は非常に多い。

2.1 シングル作品の傾向

現在入手できるシングル売り上げはシングルチャート大辞典しかないのでそこに掲載されている昭和 5,60 年代のアイドル系歌手と売り上げ傾向を比較する。シングルチャート大辞典から引用したナオタンシングルレコード売り上げ一覧を表 2.1 に示す。また、図 2.1 は横軸を時間軸である発売年月(デビューシングル発売日を原点)、縦軸を売り上げ枚数(万枚)としてその数値変動をグラフに表したものである。 A_i 年 B_i 月 C_i 日にデビューシングルを基準とした場合の A_1 年 B_1 月 C_1 日に発売されたシングルの横軸 X_i の位置は式(2.1)のとおりである。簡単な為うるう年は計算せず、一年を 365 日として計算している。

$$X_i = A_i - A_1 + \frac{B_i - B_1}{12} + \frac{C_i - C_1}{365} \quad (2.1)$$

表 2.1 の曲名の部分のセルは色分けされているが之は表 2.2 のように分類した物である。ここでのアイドル調という定義は昭和 50 年代のアイドルの初期の曲に多く見られるマイナーなアイドル歌謡的な曲をさす。その様な傾向の明るい曲は桃色のセルで表す。稚拙でダサいと感じる曲も桃色のセルで表す。デビューして数年たって対象年齢が上がった曲調になっていくのが一般的だがそこで多く見られるディスコサウンド的な明るい曲は黄色のセルで、テンポののろい曲とバラード調の曲は薄紫で表す。之の分類法は自分個人の聞いた感覚によるものであり、必ずしもこの分類が正しいとはいえない場合がある。例えばハーフムーンセレナーデはバラード調の曲と分類するのは自明だがハーバーライトメモリーズや Searchin For Tomorrow はアイドル調なのかそうでないのか聞き手により個人差が出る。解釈に難があるなら桃色と黄色のセルがアップテンポ、薄

紫色のセルがローテンポの曲であると簡単化して解釈するとよい。また、曲の傾向を 3 種類に分類するやり方はナオタンの曲を分類するのに適したやりかたではあるが必ずしもどのアイドルにも適用可能というわけではない。例えば相楽晴子, 中山美穂, 中森明菜などの曲を分類するとして別な解釈を導入する必要がある。図 2.1.1 と表 2.1.1 がナオタンのシングル売上枚数とシングル発売日のデビューシングル発売日からの経過年数との関係である。

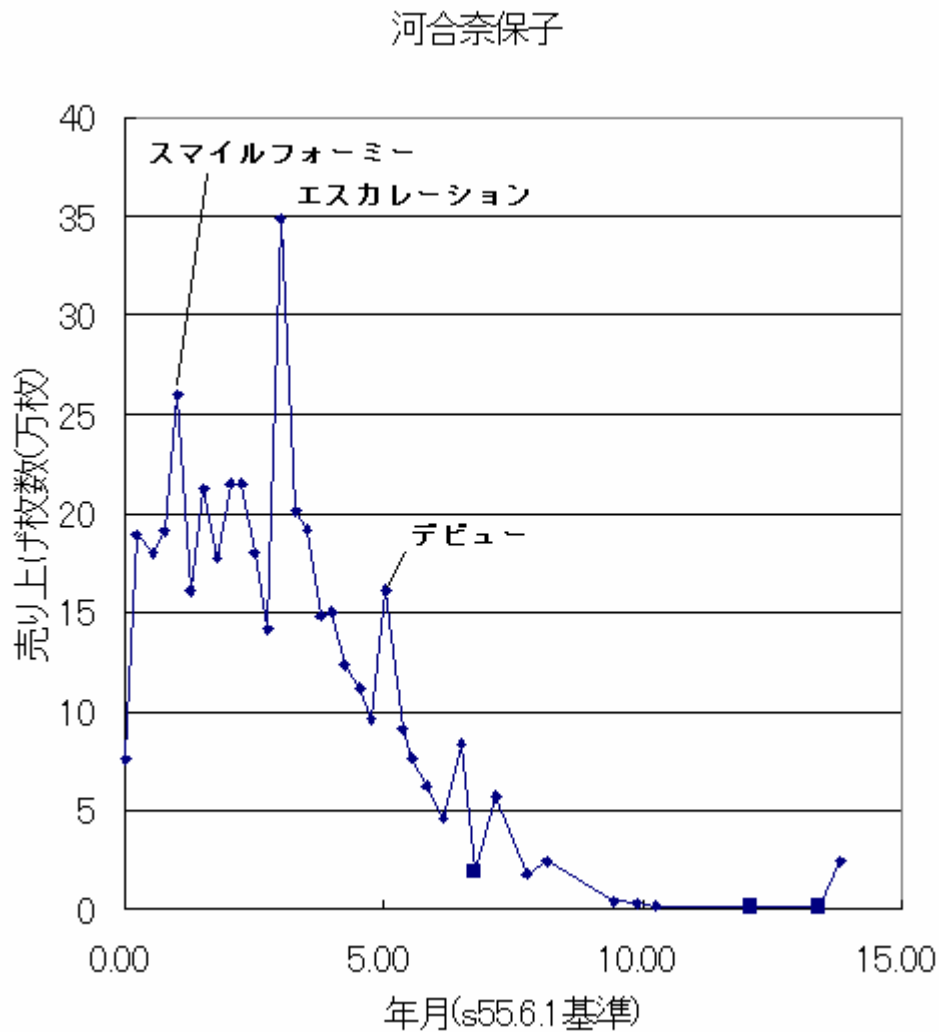


図 2.1.1 ナオタンシングル売り上げ枚数の変動 売上枚数は文献(2)より
 思い出のコニーズ・アイランド, Golden Sunshine day, エンゲージはデータがないので仮の値として其々2,0.2,0.2を代入してほかの値のマーカーに比べて大きな正方形のマーカーで表示している。

表 2.1.1 ナオタンシングル売り上げ一覧 売上枚数は文献(2)より

通し番号	シングルA面曲名	シングルB面曲名	売り上げ(万枚)	オリコン最高位	発売日
1	大きな森の小さなお家	ハリケーンキッド	7.6	36	80.6.1
2	ヤング・ボーイ	青い視線	18.9	13	80.8.25
3	寝ています	そしてシークレット	18	14	80.12.10
4	17才	キャンディラブ	19.1	11	81.3.10
5	スマイル・フォー・ミー	セレネッタ	26	4	81.6.1
6	ムーンライトキッス	あなたはロミオ	16.1	11	81.9.1
7	ラブレター	NoNoBoy	21.2	11	81.12.5
8	愛をください	春よ恋	17.7	7	82.3.10
9	夏のヒロイン	ゆれてーあなただけ	21.5	7	82.6.10
10	けんかをやめて	黄昏ブルー	21.5	5	82.9.1
11	Invitation	木枯らしの乙女たち	18	8	82.12.1
12	ストロー・タッチの恋	若草色のひで	14.2	9	83.3.1
13	エスカレーション	恋のハレーション	34.9	3	83.6.1
14	UNバランス	リボンパター	20.1	4	83.9.14
15	疑問符	冷たいからヒーロー	19.2	4	83.12.1
16	微風のプロディー	プリズムムーン	14.8	7	84.3.1
17	コントロール	夏の日の恋	15	7	84.6.1
18	春のプライマシー	スピウスの謎	12.4	4	84.8.28
19	北風のソリチュード	バラードをやめて	11.2	6	84.12.5
20	ジェラス・トレイン	ファーストステップでもう一度	9.6	6	85.3.5
21	デビュー	マンハッタンジョーク	16.1	1	85.6.12
22	ラヴェンダー・リップス	I'm In love	9.1	5	85.10.3
23	THROUGH THE WINDOW	白い影	7.7	7	85.12.12
24	涙のハリウッド	ジャズミンの夢嫁り	6.2	7	86.4.1
25	刹那の夏	プールサイドが切れるまで	4.6	10	86.7.24
26	ハーフムーン・セレナーデ	Sentimental Sugar nain	8.4	6	86.11.26
27	思い出のコニース・アイランド	妹の少女	不明	不明	87.3.1
28	十六夜物語	ピアノ演奏	5.7	10	87.7.24
29	恋しい人	やさしさの贈りもの	1.8	21	88.3.1
30	Harbour Light Memories	GT天国	2.5	18	88.7.21
31	恋しみのアニバサリー	あなたへ恋ぐ	0.4	74	89.11.10
32	奥・幸	Searchin' for tomorrow	0.3	74	90.4.10
33	眠る・眠る・眠る	懸情	0.2	97	90.9.1
34	Golden sunshine day	Alone Again - Starting	不明	圏外	92.6.21
35	エンゲージ	言葉はいらない	不明	圏外	93.10.21
36	夢の跡から	心の風景	2.5	60	94.3.21

表 2.1.2 曲の傾向の分類

セルパターンの曲の傾向別色分け方法 (自分個人の感覚による分類なのであくまで目安にしてほしい)	
	明るい曲(ディスコ調、青年向け)
	明るい曲(低年齢向けアイドル歌謡)
	のろめの曲、バラード、退屈ソング

表 2.1.1 と図 2.1.1 から観察される傾向は以下のとおりである。自作曲メインになった時の衰退時期と其の前の傾向を特に注目する。

- (1) シングル A 面についてはエスカレーション以前はアイドル歌謡偏重になっているが非常に高く安定した売り上げ規模を保っている

- (2) アイドル全盛期はデビューから4年位までで昭和59年ごろから売り上げ規模の減少が始まっている(第一衰退期).
- (3) エスカレーション(ローズマリー・バトラーの汚れた英雄や野口五郎の真夏の夜の夢に酷似)から涙のハリウッドまでは明るい曲, 暗い曲まんべんなくリリースされ, 非常に多様性に富んでいた
- (4) 刹那の夏以後はのろい曲偏重になっているが全体的に売り上げ規模は昭和59,60年ごろの時期よりもはるかに減衰している(本格衰退期)
- (5) ハーフムーンセレーナで以降売り上げが激減しているにもかかわらずなおものろい曲に固執していて欠点を改める気配が殆ど見られない. リリース間隔もばらばらである

(1)に関しては売れているアイドルならばよく見られる傾向である. 明菜のようなツッパリ路線は例外的であるが昭和50年代では売れているアイドルはデビューして1年から数年間は比較的低年齢層向けのアイドル歌謡やマイナー調の明るい曲ばかりを前面にだして売り出す. そしてそのやり方で一定期間売れたらおのおの方向性を目指していくのである. 大概アイドルが最も安定して売れる時期は一部の例外を除き, デビューして数年間に集中している. この時期に獲得したファン層は大事にすべきである.

(2)についての考察

昭和59,60年には楽曲の充実に反して売り上げ規模が低下している. 之には2つの要因が考えられる. 一つは次々と新しいアイドルが音楽市場に供給される中でアイドルとしての勢いが落ちてきたと言う事, もう一つは昭和60年代前半期の音楽業界全体の売り上げ不振である. 図2.1.2はナオタンのデビュー後10年までのシングル売り上げを昭和50年代後半の主だったアイドルであるブス田聖子, 小泉今日子, 中森明菜, こけし原芳恵を比較したものである. 横軸は式(2.1)の時間軸をナオタンのデビューシングルを原点にとっている. 図2.1.2からも分かるように前半の5年に比べ, 後半の5年の売り上げ枚数が全体的に下がっている. また図2.1.2に示したアイドルすべてでデビューして3,4年程度たったら売り上げ規模が落ちているのが観察される. 売り上げ規模でナオタンを上回るアイドルですら同様の傾向を示している為, 59,60年ごろの売り上げ低下は音楽の方向性にかかわらずほぼ不可避であったと考えられる.

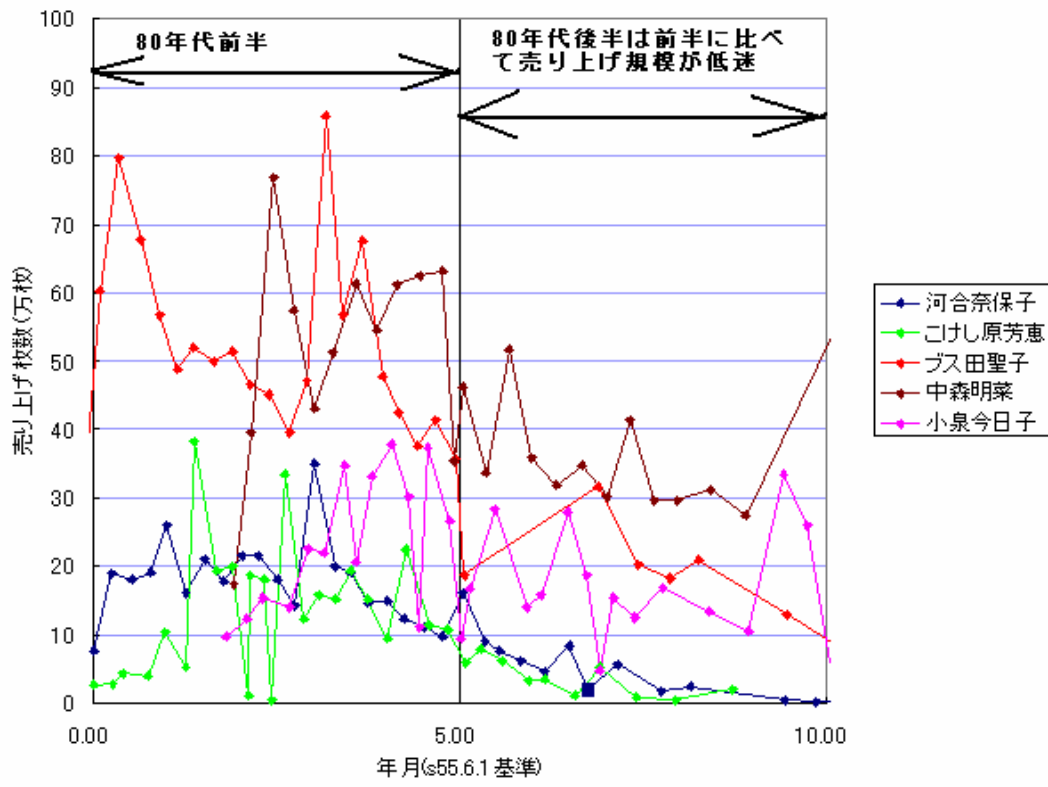


図 2.1.2 ナオタン、ブス田聖子、小泉今日子、中森明菜、こけし原芳恵の比較 文献(2)-(6)より
 曲名は省略 周りのマーカーに比べて大きな正方形のマーカーの値は仮の値である事を表す

(3)に関しては表 2.1.1 のセルの色を見ればわかる。アイドル初期(全盛期)ではアイドル歌謡偏重であり、それ以後の衰退期はのろい曲偏重である。アイドル歌謡全盛であったのをエスカレーションで完全に従来の方式を置き換えたのではなく、従来のアイドル歌謡の割合を減らしつつも持続させ、そこにのろい曲、ディスコ調アップテンポを加えて多様性を出しているのである。色々な曲を歌えるナオタンの能力が存分に発揮できる売り出し方であり、音楽性に関してはこのころがピークであったのではないかと自分は考えている。

(4)の昭和 61 年からのナオタン売り上げ衰退期についてはナオタンの音楽作品自体の問題と 80 年代後半の音楽業界の不振、他のアイドルに人気を奪われた事が原因として挙げられる。

まずナオタン自体の問題点を述べる。のろい曲偏重路線に入り、昭和 59 年までは芸映の先輩であったブス崎宏美のマドンナのララバイ、家路の路線を真似ようとしたようであるが、その評判は図 2.1.1 の売り上げ枚数の推移を見ればわかるように明らかに芳しくない。また、岩崎宏美は相当なブスであるのに対しナオタンは美形(自分の計算では 100 点満点中通常形態では 93 点、スーパーナオタン変身形態では 96 点)であり歌手としての特性もファンの全体的な特性が違うのにもかかわらず同じような行動をとって成功するほうが稀である。衰退の原因はのろい曲偏重路線への変更が従来のファン層にあわないだけでなく新しいファンの獲得もし損ねたという要素が大きいのではないかと。衰退期が昭和 60 年代の音楽作品の売上不振時期に重なったのも要因として考えられるが明菜や今日子のようにある程度の売り上げ水準を保ったのもいるので路線変更の仕方しだいでは一方的な衰退に陥らずにすんだと考えられる。

80年代後半の売り上げ不振に関しては周知の事実であるので論述を省略する。新しくデビューしたアイドルに人気を奪われた事について述べる。特に昭和60年頃からのおにゃん子クラブがブームになった事がナオタンの人気を大きく落とす事にも貢献してしまったと考えられる。おにゃん子クラブはやたらと人数の多い集合体そのものだけでなくメンバーのソロ(工藤静香, 国生さゆり, 新田恵利, 河合その子, 高井麻巳子, 城之内早苗, 渡辺美奈代, 渡辺満里菜, 生稲晃子など)またはグループ(うしろ髪ひかれ隊, うしろゆびさされ組, ニャンギラス)による音楽作品も同時に出して、なおかつそれらの多くが売れたため、ただでさえ音楽作品の売り上げ規模が低下しているのにその少ないパイを奪われる事となったのである。昭和61年の年間売り上げベスト50に入ったおにゃん子系列の歌手の作品数は14曲にのぼる。だがその種のブームは長続きしないもので、昭和62年以降は工藤静香などのソロ活動以外はそのブームも陰をひそめた。

メンバーの大半の見た目が5流、歌唱力は素人、歌う曲自体も小中学生むけアイドル歌謡が多いのだが一度ブームに火がつくと爆発的に売れてしまった。商業的に成功し、ブームになるとその人間のやる事なす事をもちあげる風潮にあるのがメディアの特徴でもある。たとえばサザンは商業的に成功してやる事なす事肯定報道をされる影響からかその醜い外見すらも格好良いともてはやす人間が多くなっている。他に売れている歌手の見た目が凡人クラスまたは劣悪である人間を容姿端麗であると虚偽報道を行う風潮は売れていた頃のキャンディーズ藤村美樹と伊藤蘭、ブス崎宏美, 山口百恵(当時の百恵はブスではないが美形でもない), ブス田聖子に対する見た目の評価などにも見られる。嘘は100回つけば本当の事になってしまい、ブスを美人ともてはやせば多くの人間が大衆心理を利用した術策やプロパガンダにだまされてしまう。本当に賢い人間は全体の数%程度であり、それ以外は時代に流され目先の利益と既成概念にとられるだけの感情的なサルの延長線上である。そして一度その流行災害の犠牲になった歌手は人気は凋落すると再ブレイクするのが非常に難しい。人も歌も質が低いおにゃん子クラブが一時的に売れたのはアイドル歌手にとっては音楽業界全体の不況同様、不幸な天災としかいいようがない。

(5)ののろい曲への固執とシングルリリースが少なくなった事について述べる。のろい曲への固執の原因は自己の個人的な好みを表現する事に固執していて販売戦略を欠いた作品リリースをしていたからではないか。個人的な好みによる運任せの作品リリースは殆どの場合ファンとのミスマッチを生じる。結果的に売り上げ水準の低迷をもたらした。現実的に個人的趣向の一致はめったに起こるものではなく、起こったとしても一過性の線香花火で終わり、長くは続かないだろう。歌手は沢山いるが、持続的に売れるアーティストはほんの一握りである。シングルリリースが少なくなったのは音楽活動に費やす労力の度合いが低くなったのかアルバム重視、シングル軽視にしたからと考えられる。音楽活動は消極的になり、女優業やバラエティ出演が増えたのもこのころからである。

2.2 衰退期でのナオタン側の問題点と其の対策

もちろん前述の80年代後半期の音楽不況、おにゃん子ブームによる流行災害も昭和60年代以降の売り上げ低下の原因としてあげられるがここではナオタン自身の問題点を提起し、その対策について述べる。ここで述べるナオタンの問題点はシングル作品の軽視、中途半端な作曲能力で殆ど全ての曲を作曲するようになった事、個人的趣味や女趣味的作風への固執、企画力、マネジメ

ント力が低いにもかかわらず作品製作を主導した事、水着写真がなくなった事、製作陣に恵まれなかった事である。

2.2.1 シングル作品の軽視

図 2.2.1 はナオタンと秀美のシングル売り上げの比較を行った(横軸は時間軸でナオタンデビューシングルを原点にとる)のだがハーフムーンセレナーデ以降のナオタンは明らかに作品を出す頻度が落ちている。昭和 62,3 年は年 2 枚, 其れ以降は年 1 枚ペース(平成 3 年はゼロ)であるのに対し同時期の秀美は衰退期でも大体年 3 枚リリースをしていた。また, 衰退期にナオタンはのろい曲偏重であったが秀美は明るい曲主体でインパクトのある曲を出そうと心がけていた。秀美も結果的に歌手活動は破滅したが, ナオタンは知名度やファンの規模からいって明らかに秀美よりも有利である。

アルバム作品に関しては平成 2 年までは年 1 枚のペースで出し, 衰退期でもいろいろと工夫をこらしてそれなりに力をいれていたが, シングル作品に関しては同じような曲ばかり出し, リリース間隔も延びている。これはシングル作品を軽視していたからではないか。表 2.2.1 は秀美のシングル曲一覧であるが, 昭和 60 年代の衰退期でものろい曲に偏重してはいない。

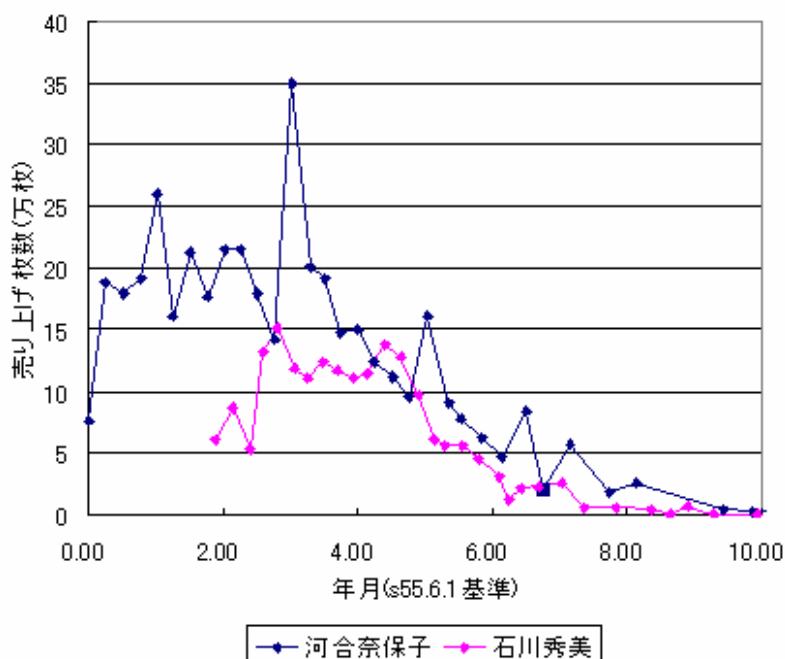


図 2.2.1 ナオタンと秀美のシングル売り上げ枚数の変遷 文献(2), (7)より
 周りのマーカーに比べて大きな正方形のマーカーの値は仮の値である事を表す

表 2.2.1 石川秀美のシングル売り上げ一覧 売上枚数は文献(7)より

通し番号	シングルA面曲名	シングルB面曲名	売り上げ(万枚)	オリコン最高位	発売日
1	妖精時代	海のスケッチ	6.09	31	82.4.21
2	ゆ・れ・て・淋雨	弄じられた恋の鳥	8.669	29	82.7.21
3	哀しみのプリザード	あなたがNo.1	5.346	29	82.10.25
4	夏のペーパームーン	恋はパニック	13.208	15	83.1.1
5	Hey! ミスターポリスマン	さざ波	15.101	10	83.3.21
6	恋はサマーフィーリング	ブルー・ネイビー・ブルー	11.869	10	83.6.21
7	バイ・バイ・サマー	踊りましょう	10.971	10	83.9.1
8	スターダストトレイン	フィジカル・ダンシング	12.406	10	83.11.22
9	ゆさゆ	STAND UP LOVE!	11.706	8	84.2.8
10	夏のフォトグラフ	プールサイド・シネマ	11.091	8	84.5.3
11	動風	感じてPIPI	11.371	6	84.7.25
12	ミステリーウーマン	飛行	13.81	5	84.10.24
13	もっと接近しましょ	あなたとタイロープ	12.793	4	85.1.23
14	あなたとバブニング	ボーイハント・クラブ	9.668	8	85.4.24
15	Sea Loves You〜キッスで隠して〜	八月のジブシー	6.153	10	85.7.17
16	恋の呪文	振られた気分	5.547	7	85.9.18
17	サイレンの少年	ウインター・リポート	5.576	10	85.12.18
18	春恋恋恋恋	女医	4.507	13	86.3.12
19	SHADOW SUMMER	RAIN GLASS	3.027	18	86.7.9
20	LOVE COMES QUICKLY〜恋の群	CLOUDY SUNDAYにさよならを	1.188	35	86.8.27
21	危ないボディビート	Serious Pages	2.174	17	86.11.5
22	密室のハリケーン	13回目のミステーク	2.238	18	87.2.11
23	禁断な男気	真夏にシリアス	2.576	29	87.6.17
24	デス・トラップ	真夜中のジュリエット	0.547	48	87.10.14
25	Everynight	貴い影	0.566	82	88.4.1
26	ドレスの下の狂熱曲	Quarter Back	0.439	67	88.10.5
27	プライヴェート スード	未完品(NOT FOR SALE)	不明	圏外	89.1.21
28	Silence Blue	1000 NIGHT	0.643	74	89.4.21
29	もっとe-vous-alma	REGKY TOWNING	不明	圏外	89.9.21
30	LUCY	人魚伝説	不明	圏外	90.5.2

表 2.1.2 曲の傾向の分類

セルパターンの曲の傾向別色分け方法 (自分個人の感覚による分類なのであくまで目安にしてほしい)	
	明るい曲(ディスコ調、青年向け)
	明るい曲(低年齢向けアイドル歌謡)
	のろめの曲、バラード、退屈ソング

シングル作品を軽視する(ここではファン受けしないのろい曲ばかりで年間に出す枚数が少ないという事)という事はシングルの売り上げ低下をもたらす。その売り上げ低下は歌手としての自身の音楽番組の出演やメディアでの宣伝の機会が少なくなり、アルバムの売り上げにも悪影響を与える事になる。メディアの出演や宣伝、曲の披露もシングル曲を主体にしている。アルバム作品の宣伝機会もシングル作品の其より少ない。アルバム曲自体をメディア等で披露する機会も宣伝する機会よりもさらに少ない。結果的に図 2.2.2 のようにアルバムをだしてもどういう感じのアルバムなのか大衆に伝わらず、買う気にならなくなる。間接的にシングルの売り上げがアルバムの売り上げを左右する。アルバム作品が力を入れていたのにもかかわらず毎年のように売り上げを落としていた一因としてシングル作品の軽視があげられる。最終的にシングルだけでなく力を入れていたアルバムすらも売れなくなり、ナオタンの歌手活動そのものを自滅させたのである。

対策としてはアルバムだけではなくシングルも重視し、きちんとした販売戦略の下で活動する事が挙げられる。

・ シングル作品の売り上げ低下



シングル作品に比べてアルバム作品の宣伝機会は少ない
視聴率の高い歌番組は売れるシングル作品の披露が基本

・ 歌手としてのTV,ラジオ出演減少



- ・歌手としての知名度低下
- ・音楽製作環境、製作陣にコストがかけられない
- ・アルバム作品自体の宣伝機会が少ない

・ アルバム作品の売り上げ低下につながる

図 2.2.2 シングル作品の売り上げ低下のアルバム作品に及ぼす悪影響

2.2.2 中途半端な作曲能力でほとんどすべての曲を手がけた

ナオタンは確かに他のアイドルよりは音楽性が高い。歌唱力だけではなく曲も作れ、マンドリン、ギター、ピアノ、腹太鼓などの多彩な楽器も弾ける。だがそれは付け焼刃にすぎない。ナオタンの曲には他の作品をまねた曲が非常に多い。たとえばハーフムーンセレーナードはブス崎の思秋期、十六夜物語は同じくブス崎の家路や春おぼろ、緋の少女(昭和 61 年 11 月発売のスカーレットのアルバム曲)は秀樹のブーメランや早見優の CLASH(昭和 60 年 11 月発売)、ロードサイドダイナーは石川優子の誘惑のプレリュード、ハーバーライトメモリーズは本田美奈子の Oneway Generation、渡辺真理奈のホワイトラビットからのメッセージ、桑田佳祐の悲しい気持ち、言葉はいらないは石川優子の思い出のオルゴールに酷似している。他の曲に関してもほとんどマイナー調であり、オリジナリティに乏しい。つまり他作品の劣化コピー、リアレンジかマイナー調の歌謡曲を作る程度の能力でしかないと考えられる。確かにそういう能力はある程度の音楽性が備わった人のなせる業でもあるが、それ以上の物でもない。アルバム、シングルの自作曲は色々聴いてみたがたとえていうならばナオタンの作曲能力は石川優子を劣化させたレベルである。そしてそれらの自作曲の殆どが全盛期、成熟期のヒット曲に比べて売れていない。だからナオタンの作曲能力は所詮歌手活動をする上での付け焼刃にすぎないのである。

対策としては歌手活動をするにあたってさほどセールスに影響を及ぼさない重要度の低いつなぎの役割をもった曲の作曲をナオタンが担当し、重要な曲に関しては他の色々なアーティストに製作を頼むという役割分担(図 参照)をすればよいのである。その役割分担をした上で(実際に他のアイドル出身の歌手よりは高い音楽性であるので)音楽性が高い云々を宣伝材料にすれば売り上げも伸び、歌手兼作曲家としての地位を確立できる。また、ナオタン自身も作曲を担当する事で創作意欲へのはけ口と自己満足に浸る事ができ、歌手活動のモチベーションが高まる。中途半端な能力も自身の能力の限界を自覚した上でほどほどに行使すれば他作曲や過去のヒット曲の相乗効果が利用できてプラスに働く。能力や手段は其の特性にあった生かし方がある。低くもなく高くもないという中途半端な作曲能力は作品すべてに用いてしまうと自身を破滅させる事になる(実際そうなった)が能力を生かす範囲をきちんと限定すればプラスの方向に働くのである。手段

は目的の達成(ナオタン作品の売り上げ向上)のために最適化されるべきである。

以上の事を図 2.2.3 のようにまとめる。

ナオタンの歌う作品が売れるようにする為の基本原則

- ・売れる曲を作りたいならば自作他作を問わず全ての新曲の傾向やコンセプトは全て販売戦略に基づいて決定し、其の指示に従って作品を作る
- ・基本的にアルバムの根幹をなす曲、シングル勝負曲などはナオタンファンが喜ぶ傾向にあるインパクトの強い作品を作れる多彩なアーティストが作詞作曲を担当

ナオタン自作曲の役割分担

他のアイドル出身歌手よりは音楽性が高いので部分的に利用価値がある

(1)シングル

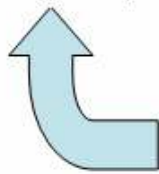
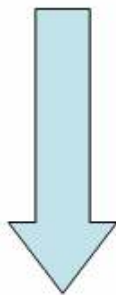
- ・主にB面の作曲を担当
- ・重要でない作品のA面(勝負曲の一つ前のシングルA面など)を担当
- ・ナオタン自作アルバム曲でもファンの人気が高い作品はシングルカットする

(2)アルバム

- ・重要でない曲や勝負曲のつなぎを担当

(3)コンサート

- ・ヒット曲や人気のある曲のつなぎを担当



ナオタンの中途半端な作曲能力
バラード調、退屈曲に固執したがる
マイナー調の曲が多い
他作曲のリアレンジ、劣化コピーが多い

メリット

- ・きちんとした販売戦略と宣伝に基づくと音楽作品の安定した売り上げが期待できる
- ・ナオタン自作曲が退屈曲ばかりでも周りの勝負曲が売れると其の相乗効果に便乗できる
- ・歌手兼作曲家の肩書きが宣伝材料に出来る
- ・ファン離れを誘発せずに創作意欲のはけ口が作れるのでナオタン自身の音楽活動の意欲が保てる

図 2.2.3 ナオタンの良くも悪くもない自作曲を生かすための術策の例

2.2.3 女趣味的作風や個人的な好みへの執着

シングル、アルバムどちらにもいえる事であるがナオタンは「ファンの好む曲」を出すのではなく「自分の好きな曲」を出す事に努力しているように感じる。そして、個人的趣向をファンに一方的に押し付けて其れに共感できる人のみを善しとし、ファン側からの要望には聞く耳を持たない。人間の個人的好みは多様であるのでアーティスト個人の好みと其のアーティストを支える大多数のファンの好みの総和が一致する事は殆どない。このやり方は大きなファン離れにつながり、売り上げは落ちる。そして作品製作にコストがかけられなくなる結果自身の歌手としての活動の場を狭める事になる。小数のファンには好評でも大多数のファンには悪評である場合、その路線を完全に改める必要があるにもかかわらずなおも退屈曲偏重路線を最後まであきらめようとしなないのは一方的に個人的好みをファンに押し付けているからにはほかならない。また、ハーフムーンセレナーデ以降にのろい曲を A 面に、明るい曲を B 面にもっていく手法が多く見られる。思い出のユニーズアイランド、悲しい人、悲しみのアニバサリ、エンゲージが其の例であり、ハーフムーンセレナーデから夢の跡からまでのソロの 11 作品中 4 作品を占める。これものろい曲への個人的執着心の産物にほかならない。この性癖は平成 18 年に出した Nahoko 音でも少しも変わっていない。自作曲の作品がアイドル全盛期のころの知名度と貯金に頼っているという事に気がつかないのだろうか？

個人的好みへの執着は音楽のみではなくレコードジャケットにも現れている。この執着がナオタンと同年代の男のファンに受ければ問題点ではなく利点として上げられるべきだがそうでない場合が非常に多い。例としてスカーレット、Members Only のジャケットを図 1 に示す。これらはバカ殿や田舎娘風の髪型で自分のルックスを台無しにした図柄である。次にブックエンド、エンゲージのジャケットを図 2 に示す。これは明らかに女趣味的な図柄である。女が作ると女趣味的になるのは自然である。しかし当時 20 代から 30 代の男の青年の大多数は女趣味的装丁の作品を買おうとする気にならない。例えていうとヤングの男におままごとの道具やぬいぐるみをプレゼントしようとする事に等しい。ナオタンファンの大半は男である。女趣味に興味を示す男は性同一性障害者やオカマなどのごく少数の男であり、購買層に占める割合は非常に低い。ナオタンは何十年も生きてきてその様な男と女の好みや特性の違いすら分からないのだろうか？女のファンの割合も多いブス田聖子ならば女趣味的企画でも可能性が見込めるがナオタンはそうはいかないのである。そういう個人的趣味は身内と友人関係のみの間で披露すべきである。数多くいるアーティストのなかで売れているのがごく少数なのは購買層の好みではなく自分の個人的好みを一方的におしつけてそのできばえに自己満足しているのが非常に多いからである。其の運任せの行動とファンの意向が一致する場合にのみ作品が売れるので商機を生かすチャンスが非常に狭いものとなるのである。

一番大事なのはアーティスト達の主観的自己満足ではなくファンに売れるか売れないかという客観的成果と実効性なのである。音楽作品売するにはバックアップをする会社が必要である。其の会社は公益法人でも NPO 法人でもボランティアでもなく株主から資本金を集めて営利で事業を行っている。だからアーティストがファン層に全くあわない作品をだして売れなかった場合には会社は大きな損失をこうむる。会社の資金を食いつぶされるのでそこで働く製作スタッフの待遇面や生活に悪影響を及ぼし、会社の経営を悪くする。だから音楽作品がいかなる作品形態や音楽構成であろうが、まず第一にある一定以上の売り上げをあげられるという事が必要なのである。音楽作品製作を主導する人間に現実社会の制約や経済の基本が分からないのであればそのプロジェク

トの成功は永遠に期待できないであろう。

客相手の商売なのだからその相手にあわせた企画や商品展開を考えるのが賢い販売戦略の基本だが、其れが出来ないのであればナオタン自身はアルバムジャケットのデザインに口出しをすべきではない。結婚や育児、家族などをアルバムコンセプトにしようとする事も全く男受けしない。ブックエンド、エンゲージを出した時期は完全に売り上げは地を這う状態となり、起死回生と人気回復に努めるべきであったのにその起死回生の作が全く男受けしない女趣味的作風となっていては自ら喜んで再ブレイクの目を摘み取っているとしかいいようがない。これは歌手活動軽視の一環なのだろうか、其れとも考える脳がないからなのか？

対策としては顔が美形で足が長く、ポインであるナオタンは間接的に男の性欲に訴えるような装丁やコンセプトに基づいた販売戦略を練るべきである。もとより女はナオタンの見た目のよさを嫉妬の対象にする場合が多いので女のファンの割合が増えるという事は見込めず、男のファンが大半を占める傾向はこれからも変わる事はないはずである。ヌードやロマンポルノ、エロビデオのような直接的にエロい企画による売り出し方は刺激が強い分飽きられるのも早いので長期的に音楽活動をする観点からは良くない。色々ファンを妄想力を働かせる間接的セクシー路線の採用こそナオタンにはプラスに働くと自分は考える。そのようなデザインができるような創造性に富む多様な人材を登用すべきである。男は容姿端麗な女を性欲の対象にしたがるからであり、ナオタンのオナペットランキングも他のアイドル出身の歌手より高い(2chのナオタンのスレの数や書き込み具合などを他の同年代アイドルのスレと比較すればわかる)。其の人気度に関してはおなじ可愛いポイン系アイドルであった小出広美や郁恵や芳恵など足元にも及ばない。そのファンの特性やナオタンの持ち味をうまく利用すれば人気や売り上げも伸び、会社も喜んでナオタンの後押しをするので歌手としての活躍の場が広がる事につながる。



図 2.2.4 スカーレットの CD ジャケット
ナオタンの見た目を台無しにする装丁例

シングル



アルバム



左から美・来、エンゲージ、夢の跡から ブックエンド エンゲージメント

図 2.2.5 ブックエンド、エンゲージの表紙

女趣味的装丁の例 ままごとやぬいぐるみ収集の好きな青年は殆どいない。

2.2.4 企画力、マネジメント力が低いにもかかわらず作品製作を主導

ナオタン自身音楽作品を制作するマネジメント力や企画力に乏しいにもかかわらずナオタンが主体的に作品の製作に関わったのも音楽作品の質の低下や作風の偏りを生じさせた一因ではないか。ナオタンの映像の言動やしぐさ、作品の傾向(Nahoko 音も含む)などからも典型的な女性脳で筋道をたてて正しく物事を処理する能力が極めて低いと感じる。一人の人間に歌唱、作曲、販売戦略、作品製作の段取りすべてを任せ、其のすべての業務で優れた結果を出せる人間は殆どいない。人には得意不得意な面があつて当然であり、成果を出したいならば不得手な分野に手をつけるべきではない。其々の分野に長けた人材を登用していくべきである。ナオタンの場合自分の能力の限界を自覚しないような企画や販売戦略の欠陥で人気落ち、売り上げ低下で歌手活動の幅を狭める事につながり破滅したのである。

ナオタンにアルバムやシングル製作のプロジェクトを主導させるべきではない。仮にいくら創造力を駆使して佳作を作っても同じような傾向の曲ばかり出すとファンは飽きてしまい、その曲の輝きも目立たないものになってしまう。のろい曲は趣向や歌詞、曲の構造などをいろいろ変えてもすべて同じように聞こえてしまう。それに大してアップテンポに関してはそれらの趣向をいろいろ変えればインパクトや聞こえ方に多様性を持つのを認識させやすく多様性を保てば飽きられにくい。ナオタン全盛期のころはアップテンポ主体で売り上げ好調であったのがよい例である。のろい曲はけんかをやめてのようにアップテンポ主体のシングルの中に紛れ込んでいるからこそ輝きを放つのである。

2.2.5 水着姿がなくなった

水着姿は昭和61年までしかない。水着姿で歌ったりイメージビデオに出たりするような事がなくなったのも人気落ちてしまった原因のひとつとしてあげられる。

女趣味的感情ではなくセクシー路線で間接的に男の性欲に訴えるような販売戦略を出るほうがナオタンは売れ行きがよくなる。ナオタンの水着は控えめなのと胸のみを強調したのが多かったが昭和60年代はハイレグブーム全盛期である。Tバックも流行しだした頃でもある。胸だけではなく股間部分の食い込みも強調した水着姿を歌番組やコンサート、水泳大会、写真集、曲のIVなどで披露すれば音楽活動にプラスに働いたと考えられる。見た目が優れた歌手は其の見た目も売りにできるのである。

男というものは性欲が満たし切ると其の対象に飽き飽きして次の対象を探そうとする。逆に適度

の露出で水着の形やカラーリングを変えていけば男達のナオタンに対する性欲と妄想力は持続させる事ができ、其れを持続的な音楽作品の売り上げ向上につなげる事が可能となる。女はきわどい水着を着る恥ずかしさを感じるようであるが一般的に女でもそういう仕事をこなすうちに慣れて恥じらいや羞恥心がなくなってくるので其の点は決して問題ではない。ファン層の大半が男なのでその本能的性質を巧みに利用するのも美形の歌手が成功し続ける為の基本である。すっぽんぽんのヌードになるのではなく多様なセクシー水着姿になる所でとどめておけば男たちの性欲は尽きてしまう事はない。長期間男達のオナペット女王として君臨出来るのである。売れなくなったアイドルがヌード写真集を出すのはドーピングと同じで短期的には話題になりやすいが其れっきりで完結してしまい、ファンもナオタンに対する欲求が尽きてしまい、後が続かない。だからその様な手段は歌手として持続的活躍をする観点からは用いるべき手段ではない。ナオタンはAV女優ではないので地道にセクシー水着で勝負していく方が音楽活動にはプラスに働くのだ。

2.2.6 恵まれなかった製作陣

例えば昭和 59 年に唇のプライベートとの競作したデリカシーという勝負曲をお蔵入りにしてしまった(平成 19 年 12 月に発売された CD ボックスに初めて収録された)が、この曲はアルバムのさよなら物語かスターダスト・ガーデンに入れるか後のシングルで発売するか出来たはずである。そうすれば 1 曲ではあるが勝負曲が増えるので多かれ少なかれ作品の売り上げは伸びた。レコーディングも済ませてあるにもかかわらず市場に出回らせないのでは製作に用いたコストが無駄になる。

アイドル時代からあまり作品製作がうまくいっていたとはいいがたい。

自作曲メインの衰退期ではその製作陣の脆弱さはさらに際立つ。個人的な好き嫌いや友人関係の枠内のみで作詞家や作曲家を選んでいるようでは優れた作品は作れない。おのおののアーティストがナオタンの性格にあうかあわないかという事とヒット曲を出せるか否かは違う。肥満の麻薬中毒者のミッキー吉野と組んだ事がナオタンの音楽活動のかげりに止めをさしたのもその愚行の一環である。人間関係云々に影響されないで人物の能力と成果のみで人材を登用する欧米の企業のような契約主義的人間関係によるチームワークの方がファンに売れるヒット作につながってくるのではないか。

90 年代に入ると音楽活動はおろそかになり、バラエティ番組やドラマ出演が増えていった。コンサートもろくに開かず年 1 枚程度のシングルをだしても相変わらずのろい曲偏重傾向である。其の点は売れなくなっても歌手活動に比重をおいた秀美と対照的である。其れは音楽活動の軽視そのものではないか。実質的にはナオタンの歌手活動は単なる生活の糧である。其の糧の売り上げが低迷したら次の手段として女優業に切り替えた。確かにそちらのほうが楽である。次の糧は貢いでくれる男である。これは殆ど何もしないで大きな金銭と贅沢三昧な生活を得るという究極の手段であり、自由業や主婦業とはドラマ出演と女優業よりもさらに楽な仕事である。音楽活動を本気で再開する気があるならその休業の間に年 1,2 回程度歌番組に出たり公式サイトを開いたりとそのら辺の歌手でも行っているファンをつなぎとめる為の超基本的な布石も全くない。口先では奇麗事で塗り固めて天真爛漫を装うが実際の行動からはファン側の以降をくみとり、ファンが好む曲を出していこうという音楽活動への意欲は感じられない。ナオタンは買い手の要望よりも自己満足で完結する事を優先させているようでこのような人に音楽プロジェクトの主導は不向

きであり、あくまで成果相応の給与を与え、歌を歌う操り人形として働いて頂く方が歌手活動としての成功につながると考えられる。

2.3 衰退期の活動をどうすればよかったか

2.1, 2.2 節で述べた事をふまえ、昭和 61 年後半から平成期にかけては以下の点に留意して活動すべきであったと考えられる。その原則を守ったうえで活動すれば 80 年代後半でもある程度(5 から 10 万枚台)の売り上げ規模は維持できたのではないか。90 年代に入って音楽作品の売り上げが好調になりだしたら再ブレイクの機会にも恵まれたであろう。

- ・ 綿密なファン層分析と要望を反映させた販売戦略に基づいて音楽作品を出す
- ・ 音楽作品製作は多様な業務の集大成であるのでナオタンが不得意な分野を無理に担当するのではなく其々の分野に秀でた人材を多数登用する
- ・ シングルもアルバムと同じくらい重視する
- ・ 女趣味的作風にはせずセクシー路線で多様なアップテンポ主体の曲を作る
- ・ アイドル初期以上に水着を多用し、音楽作品の売り上げ向上の手段としてハイレグや T バック、その他セクシーな水着を多用し、胸だけではなく股間も強調する
- ・ おにゃん子などに人気を奪われてもあきらめずに歌手活動主体で地道に活動する
- ・ のろい曲は明るい曲の合間に出し、なるべくシングル A 面は明るい曲になるようにする
- ・ ナオタンの作曲能力は高くも低くもないレベルなので販売戦略上重要ではない部分のみを担当する。そうした上で「作曲も出来る音楽性の高い歌手」という肩書きで売り出す

第3章 売れる為に必要な事項

以前の音楽活動から得られた問題点と対策の大半は 2.1, 2.2 節で考察した。これらの論考に加え、現在のナオタンのファン層の大部分を占める中高年の男大衆のもつ一般的心理や性質を述べる。ファンの性質をうまく反映した権謀術数や販売戦略を練ると売れる歌手になる確率が飛躍的に高まる。本章では以下の点について述べる。

3.1 Youtube で観察された現在のナオタンファンの傾向

Youtube に投稿されているナオタンのシングル A 面曲に関する動画の動画数とその再生回数を曲別に分類し、其の傾向を過去の売上枚数と比較し、Youtube から分かる現在のナオタンファンの傾向を考察した。

3.2 音楽の曲やアレンジに客観的優劣はつけられない

音楽の曲やアレンジに客観的優劣はつけられないという事、中高年の懐古趣味的性質からターゲットにする世代別に曲のアレンジ、サウンドを決め細やかに使い分けるべきであると論述した。

3.3 一般的なヒット曲ではアップテンポの方が多い

オリコン年間売り上げ上位にはいるポップスのヒット曲にはアップテンポの方が多いという事を示した。

3.4 男の収集癖

男の収集癖とその心理をどうナオタン販売戦略に生かすかという事について述べた。

3.5 カバー曲の有効性

カバー曲を採用する事がナオタンの音楽活動にプラスに働くという事を簡単に述べた

3.6 ファンとの双方向的関係の構築について

ファンの意向を音楽作品に反映してファンが好む曲を出す事はナオタンの売上を安定させる事について述べた。また、ファンの意向を作品に反映させるために必要な製作チームについての考察を行った。

3.7 CG と人工音声を使った”仮想”ナオタン(仮想アイドル)実現のメリット

CG と人工音声で全盛期のナオタンを再現した音楽ソフトを販売すれば実際のナオタンが醜くなった後でもナオタンファンが喜ぶ作品をリリースし続ける事が可能であるという事についての考察をした。

3.1 Youtube で観察された現在のナオタンファンの傾向

Youtube は無料の動画投稿、視聴サイトであるが、そこでアップされた映像から得られる情報は歌手のファン層の傾向を分析するうえで非常に重要な指標となる。映像数や再生回数は時間とともにめまぐるしく変化するのである時点での調査結果が正確にファンの傾向を反映するわけではないが大まかな傾向をつかむ事は十分可能である。テレビ局が行っている内閣支持率調査などと本質的には同じである。芸能事務所やレコード会社から見れば著作権や肖像権、権利関係で気に食わないと思われる Youtube ではあるが、音楽活動にプラスに働かせる事は出来る。PC とネット環境さえあれば労力は要するが個人単位でも調査する事が出来る。ナオタンのアップされた映像は何百にも及ぶので大衆の一般的性質を見出す上で十分な映像数である。個人一人の好みだけを見るのは主観的傾向であり、多くのファンを抱える歌手の販売戦略上はプラスにならないがその主観が何百、何万と集まれば其れは戦略にプラスになる客観的資料となる。

3.1.1 調査方法

Youtube で検索ワード「河合奈保子」でヒットした動画のうちシングル A 面の映像について

- 1) シングルの曲別の再生回数の合計
- 2) シングルの曲別の動画アップロード数

を調査した。シングル A 面曲以外の映像は調査対象外である。
音声のみの動画もシングル A 面曲であれば調査対象とする。

The image shows a YouTube search for '河合奈保子' (Kawai Naoko). The search results list three videos:

- 河合奈保子_夏のヒロイン (3:27) with 353 views and a red circle around the view count. A red box highlights the video title and view count, with a red arrow pointing to the detailed view below. A red note says 'これは古い値なので使えない' (This is an old value, so it cannot be used).
- 河合奈保子_ムーンライト・キッス (2:36) with 386 views.
- 河合奈保子_ラブレター (2:18) with 459 views.

The detailed view of the first video shows the channel 'goldstonejbb' with a creation date of 2009年02月06日. A red circle highlights the channel name and date. A red arrow points from the search results to this view. A red note at the bottom says 'この値を再生回数として採用する' (Adopt this value as the number of views).

河合 奈保子
国内盤予約商品5
1500円以上国内
Amazon.co.jp

検索結果一覧部分

河合奈保子_夏のヒロイン 3:27
★★★★★ 4日前 再生回数 353回 goldstonejbb

河合奈保子_ムーンライト・キッス 2:36
★★★★★ 4日前 再生回数 386回 goldstonejbb

河合奈保子_ラブレター 2:18
★★★★★ 4日前 再生回数 459回 goldstonejbb

河合奈保子_夏のヒロイン - Mozilla Firefox
http://www.youtube.com/watch?v=VhJh9wPCo

河合奈保子_夏のヒロイン

goldstonejbb
2009年02月06日 (7ヶ月) チャンネル登録

当時録画したビデオからです。
URL: http://www.youtube.com/watch?v=VhJh9wPCo

goldstonejbbの他の動画

関連動画

- 河合奈保子_ムーンライト・キッス 再生回数: 463回 goldstonejbb 2:36
- 河合奈保子_ラブレター 再生回数: 464回 goldstonejbb 2:18
- 河合奈保子_スマイル・ブローサー 再生回数: 459回 goldstonejbb 1:59
- エス・カレッシュン 河合奈保子 再生回数: 299回 shiki162878 2:43

再生回数: 375

この値を再生回数として採用する

動画投稿日

図 3.1.1 検索結果の例

17	コントロール	通し番号	動画投稿日			再生回数	総動画数	合計再生回数	売り上げ枚数
			年	月	日				
		1	2009	1	17	727	13	54424	15
		2	2008	12	28	2129			
		3	2008	12	6	1639			
		4	2008	11	23	4265			
		5	2008	11	18	2828			
		6	2008	10	27	4069			
		7	2008	10	10	2412			
		8	2008	6	24	4899			
		9	2008	5	23	2552			
		10	2008	5	11	9471			
		11	2008	4	14	8801			
		12	2008	3	5	4807			
		13	2008	1	18	5825			

「河合奈保子」で検索したコントロールの動画全ての投稿日と再生回数を調べる

コントロールの総動画数は13となる

コントロールの合計再生回数は各動画の再生回数を足し合わせたもの(54424)である

図 3.1.2 合計再生回数と動画数の計算

合計再生回数と動画数の定義は以下の通りである。図 3.1.1 に計算に用いる Youtube の動画の再生回数の位置を示す。図 3.1.2 でエクセルを用いた計算例を示す。

- ・合計再生回数とは

Youtube で検索ワード「河合奈保子」でヒットした動画のうちシングル A 面の動画すべてについて再生回数を調べ、曲別に分ける。曲別の再生回数の合計を合計再生回数とする。

- ・総動画数とは

Youtube で検索ワード「河合奈保子」でヒットした動画のうちシングル A 面の動画について曲別に動画数を数えた値が総動画数である。

- ・平均再生回数とは

平均再生回数は合計再生回数を総動画数でわって求めた値であり、曲別の 1 動画あたりの平均の再生回数である。

- ・ひとつの動画にシングル A 面曲の歌唱シーンが複数存在する場合

例えば図 3.1.3 のように 1 つの動画に 2 つの動画が存在する場合にはどちらの曲にもその動画のデータを加味して総動画数と合計再生回数をカウントする。3 曲以上存在する場合も同様に該当曲の値に加算する。

曲のプライベート	通し番号	動画投稿日			再生回数	総動画数	合計再生回数
		年	月	日			
						16	48118
	1	2009	1	23	374		
	2	2009	1	2	1145		
	3	2008	12	29	860		
	4	2008	12	28	1342		
	5	2008	11	5	1933		
	6	2008	11	4	1910		
	7	2008	11	4	2990		
	8	2008	10	11	4116		
	9	2008	10	10	2019		
	10	2008	9	1	6073		
	11	2008	8	31	6946		
	12	2008	8	28	3373		
	13	2008	8	25	3338		
	14	2008	7	26	2925		
	15	2008	5	29	5155		
	16	2008	5	8	3619		
北野のソリチュード	通し番号	動画投稿日			再生回数	総動画数	合計再生回数
						5	14673
	1	2009	1	23	348		
	2	2009	1	20	533		
	3	2008	11	4	1198		
	4	2008	5	29	5155		
	5	2008	1	25	7439		

図 3.1.3 一つの映像に複数歌唱シーンが存在する映像の扱い

- ・ 検索結果一覧には同じ動画が 2, 3 回表示されてしまう場合がある. 特にアップから 1 年以上を経過した古い動画に多く見られる傾向であるが動画投稿日と再生回数を動画毎に記録しておけば重複は避けられる.
- ・ ナオタン以外の歌手や素人などがナオタンの曲を歌っている映像は対象外とする
- ・ 再生時間 2,30 秒以下の短い映像はシングル A 面であっても対象外とし, 少なくとも 1 コーラス以上歌唱している音声または映像を対象とする

3.1.2 調査結果

調査は平成 21 年 1 月 27 日夕方頃に行った. 其の時検索ワード「河合奈保子」でヒットした動画は重複してしまっている物も含めると 550 弱であり, 其の中から重複を除いたシングル A 面に関する映像は合計で 275 存在した. A_i 年 B_i 月 C_i 日にデビューシングルを基準とした場合の A_1 年 B_1 月 C_1 日に発売されたシングルの横軸 X_i の位置は式(2.1)のとおりである. 簡単の為うるう年は計算せず, 一年を 365 日として計算している.

$$X_i = A_i - A_1 + \frac{B_i - B_1}{12} + \frac{C_i - C_1}{365} \quad (2.1)$$

表 3.1.1 は Youtube でのシングル動画数と合計再生回数の調査結果の一覧である。この結果をもとに色々な解析を行う。特に、動画数、合計再生回数の値と過去の売上結果の関係について重点的に考察する。

表 3.1.1 Youtube でのナオタン動画の曲別の動画数と合計再生回数

Youtubeでのナオタン動画の曲別の動画数、合計再生回数					
21年1月27日1600から1930頃調査					
		総動画数	合計再生回数	合計再生回数/総動画数	売り上げ枚数(万枚)
1	大きな森の小さなお家	3	56212	18737	7.6
2	ヤング・ボーイ	12	48514	4043	18.9
3	愛してます	5	30807	6161	18.0
4	17才	10	31123	3112	19.1
5	スマイル・フォー・ミー	21	120275	5727	26.0
6	ムーンライト・キッス	7	35134	5019	16.1
7	ラブレター	13	55822	4294	21.2
8	愛をください	14	36008	2572	17.7
9	夏のヒロイン	9	41239	4582	21.5
10	けんかをやめて	12	70256	5855	21.5
11	Drivablon	7	40859	5837	18.0
12	ストロー・タッチの恋	8	12554	1569	14.2
13	エスカレーション	25	110232	4409	34.9
14	UN/バランス	26	103557	3983	20.1
15	疑問符	7	9449	1350	19.2
16	微風のメロディー	9	36167	4019	14.8
17	コントロール	13	54424	4186	15.0
18	春のブライバシー	16	48118	3007	12.4
19	北風のソリチュード	5	14673	2935	11.2
20	ジェラス・トレイン	4	11374	2844	9.6
21	デビュー	14	45285	3235	16.1
22	ラヴェンダー・リップス	6	6120	1020	9.1
23	THROUGH THE WINDOW	5	6037	1207	7.7
24	夏のハリウッド	5	13971	2794	6.2
25	刹那の夏	5	11651	2330	4.6
26	ハーフムーン・セレナーデ	7	8960	1280	8.4
27	思い出のコンニエズ・アイランド	1	821	821	1.0
28	十六夜物語	3	11696	3899	5.7
29	森しい人	1	4099	4099	1.8
30	Harbour Light Memories	2	7029	3515	2.5
Summary		275	1082466	118442	420.1

表 2.1.2 曲の傾向の分類

セルパターンの曲の傾向別色分け方法	
(自分個人の感覚による分類なのであくまで目安にしてほしい)	
	明るい曲(ディスコ調、青年向け)
	明るい曲(低年齢向けアイドル歌謡)
	のろめの曲、バラード、退屈ソング

注)思い出のコンニエズアイランドの売り上げ枚数(1.0万枚)は仮の値である。

注)合計再生回数/総動画数=平均再生回数である。

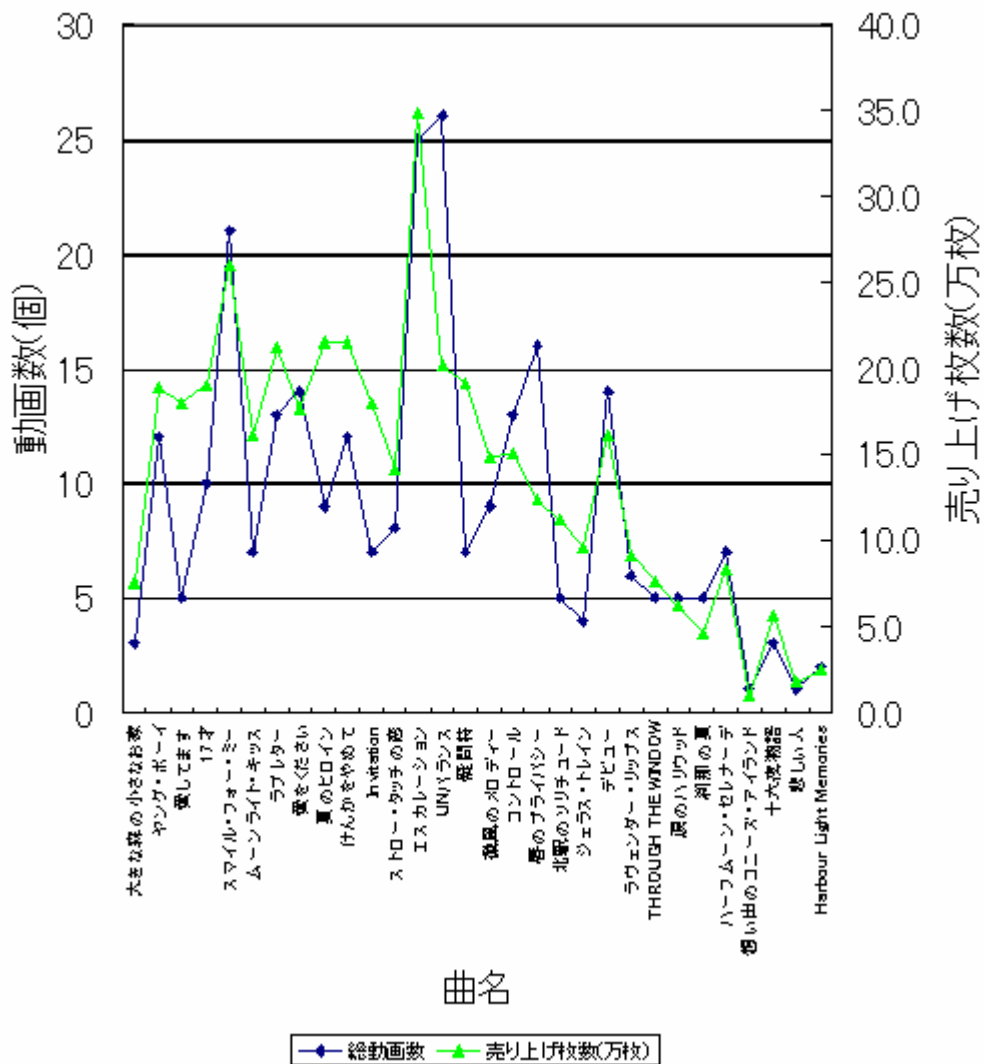


図 3.1.4 総動画数と売り上げ枚数

図 3.1.4 は表 3.1.1 のシングル曲の総動画数と売り上げ枚数を比較した図である。曲は発売順に並べてある。この図から観察される傾向は以下の通りである。

- 動画数と売り上げ枚数はほぼ連動している。
- 特に動画数が多いのはスマイルフォー・ミーとエスカレーション、UN バランスである。
- デビュー以前のシングル作品に人気がある
- 唇のプライベートと UN バランスは売り上げ枚数のわりに合計再生回数が多い

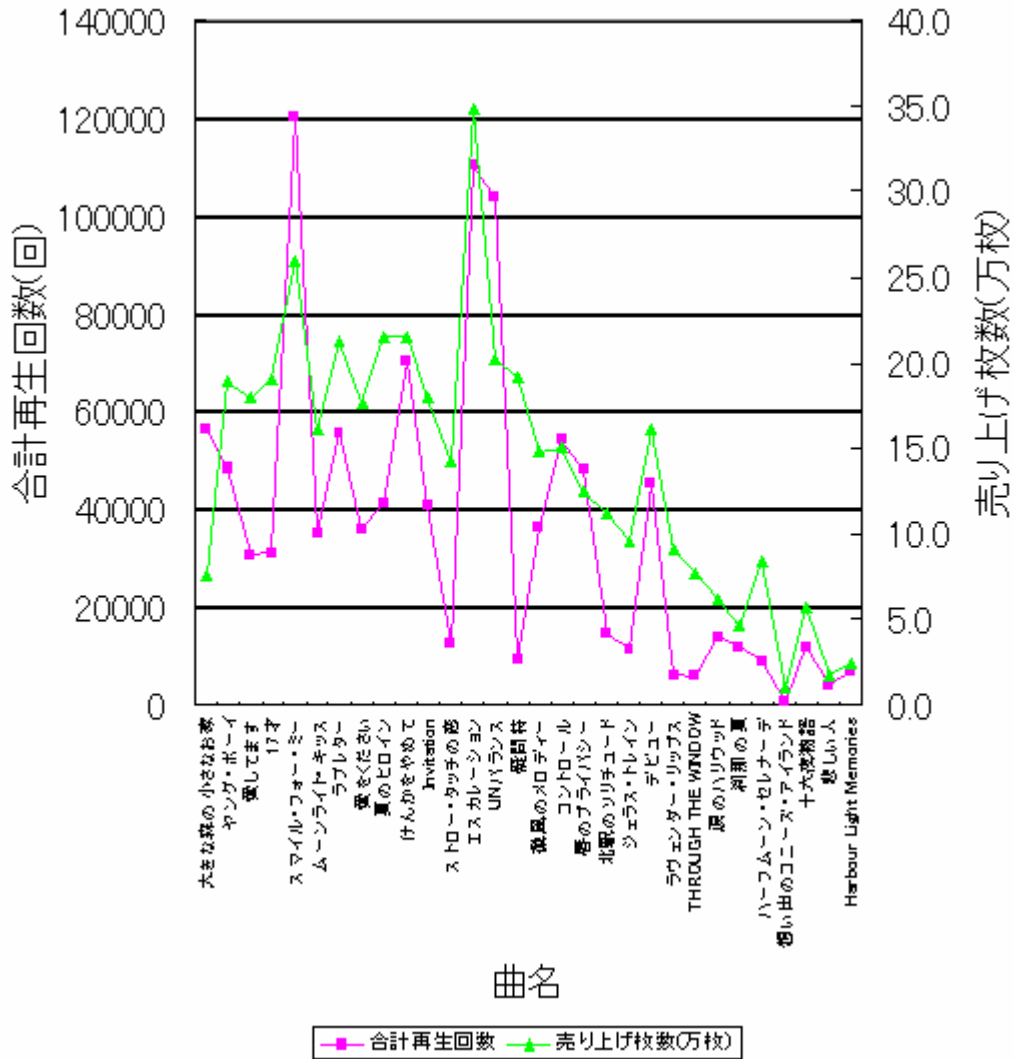


図 3.1.5 合計再生回数と売り上げ枚数

図 3.1.5 は表 3.1.1 のシングル曲の合計再生回数と売り上げ枚数を比較した図である。曲は発売順に並べてある。この図から観察される傾向は以下の通りである。

- ・ 合計再生回数と売り上げ枚数との間に相関関係が見られる。
- ・ 特に再生回数が多いのはスマイルフォー・ミーとエスカレーション, UN バランスである。
- ・ デビュー以前のシングル作品に人気がある
- ・ 全盛期でも疑問符とストロータッチの動画数が少ない

表 3.1.2 表 3.1.1 の各パラメータの降順に並べ替えたもの(動画数, 合計再生回数, 売上)

順位	動画数の多い順		合計再生回数の多い順		売り上げ枚数の多い順	
	曲名	総動画数	曲名	合計再生回数	曲名	売り上げ枚数(万枚)
1	UNJバランス	26	スマイルフォーミー	120275	エスカレーション	34.9
2	エスカレーション	25	エスカレーション	110232	スマイルフォーミー	26.0
3	スマイルフォーミー	21	UNJバランス	103557	夏のヒロイン	21.5
4	唇のプライベート	16	けんかをやめて	70256	けんかをやめて	21.5
5	愛をください	14	大きな森の小さなお家	56212	ラブレター	21.2
6	デビュー	14	ラブレター	55822	UNJバランス	20.1
7	ラブレター	13	コントロール	54424	疑問符	19.2
8	コントロール	13	ヤング・ボーイ	48514	17才	19.1
9	ヤング・ボーイ	12	唇のプライベート	48118	ヤング・ボーイ	18.9
10	けんかをやめて	12	デビュー	45285	愛してます	18.0
11	17才	10	夏のヒロイン	41239	Invitation	18.0
12	夏のヒロイン	9	Invitation	40859	愛をください	17.7
13	颯風のメロディー	9	颯風のメロディー	36167	ムーンライトキッス	16.1
14	ストロー・タッチの恋	8	愛をください	36008	デビュー	16.1
15	ムーンライトキッス	7	ムーンライトキッス	35134	コントロール	15.0
16	Invitation	7	17才	31123	颯風のメロディー	14.8
17	疑問符	7	愛してます	30807	ストロー・タッチの恋	14.2
18	ハーフムーン・セレナーデ	7	北風のソリチュード	14673	唇のプライベート	12.4
19	ラヴェンダー・リップス	6	夏のハリウッド	13971	北風のソリチュード	11.2
20	愛してます	5	ストロー・タッチの恋	12554	ジェラス・トレイン	9.6
21	北風のソリチュード	5	十六夜物語	11696	ラヴェンダー・リップス	9.1
22	THROUGH THE WINDOW	5	刹那の夏	11651	ハーフムーン・セレナーデ	8.4
23	夏のハリウッド	5	ジェラス・トレイン	11374	THROUGH THE WINDOW	7.7
24	刹那の夏	5	疑問符	9449	大きな森の小さなお家	7.6
25	ジェラス・トレイン	4	ハーフムーン・セレナーデ	8960	夏のハリウッド	6.2
26	大きな森の小さなお家	3	Harbour Light Memories	7029	十六夜物語	5.7
27	十六夜物語	3	ラヴェンダー・リップス	6120	刹那の夏	4.6
28	Harbour Light Memories	2	THROUGH THE WINDOW	6037	Harbour Light Memories	2.5
29	思い出のコンニエス・アイランド	1	恋しい人	4099	恋しい人	1.8
30	恋しい人	1	思い出のコンニエス・アイランド	821	思い出のコンニエス・アイランド	1.0

表 2.1.2 曲の傾向の分類

セルパターンの曲の傾向別色分け方法 (自分個人の感覚による分類なのであくまで目安にしてほしい)	
	明るい曲(ディスコ調、青年向け)
	明るい曲(低年齢向けアイドル歌謡)
	のろめの曲、バラード、退屈ソング

注)思い出のコンニエスアイランドの売り上げ枚数(1.0万枚)は仮の値である。

注)合計再生回数/総動画数=平均再生回数である。

表 3.1.2 は表 3.1.1 のシングルを発売順に並べた結果について動画数, 合計再生回数, 売上の多い順にシングル曲を並べ替えたものである。この表から観察される傾向は以下の通りである。

- ・ ナオタン初期のアイドル歌謡の大半に人気があり, のろい曲は大半が売り上げ枚数, 合計再生回数, 動画数どれも少ない傾向にある。
- ・ けんかをやめて, 疑問符, Invitation は比較的人気がある。
- ・ ナオタン自作曲は曲の傾向によらず必ず下位に位置する。
- ・ 必ずスマイルフォーミー, エスカレーション, UN バランスが上位に入る

合計再生回数と総動画数は図 3.1.4 と図 3.15 より過去の売り上げ枚数との相関関係が強い事が確

かめられる。そして動画をアップロードする側も動画を見る側もデビュー以前のシングルに人気
 が集中しているのが分かる。だが必ず過去の売り上げと Youtube 調査の結果が合致しているわけ
 ではない。今回の調査では特に唇のプライバシーとコントロールが過去の売り上げのわりに人気
 が高いという事が観察されたのは注目すべき点である。現在でもナオタンファンはアップテンポ
 に人気があるためにこのような結果が出たと考えられる。また、売り上げ傾向との連動が強い事
 から昭和 5,60 年代当時のナオタンファンの傾向と現在の傾向にそれほど大きな差が生じていな
 い事が分かる。これは当時からのナオタンファンが殆どを占める反面新しいまたは違った嗜好を
 もつファンは殆ど獲得できていないからであると考えられる。

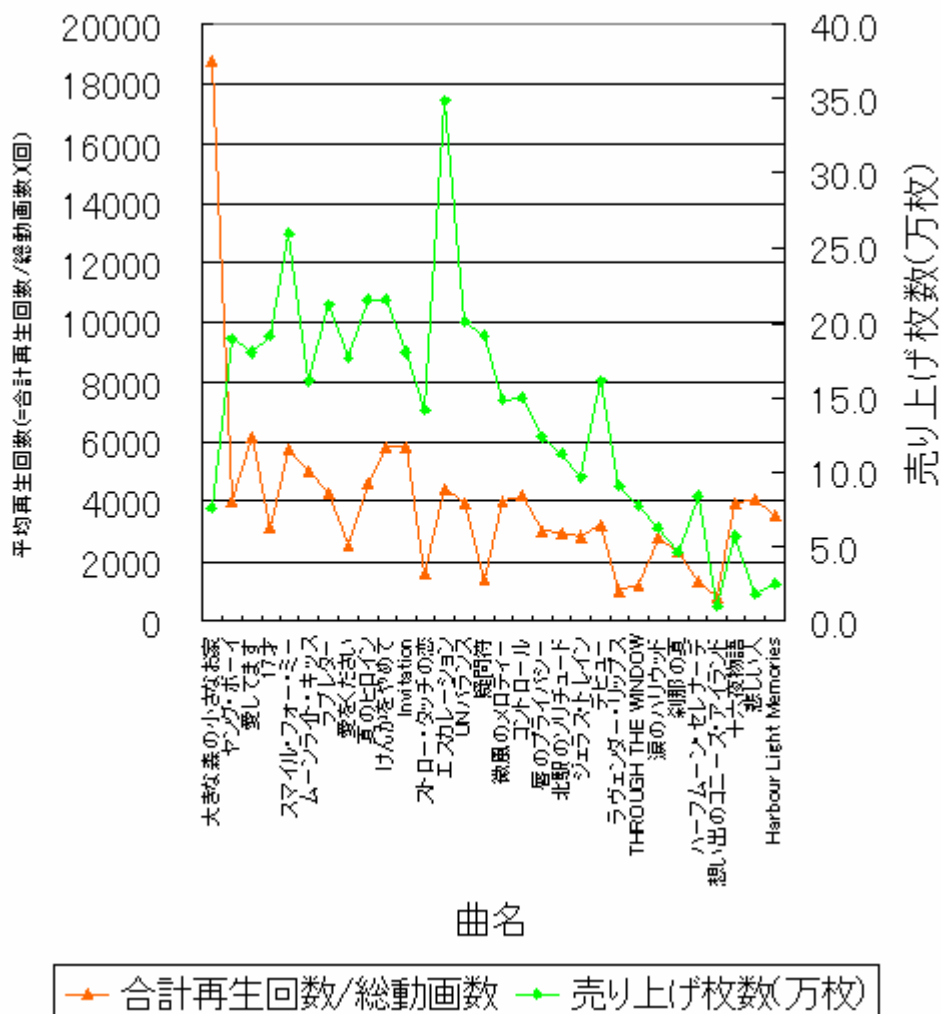


図 3.1.6 平均再生回数と売上枚数 (注：合計再生回数/総動画数=平均再生回数である)

図 3.1.6 は表 3.1.1 のシングル曲の平均再生回数と売り上げ枚数を比較した図である。曲は発売順
 に並べてある。この図から観察される傾向は以下の通りである。

- ・ 売り上げ枚数と曲別の 1 動画あたりの再生回数には相関関係は認められない
- ・ 平均再生回数の値もどちらかというアイドル全盛期の頃の動画のほうが大きい傾向にあるが全盛期と衰退期とで大きな差はみられない。
- ・ 平均再生回数は大きな森の小さな家が特に大きい

表 3.1.3 表 3.1.1 の各パラメータの降順に並べ替えたもの(平均再生回数, 売上)

順位	平均再生回数の多い順		売り上げ枚数の多い順	
	曲名	平均再生回数	曲名	売り上げ枚数(万枚)
1	大きな森の小さなお家	18737	エスカレーション	34.9
2	愛してます	6161	スマイル・フォー・ミー	26.0
3	けんかをやめて	5855	夏のヒロイン	21.5
4	Invitation	5837	けんかをやめて	21.5
5	スマイル・フォー・ミー	5727	ラブレター	21.2
6	ムーンライトキッス	5019	UMIバランス	20.1
7	夏のヒロイン	4582	結婚符	19.2
8	エスカレーション	4409	17才	19.1
9	ラブレター	4294	ヤング・ボーイ	18.9
10	コントロール	4186	愛してます	18.0
11	恋しい人	4099	Invitation	18.0
12	ヤング・ボーイ	4043	愛をください	17.7
13	颯風のメロディー	4019	ムーンライトキッス	16.1
14	UMIバランス	3983	デビュー	16.1
15	十六夜物語	3899	コントロール	15.0
16	Harbour Light Memories	3515	颯風のメロディー	14.8
17	デビュー	3235	ストーリータッチの恋	14.2
18	17才	3112	春のブライバシー	12.4
19	春のブライバシー	3007	北風のソリチュード	11.2
20	北風のソリチュード	2935	ジェラス・トレイン	9.6
21	ジェラス・トレイン	2844	ラヴェンダー・リップス	9.1
22	夏のハリウッド	2794	ハーフムーン・セレナーデ	8.4
23	愛をください	2572	THROUGH THE WINDOW	7.7
24	刹那の夏	2330	大きな森の小さなお家	7.6
25	ストーリータッチの恋	1569	夏のハリウッド	6.2
26	結婚符	1350	十六夜物語	5.7
27	ハーフムーン・セレナーデ	1280	刹那の夏	4.6
28	THROUGH THE WINDOW	1207	Harbour Light Memories	2.5
29	ラヴェンダー・リップス	1020	恋しい人	1.8
30	思い出のコンニエス・アイランド	821	思い出のコンニエス・アイランド	1.0

表 2.1.2 曲の傾向の分類

セルバターの曲の傾向別色分け方法 (自分個人の感覚による分類なのであくまで目安にしてほしい)	
	明るい曲(ディスコ調、青年向け)
	明るい曲(低年齢向けアイドル歌謡)
	のろめの曲、バラード、退屈ソング

注)思い出のコンニエスアイランドの売り上げ枚数(1.0 万枚)は仮の値である。

注)合計再生回数/総動画数=平均再生回数である。

表 3.1.3 は表 3.1.1 のシングルを発売順に並べた結果について平均再生回数, 売上の多い順にシングル曲を並べ替えたものである。この表から観察される傾向は以下の通りである。

- 平均再生回数は曲別の 1 動画あたりの再生回数であるがナオタン自作曲でも恋しい人, 十六夜物語のように中, 上位にはいるのがある
- 平均再生回数の多い順でも全体的傾向ではアイドル歌謡が上位に, のろい曲が下位に位置するが総動画数, 合計再生回数ほど極端な分布はしていない

1 動画あたりの平均の再生回数では過去の実績との相関関係は弱く, 若干アイドル全盛期の頃の値が衰退期の値を上回る傾向にある程度にすぎない。大きな森の小さなお家が周りの値から突出

しているのが気にかかったが、これはアップする側の動画数が低いわりにその映像を見たいと思う視聴者側が多い、つまり需給バランスの不均衡によって生じた現象であると考えられる。人気のわりに動画数が少ないと1動画あたりの再生回数が増え、逆に曲の動画数が多すぎると表のエスカレーションのように(売り上げ枚数順では1位なのが平均再生回数順では8位)さほど平均の再生回数が増えないという傾向の現れである。

3.1.3 曲の発売時期と人気順の関係の考察

次に表 3.1.1 の Youtube 調査結果からいつごろの音楽活動に特に人気があったのかを考察する。表 3.1.2 と 3.1.3 で総動画数、合計再生回数、平均再生回数、売り上げ枚数の人気順並べ替えた結果を示した。その並べ替え順を横軸にとり、縦軸にそのシングルの発売日のデビューシングル発売日(S55年6月1日)からの経過年数をとってその関係を求め、全体的にいつごろの音楽活動に人気があったのかを考察する事が可能である。其の演算結果を図 3.1.7 に示す。

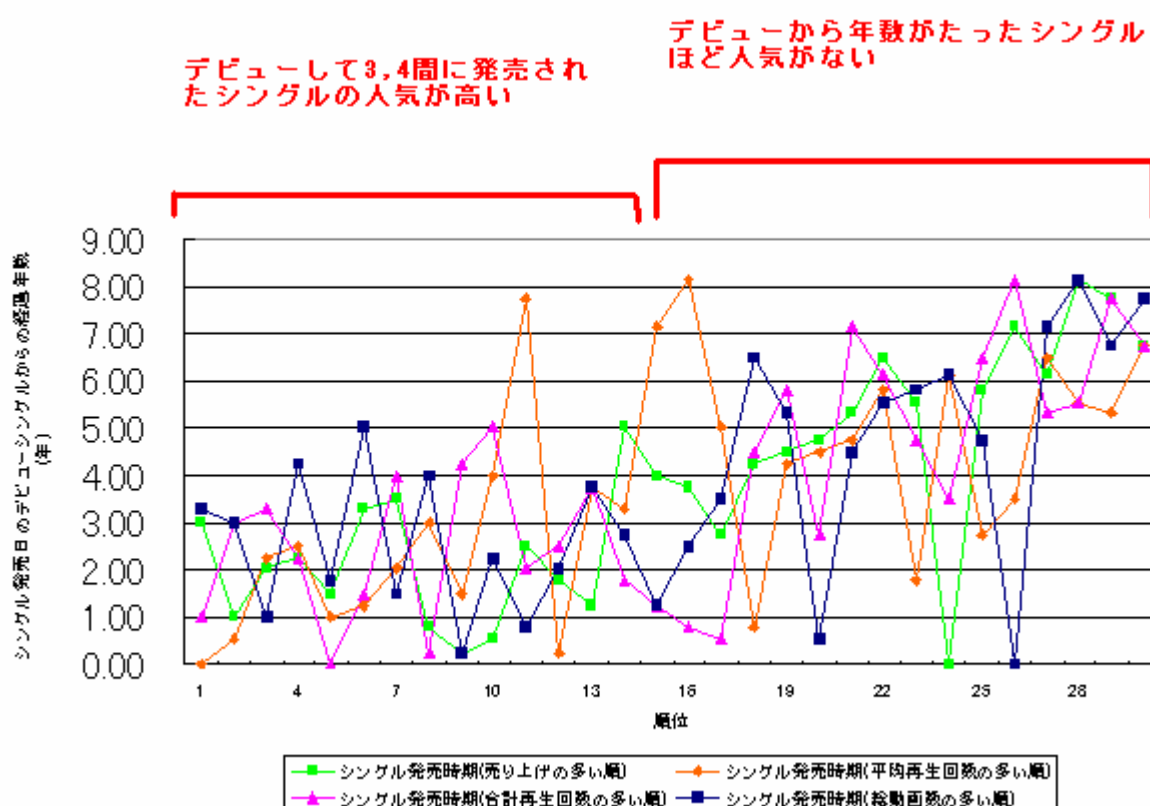


図 3.1.7 シングル作品を人気順に並べ、その曲のデビューからの経過年数を縦軸にとったもの

図 3.1.7 からわかる事は以下の通りである。

- (1) 全体的に人気のある曲はデビュー後 3,4 年以内の曲に集中している
- (2) 全体的にデビューして 5 年以上経過した曲は人気は低い
- (3) 過去の売り上げと現在の Youtube で観察される全体的傾向には相関関係が見られる。

現在、過去でもナオタンファンの傾向はさほどかわらず、昭和 55 から 59 年ごろのナオタン作品に人気があるといえる。売れる販売戦略をめざすならばその時期の楽曲をベースにした曲のリリースをすべきである事が人気と経過年月の関係からも言える。

3.1.4 水着映像の人気度に関する考察

今回の Youtube 調査では水着で歌う映像の再生回数がほかの映像に比べて多い事が観察された。以前(19年6月頃)にも同様の調査をした事があるが、当時も同様の傾向を示した。Youtube の動画の中でナオタンが水泳大会で歌ったときの映像がいくつかアップロードされている。本調査時に該当した曲はヤング・ボーイ, 愛してます, スマイル・フォー・ミーであった。該当曲の動画のデータ一覧を図 3.1.8 に示す。通し番号のセルがオレンジ色である映像が水着の動画である。水色のセルは静止画と音声のみの動画を意味する。

ヤング・ボーイ	通し番号	動画投稿日			再生回数	総動画数	合計再生回数	売り上げ枚数
		年	月	日				
					12	48514	18.9	
	1	2009	1	11	667			
	2	2009	1	9	510			
	3	2008	12	15	1094			
	4	2008	11	12	915			
	5	2008	11	5	1167			
	6	2008	10	28	2073			
	7	2008	10	28	962			
	8	2008	10	23	1324			
	9	2008	9	9	7935			
	10	2008	6	18	2978			
	11	2008	6	17	11314			
	12	2008	2	22	17575			

愛してます	通し番号	動画投稿日			再生回数	総動画数	合計再生回数	売り上げ枚数
		年	月	日				
					5	30807	18	
	1	2008	12	22	838			
	2	2008	12	9	222			
	3	2008	10	28	6583			
	4	2008	8	12	7861			
	5	2008	7	22	15303			

スマイル・フォー・ミー	通し番号	動画投稿日			再生回数	総動画数	合計再生回数	売り上げ枚数
		年	月	日				
					21	120275	26	
	1	2008	12	22	2099			
	2	2008	12	22	1311			
	3	2008	12	13	924			
	4	2008	12	6	1594			
	5	2008	12	1	462			
	6	2008	11	2	2031			
	7	2008	10	30	2262			
	8	2008	10	29	2671			
	9	2008	10	29	4595			
	10	2008	10	29	2223			
	11	2008	10	29	2392			
	12	2008	10	29	1463			
	13	2008	10	28	2414			
	14	2008	10	28	7703			
	15	2008	10	28	3040			
	16	2008	10	7	727			
	17	2008	10	6	1099			
	18	2008	7	25	4079			
	19	2008	7	25	19506			
	20	2008	7	23	28871			
	21	2008	6	10	28808			

図 3.1.8 ヤング・ボーイ, 愛してます, スマイル・フォー・ミーの動画の再生回数

これらのデータから明らかに水着での歌唱シーンがほかのにくらべて再生回数が多い事が分かる。つまり水着で歌うとその映像の人気が高まるという事である。これも売れる販売戦略を練る

上で着目しておくべき重要な点である。本調査時には夏のヒロイン、エスカレーション、疑問符、コントロールの水泳大会での水着映像は存在しなかったが存在したと同様の傾向を示したと考えられる。歌番組やIV、CDのブックレットなどでセクシー水着で歌う事は音楽活動にプラスに働くのである。

3.1.5 Youtube 調査で得られた知見のまとめ

Youtube でナオタン動画を調べる事は一回の調査が必ずしもファン全体の人気を正確に反映しているわけではないが全体的な傾向をつかむ事は出来る。だが、現在のナオタンファンの好みは過去のナオタンファンとさほど変化しておらず、当時と同じくアップテンポの曲に人気が集まる事は確認できた。つまりのろい曲、退屈曲の割合は少なくし、アップテンポ主体で新曲を出したほうが人気が出るという事である。

水着の映像が人気が高い事も売れる作品リリースを考える上で重要な事項となる。これは男のファンが殆どを占めるために生じる現象である。例えば曲の IV(イメージビデオ)を普通の衣装ではなく水着映像にすればその IV の売り上げが躍進するという事である。また、CD の表紙やブックレットにそのような画像を掲載すればその CD の売り上げも伸びるという事にもなる。

過去の傾向との相関関係を見出す事と同じ位過去と現在の人気分布の違いについて把握する事も重要である。例えば今回の調査では唇のプライバシーとコントロール、UN バランスが当時の売り上げに比して人気が高いという点があげられる。これらの曲はデビュー初期の頃の低年齢層向けのアイドル歌謡と違い、年をとっても違和感なく聴ける傾向のノリのよい曲であるからという解釈も出来る。もし何回も Youtube 調査を重ねたり別の人気度調査をしても同様の傾向が見られた場合、これからの新曲の作品群はアイドル歌謡から発展した曲よりもディスコ調、ロック調、ユーロビート調の曲を相対的に増やしたほうが売り上げが伸びるという事になる。

3.2 音楽の曲やアレンジに客観的優劣はつけられない

人間社会にはさまざまな流行があるが其の流行はある視点を基準にすると客観的優劣がつけられる場合とつけられない場合に分けられる。

まず優劣がはっきりする場合について述べる。たとえば輸送機器や電化製品、コンピュータなどの機械、道具として用いるコンピュータソフトや OS などについても流行がある。手段として用いる場合が多い物の流行に対してある観点から見た性能の優劣を比較する事は可能である。その優劣を示す客観的指標があるからである。この種の機器には流行があり、一般的に新しい物ほど良い特性を持つ場合が殆どである。例として現在の米国の主要戦闘機を比較する。

以下のサイトで調べた米国製主要戦闘機の緒元の一部を抜粋する。軍の装備品は嘘情報だったり機密に関わる部分は非公表であったりするので値の信憑性は不確かであるが、一応之が正しいと仮定する。そして、その値を表 3.2.1 に示し、それらの優劣を比較する。引用したサイトは第 6 章の参考文献の通りである。

まずコストで優劣をつけようとするれば安い順に F-16C/D, F-15E, F/A-18E/F, F-22 の順になる。一般的に同等の仕様ならば新しい飛行機の方が高価になる。性能向上とひきかえに膨大な開発コストが必要となる。性能とコストは二律背反であるので分かりやすい。

航続距離は各機とも外部燃料タンクの有無により大きく違いが出るのと任務に必要な兵器搭載量と最大離陸重量の関係(離陸時に機体其の物、人間燃料、兵装等任務遂行に必要な全ての装備を

たしあわせた重量)もあるのでペイロードと最大離陸重量, 航続距離が最大の F-15E に軍配があがる事だけはいえる.

兵器搭載量(ペイロード)の多さからそれらの戦闘機の優劣をつけようとすれば第一に F-15E, 第二に F-16C/D, 第3に F/A-18E/F か F-22 の順となる.

表 3.2.1 F-16, F-15, F/A-18, F-22 の諸元の一部 文献(8)-(12)より

	F-16C/D	F-15E	F/A-18E/F	F-22
愛称	Fighting Falcon	Strike Eagle	Super Hornet	Raptor
メーカー	Lockheed Martin	Boeing	Boeing	Lockheed Martin
運用開始年	1984	1989	1999	2005
全長(m)	14.80	19.44	18.31	18.90
全幅(m)	9.80	13.05	13.62	13.56
全高(m)	4.80	5.63	4.88	5.08
最大離陸重量(kg)	19200	36740	29900	36288
ペイロード(kg)	less than 9276	11113	8029	from 1775-8620
単価(\$)	18800000	31100000	55200000	137000000
航続距離(km)	from 2620 to 4220	from 3450 to 5750	less than 3330	less than 3219

だがこれらのデータ以外に重要な戦闘機の能力の1つである空対空戦闘能力(駐機中や離着陸時のような不利な体勢は除く)でいえば断然 F-22 に軍配があがるだろう. F-16 と F-15E と F/A-18 の戦闘力は 1 対 1 であっても状況によりけりなので一概にいけない. 対地攻撃向きに設計された F-15E が兵器と燃料満載で鈍重な状態で, 軽装備の F-16 に挑めば F-16 が有利だろうし其の逆もありうる. また, 搭載しているレーダーやアビオニクス性能も勝敗に大きく関わる. そしてどんなに戦闘機自体が優れた機体であっても頭数が少なかったり其れを効果的に運用する AWACS やレーダー, 味方の対空兵器などの支援がなければ必然的に不利となる. 第 2 次欧州大戦で数十機の Me-262A が数千機の P-47D, P-51D に負けたのは良い例である. F-22 が有利と書いたが 10 機の F-22 が 1000 機の F-16 に挑めば F-16 が大勝ちするであろう.

だが全ての要素を加味し, 互いの頭数やバックアップ体制をそろえて戦うならば一般的に新しい戦闘機ほど性能が高いといえる. 以上に述べたような性能や機能, 装備の技術的な流行があると同時に戦闘機の見え目や形態にも流行がある. だがどの戦闘機の見栄えが最も格好よいかどうかというのは個人の好みによるので客観的優劣はつけられない. 新しいからといってよい見栄えを有しているとは断言できないのである. そのような面が音楽の流行とつながってくる. 音楽は聞き手からすれば手段として用いるよりも目的として用いる要素が強い. そこでイカす, ダサイという客観的指標は存在せず, 其れは年代や個人の好みによってばらばらとなる. 音楽やそのアレンジは新しい=良いとは絶対にいけないという事である.

本題に入る前にナオタンが中高年男をターゲットにすれば歌手として成功する根拠を述べる. まずナオタンは最近(平成 9 年以降)メディアに出演していないので知名度に関して世代ごとにかなり開きがある. 中高年以上の世代には有名でもヤング世代には殆ど名が知られていないのが現状である. ナオタンは 90 年代前半以降はヒット曲が皆無であるため其の時からファンはかなり少数派である. であるのでヤング世代, 特に 30 代以前の年代の男女はナオタンがターゲットにするには論外である. 将来メディアに出演してヤングにも知られるようになったとしても 4,50 代のおばはんの歌う曲を買いたいと思うヤングは少数の熟女マニア以外では皆無と見てよい.

残りはナオタンを知っている割合が非常に多い40代以上の中年、老人の男女となるが、女は一般的にずば抜けて容姿端麗な女を嫉妬の対象にしたがると同時に男はそれを性欲の対象にしたがる。であるとして相対的に容姿端麗な歌手のファンは男が大半を占め、女は少数派になる。だから女を主要なターゲットからははずすと残りは中高年、老人の男となる。

ナオタンが中年、老人の男どちらにより売れるか考えると過去の全盛期にファンだった中高年世代に軍配があがるのは明らかである。だから中高年の男を最重要ターゲットにするのが最も成功しやすいと簡単に結論付けられる。図 3.2.1 は以上に述べた事のまとめである。

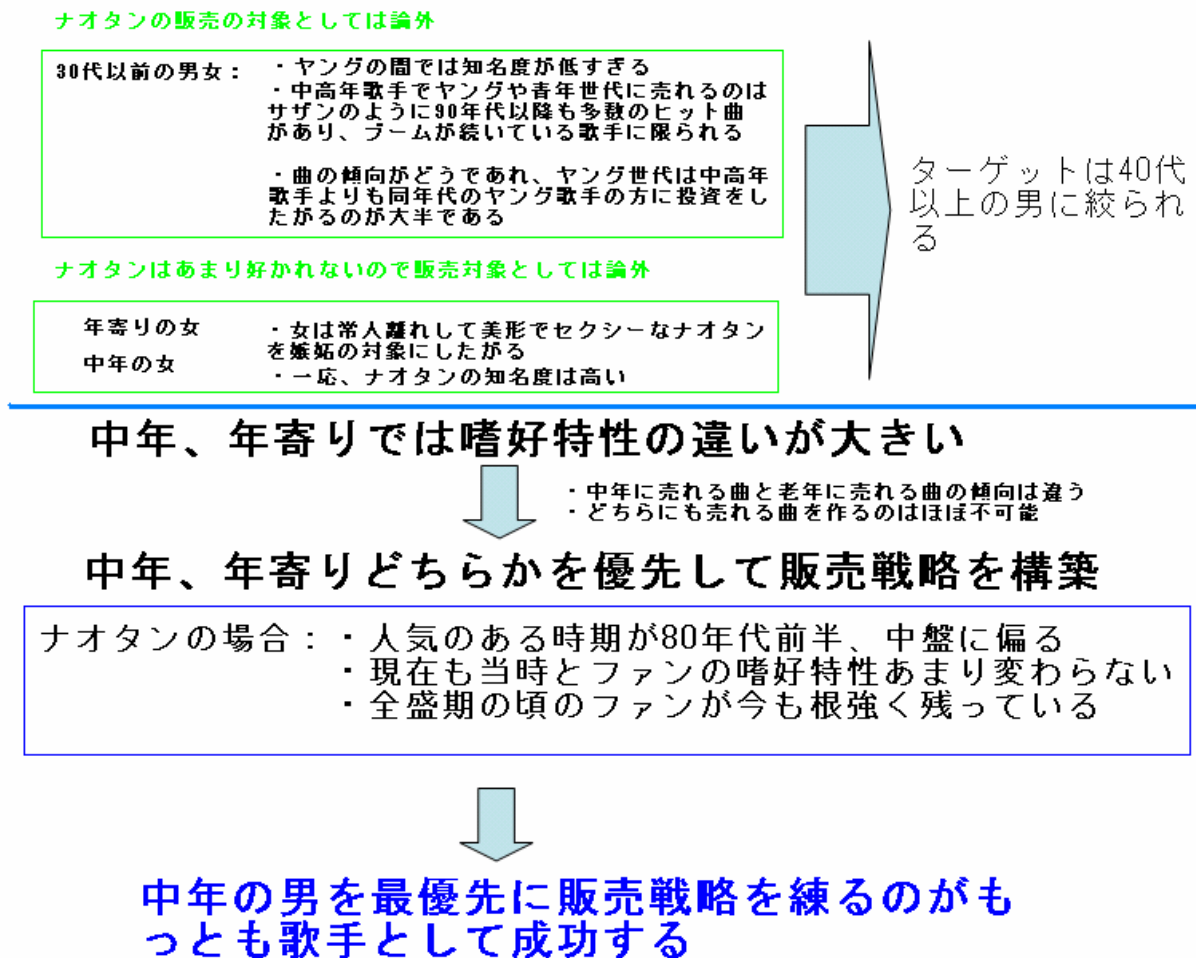


図 3.2.1 ナオタンは中高年層の男のみをターゲットにすれば売れるの図

音楽の話に戻る。例えば40代と10代の男がいたとしよう。40代の男が最近の曲でイカすと感じる曲があったとすると7,80年代のアレンジにしたほうがいいのにといいだろう。逆に10代の男が昔の曲でイカすと感じる曲があったとすると今風アレンジにしたほうが聞きやすいのにといいだろう。特にアイドル系のファンは年代を問わず保守的傾向が強く、各自の嗜好の範囲を広げたりしたがる。年をとれば加齢による価値観の固定化で音楽に対する保守的傾向はさらに強まる。中高年になれば最近のヤングの曲に違和感を感じ、過去の青春時代のアレンジの方がより聞きやすいと感じる。昔のポップスか今のポップスかどちらにより愛着を感じるか、**2択で問えば** 其の傾向が良く分かる。だがその人間の性質をうまく反映させたポップスの形態になっていない

のが現状である。7,80年代に人気のあったアイドル出身の歌手が最近になって新曲を出す事は多々あっても殆どの場合でさっぱり売れないのは今風アレンジで今ヤングに売れている曲の傾向を反映させて新曲をだしているからである。中高年世代に今風ヤングのラップやヒットポップ調を取り入れた意味不明な曲を出しても彼らの購買意欲向上にはつながらない。制作側アーティストは新しい流行=よい事という論理を客観的優劣のつけられない音楽に適用し、いかなる世代にも横並びに今風アレンジや今風ヤング向けポップスの要素を取り入れなければいけないという不条理な慣習的義務の下でしか創作ができないようであり、新曲製作がその制作側のみの自己満足で完結していてファンにとってはいくら過去に好きだった歌手でも意味不明の今風アレンジでは時代と歌手がマッチしていないので聞きづらい。そうなると大方のファンは「今も頑張っているんだね」とは思っても其の歌手の現在を過去の全盛期同様に応援する気にはならない。現在の違和感のある曲よりもなじみのある過去のヒット曲を聴くほうが心地よいのである。

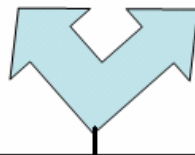
人間は年をとると青年期、少年期の頃の過去の記憶は鮮明であっても最新の流行に興味を示さなくなってくる。今のヤングも年齢を重ねてくると同様の傾向を示すであろう。世代間の多様性を考慮せず時代の変化とともにパチンコ台のごとく横並びに全ての歌手の全ての音楽作品のサウンドやアレンジを変化させてしまうため、ある程度年齢を重ねるとポップスの変化についていく事に喜びを感じなくなるのがアイドル好きの大衆の本質である。だからアイドル好きの中高年層は最近のヤング向けポップスにはあまり興味を見せず、もっぱら過去の作品の収集に走るしかないのである。過去のアレンジを新曲から葬り去るのは人間の本質を反映させていないやり方であり、其れが音楽業界の採算性悪化や売り上げ不振を誘発しているといっても過言ではない。現在は少子化によりヤングが少なくなっていて相対的に中高年層の頭数のほうが多いのでその影響は強い。確かに中高年でも最近の曲を知ったり聴いたりしているのは多いだろうが、青春時代のポップスと今のポップスのどちらがより好きな曲が多いかと **2 択で問えば**、ヤング世代とは逆に青春時代の方であると答える割合が圧倒的多数を占める。そのような傾向をもつ中高年であるから昔のアイドルの過去のアルバム復刻盤や CD ボックス、ベスト盤などが売れるのである。そのファン達の嗜好特性を効果的に新曲セールスにつなげたいならば明確に中高年層のみをターゲットとし、7,80年代当時のアレンジやサウンドを用いてファンの好みを反映した新曲を作るしかないのである。(歌手の見た目、歌声の保存状態が良好な場合のみであるが)青春時代を完璧に髣髴させる新曲をだせば過去の音楽作品の復刻以上に購買意欲をかきたてられる。ナオタンは80年代前半から中盤が全盛期であり、現在のファンもその頃の世代の男が殆どである。ナオタンは現在の見た目の保存状態は比較的良好であり、歌唱力もトレーニングをすればある程度戻せる可能性は高い。そしてファン自体も40代前後の男に偏った構成であるので全盛期のアレンジ其の俣で新曲を出せば売れるのである。解釈を変えれば其れがナオタンが売れる可能性を最大にする唯一の確実な手段とみてもよい。図 3.2.2 に以上に述べた世代別分離の模式図を示す。

中年男の特性

- ・年をとると現在よりも青春時代の頃の音楽に愛着を示す(7,80年代と現在のポップスとっっちがより好きな曲が多いか2択で問えば自明)
- ・最近の流行についていくことに楽しみを感じない
- ・アイドル好きは保守的で自分の好みの範囲を限定したがる
- ・音楽、趣味、女を問わず各人の好きな分野での収集癖がある

現状のポップス

- ・全てのターゲットに対して同じような今風アレンジで曲を出す
- ・時代の変化とともに過去のアレンジを完全淘汰してしまい、アレンジの横並び指向が強い
- ・製作側アーティストも年代を問わず横並び指向が強く何が何でも今風にする=よい事だと思いついで創作したがる



中高年の男にとっては
違和感がある

中年男の音楽離れを加速させる
中年男は過去に好きだった歌手の音楽作品の復刻版の収集に特化せざるを得なくなる

少子化でヤング人口が減少しているので中高年の音楽離れは音楽業界にとって痛手になっている

中高年男への新曲の売り出し方

- ・ターゲットにする年代が青春時代をすごした年代のポップスをベースにする
- ・ファンの好みを徹底的に調べ上げ、その嗜好特性にあわせてきめ細やかな場合わけを行う



アレンジの世代別分離の原則

中年の音楽離れを防げる

ナオタンは全盛期の80年代前半から中盤のアレンジで新曲をだせば歌手としての再ブレイクにつながる

図 3.2.2 世代別アレンジ分離の図

人間が加齢とともに過去に思いを馳せたがる傾向についてマキャベリの政略論に該当する記述があったので引用する。

文献(1) PP.348-350

第二巻 はしがきの一部

人間は、しばしば理由もなしに過ぎ去った昔をたたえ、現在をあしざまに言う。このように古い時代に愛着をそそられがちな人々は、歴史家が書き残した記録を手がかりとして知りうるような古い時代だけにとどまらず、既に年を取った人々がよくやるように、自分たちの若かった頃に見開きした事柄までも褒め上げる物である。人々のこんな考え方は大抵の場合間違っている事が多い。

しかし、このような誤りを犯すには、それなりに色々理由があつての事だと思う。そういった誤りの第一の原因は、古い時代の事柄についてはすみからすみまで完全には理解出来ていないという事に基づいている。また、昔の人は、自分たちの時代の恥になるような事実を、わざと覆い隠したり、逆に自分たちの名誉になりそうな事実を飾り立てたり、大袈裟に表現したりするものである。

中略

過去に必要以上にひきつけられる今一つの理由は、人間の嫌悪感が恐怖心と嫉妬心から引き起こされる事にある。嫌悪感のこの2つの強い原因は、過去を対象とする場合は、作用しないからである。過ぎ去った事件は、今更、あなた方に働きかけて害を及ぼす筈もないし、嫉妬心を書き立てる事もないのである。ところが、我々が目撃し、且つ、其れに巻き込まれている現在進行中の事件ともなると、条件は全く正反対となってくる。現在の問題については我々は参加者または観察者であり、微に入り細にわたって知り尽くしている物である。そしてたとえそこに長所があるのが分かったところで、他の数え切れないほどの嫌な事も一緒に知らされる事となる。其の為、実際は、現在は過去に比べて、はるかに賞賛に値する物であるにもかかわらず、一般の人々は現在は昔の足元に及びもつかないと決め込んでしまうようになる。

中略

さて、既に述べておいたように、過去に対しては之を褒め称え、現在のようなかに向かうと之をけなしかかるという傾向が確かにある事を私はここで繰り返しておきたい。しかし、そうかといって、このような判断がいつの場合でも間違っているのだとは限らないのである。と言う訳は、この様な傾向が、実際の真理と一致する場合もしょっちゅう起こりうる事だからである。

そして、また人の世の事柄は流転してやまない物なので、初めは上昇線をたどる物の、後の世ともなると次第に落ち目になっていく、と言う傾向がある事も認めねばならないのである。だから傑出した人物が現れて、見事な政治が行われ、其の人物の優れた力量のおかげで、しばらくは進歩と繁栄の一途をたどっている一つの都市とかひとつの国家の場合を想定してみよう。

ところで、たまたまこういった状態のもとに生を受けた人物が現在自分が生きている時代よりも昔の方が好ましいと考えてこれをたたえるなら、彼は誤りを犯している事になる。彼がこの様な誤りに陥るのは既に説明しておいた理由に基づく。ただし、この人物がかなり後の時代に、この都市または国家に生を受けてたまたま没落期に達した時期にめぐり合わせた場合には、彼の主張は間違っているとは言えなくなる。

以下略

ここで誤解しないでほしい点は過去への賞賛が間違っているかそうでないかはその賞賛の対象そのものの事実関係によって決まると述べており、過去の賞賛が全て正か邪かと決め付けているわけではないという点である。ただ、その賞賛を総合するとその事実が間違っている場合の方が多いという事なのである。一概に言えない事は場合わけをし、その客観的傾向を直視して科学的に探求すれば答えが導き出せる。

3.3 一般的なヒット曲ではアップテンポの方が多い

第2章のナオタンの曲の売り上げ傾向、3.1節のYoutube調査からのろい曲よりノリのよい曲のほうが売れやすい傾向が確認できた。だがそのような傾向は大衆一般にも観察される事象である。例として昭和55年から平成元年までのオリコン年間売り上げベスト50の中の演歌以外の曲をアップテンポ、ローテンポに分類し、その比率を調べた。演歌は自分の知識が疎いのでローテンポアップテンポの区別がはっきり出来ないためである。フォーク(のろい曲が多い)とロック(明るい曲が多い)はカウントする。

ここでのアップテンポの曲とはシンセなどの打ち込み間隔が比較的早く、歌い方や楽器が賑や

かであると自分が感じた曲をさす。ここでのローテンポの曲とは退屈であり楽器のリズムがのろくノリの良くない曲や賑やかでもテンポの遅いバラード調の自分が感じた曲をさす。

ヒット曲をアップテンポ、ローテンポ、演歌に振り分けた結果を図 3.3.1 と表 3.3.1 に示す。この図表を見れば明らかなようにポップスでは黄色で表されるアップテンポ曲のほうが多く、年間売り上げベスト 50 ではアップテンポとローテンポの比率は大体 2 対 1 から 3 対 1 となっている(おにゃん子ブームであった昭和 61 年を除く)。この比率はアルバム、シングル曲の傾向配分をする上で参考になる。例えば 12 曲入りアルバムを出す場合、ローテンポ曲は 12 曲中 3,4 曲にとどめるべきだと言う事である。しかしアップテンポ主体であっても同じような明るい曲ばかりだと聞き応えがなくなるのはいうまでもない。

表 3.3.1 オリコン年間売り上げ上位 50 曲の傾向分類

オリコン年間売上上位50曲の傾向分類				
Year	アップテンポ曲数	ローテンポ曲数	演歌などの曲数	アップテンポ/ローテンポ
1980	29	14	7	2.1
1981	32	12	6	2.7
1982	36	12	2	3.0
1983	30	11	9	2.7
1984	31	12	7	2.6
1985	33	14	3	2.4
1986	44	5	1	8.8
1987	31	13	6	2.4
1988	31	13	6	2.4
1989	35	11	4	3.2

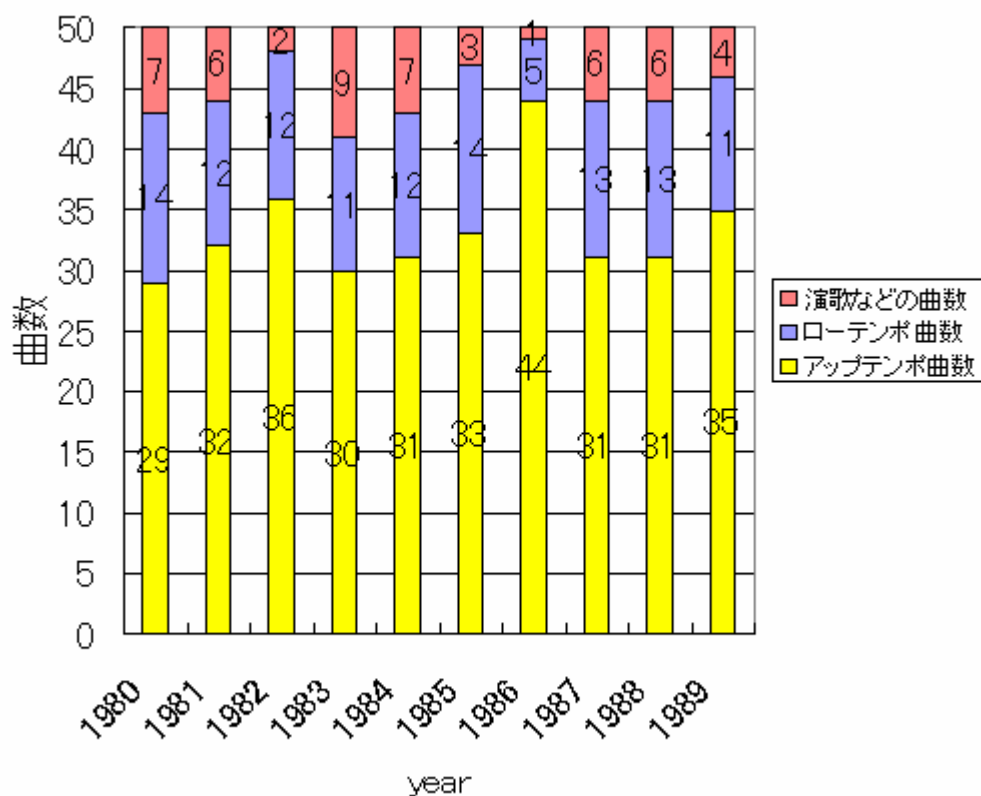


図 3.3.1 オリコン年間売り上げ上位 50 曲の傾向分類

この曲分類は自分自身の聞いた感じによって分類しているので絶対とはいえず聞き手により多少ばらつきが出る。図 3.3.2 から図 3.3.11 は計算に用いた毎年の年間ベスト 50 の曲目一覧であり(文献(13)-(22)より), 曲名のセルをアップテンポ, ローテンポ, 演歌系により色で分類しているので自分の根拠に疑問をもつ読者がいればその曲目一覧を各自でアップテンポ, ローテンポに分類しなおしてその比率を求めればよい。ヒット曲はローテンポよりアップテンポが多いという傾向は殆ど変わらないはずである。のろい曲偏重は殆どの場合でヒット作につながらない事が一般的なヒット曲の傾向からも証明できる。現在の人間社会は経済によって動いている。ヒットしないという事は売上も落ちるのでナオタンの歌手活動にかかるコストも下がり, その自由度も質も下がるという事である。そして何度もいうように最後は破滅し, 残るのは趣味人の自己満足だけである。

1980年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	156	ダンシング・オールナイト	もんた&ブラザーズ	1980/4/25
2	140	異邦人	久保田早紀	1979/10/1
3	118	大都会	クリスタルキング	1979/11/21
4	97	ランナウェイ	チャンネルズ	1980/2/25
5	93	順子	長渕剛	1980/6/5
6	93	贈る言葉	海援隊	1979/11/1
7	84	おまえとふたり	五木ひろし	1979/9/29
8	76	別れても好きな人	ロス・インディオス&シルヴィア	1979/9/21
9	71	さよなら	オフコース	1979/12/1
10	69	哀愁でいと	田原俊彦	1980/6/21
11	67	Sachiko	ばんばひろふみ	1979/9/21
12	65	昴	谷村新司	1980/4/1
13	58	とまり木	小林幸子	1980/1/1
14	57	風は秋色/Eighteen	松田聖子	1980/10/1
15	56	青い珊瑚礁	松田聖子	1980/7/1
16	54	蜃気楼	クリスタルキング	1980/4/5
17	53	おやじの海	村木賢吉	1979/2/25
18	52	防人の詩	さだまさし	1980/7/10
19	51	パープルタウン	八神純子	1980/7/21
20	50	秋止符	アリス	1979/12/20
21	48	倅せさがして	五木ひろし	1980/3/5
22	46	ハッとして! Good	田原俊彦	1980/9/21
23	45	Wake Up	財津和夫	1979/12/20
24	42	唇よ、熱く君を語れ	渡辺真知子	1980/1/21
25	41	RIDE ON TIME	山下達郎	1980/5/1
26	41	雨の慕情	八代亜紀	1980/4/25
27	40	ダンシング・シスター	ノーランズ	1980/7/21
28	40	道化師のソネット/HAPPY BIRTHDAY	さだまさし	1980/2/25
29	40	よせばいいのに	歎いとうとハッピー&ブルー	1979/6/21
30	39	不思議なピーチパイ	竹内まりや	1980/2/5
31	38	おもいで酒	小林幸子	1979/1/25
32	37	南回帰線	滝ともはる・堀内孝雄	1980/4/25
33	37	私はピアノ	高田みづえ	1980/7/25
34	36	恋	松山千春	1980/1/21
35	35	Yes・No	オフコース	1980/6/21
36	35	親父の一番長い日	さだまさし	1979/10/12
37	34	ジェニーはご機嫌ななめ	ジューシー・フルーツ	1980/6/1
38	34	狂った果実	アリス	1980/7/5
39	33	TOKIO	沢田研二	1980/1/1
40	33	ロックンロール・ウィドウ	山口百恵	1980/5/21
41	33	さよならの向う側	山口百恵	1980/8/21
42	32	「ヒゲ」のテーマ	たかしまあきこ&エレクトリック・シェパード	1980/2/25
43	30	恋の綱わたり	中村晃子	1980/6/5
44	30	THIS IS A SONG FOR COCA-COLA	矢沢永吉	1980/3/10
45	29	人生の空から/こいごころ	松山千春	1980/9/21
46	29	How manyいい顔	郷ひろみ	1980/7/21
47	29	テクノポリス	イエロー・マジック・オーケストラ	1979/10/25
48	28	謝肉祭	山口百恵	1980/3/21
49	28	大阪しぐれ	都はるみ	1980/2/1
50	28	裸足の季節	松田聖子	1980/4/1

図 3.3.2 昭和 55 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(13)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1980.html> 参照

1981年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	132	ルビーの指環	寺尾聰	1981/2/5
2	128	奥飛騨慕情	竜鉄也	1980/6/25
3	104	スニーカーぶる〜す	近藤真彦	1980/12/12
4	95	ハイスクールララバイ	イモ鉄トリオ	1981/8/5
5	86	長い夜	松山千春	1981/4/21
6	86	大阪しぐれ	都はるみ	1980/2/1
7	71	街角トワイライト	シャネルズ	1981/2/1
8	70	恋人よ	五輪真弓	1980/8/21
9	67	チェリーブラッサム	松田聖子	1981/1/21
10	67	守ってあげたい	松任谷由実	1981/6/21
11	59	ブルーシーズンズメモリー	近藤真彦	1981/6/12
12	59	恋=Do!	田原俊彦	1981/1/12
13	58	愛はかげろう	雅夢	1980/9/25
14	56	夏の扉	松田聖子	1981/4/21
15	56	ツッパリHigh School Rock'n Roll(登校編)	T.O.R.横浜銀蠅R.S.	1981/1/12
16	54	みちのくひとり旅	山本譲二	1980/8/5
17	53	帰ってこいよ	松村和子	1980/4/21
18	53	メモリーグラス	堀江淳	1981/4/21
19	52	シャドー・シティ	寺尾聰	1980/8/5
20	52	ヨコハマ・チーク	近藤真彦	1981/3/12
21	51	ギンギラギンにさりげなく	近藤真彦	1981/9/30
22	51	ブランデーグラス	石原裕次郎	1979/11/25
23	48	白いパラソル	松田聖子	1981/7/21
24	48	ブギ浮ぎI LOVE YOU	田原俊彦	1981/4/1
25	47	もしもピアノが弾けたなら ／いい夢見ろよ	西田敏行	1981/4/1
26	47	万里の河	チャゲ&飛鳥	1980/9/25
27	46	サンセット・メモリー	杉村尚美	1981/1/25
28	45	恋のぼんちシート	ザ・ぼんち	1981/1/1
29	42	ハリケーン	シャネルズ	1981/5/21
30	42	ペガサスの朝	五十嵐浩晃	1980/11/1
31	40	ふたり酒	川中美幸	1980/3/25
32	40	キスは目にして!	ザ・ヴィーナス	1981/7/25
33	39	まちぶせ	石川ひとみ	1981/4/21
34	38	風立ちぬ／Romance	松田聖子	1981/10/7
35	37	悲しみ2ヤング	田原俊彦	1981/9/2
36	37	ひとり上手	中島みゆき	1980/10/21
37	37	ロンリー・ハート	クリエーション	1981/4/21
38	37	春咲小紅	矢野顕子	1981/2/1
39	33	キミに決定!	田原俊彦	1981/7/1
40	33	シティ・コネクション	エマニエル	1981/7/5
41	33	抱かれない、もう一度	矢沢永吉	1981/4/25
42	33	シンデレラサマー	石川優子	1981/3/5
43	32	少女人形	伊藤つかさ	1981/9/1
44	32	鷓鴣毘路薫・狼琉	T.O.R.横浜銀蠅R.S.	1981/6/23
45	31	すみれ色の涙	岩崎宏美	1981/6/5
46	31	愛のコリーダ	クインシー・ジョーンズ	1981/4/5
47	30	出航	寺尾聰	1980/10/21
48	30	グッドラックLOVE	田原俊彦	1981/10/16
49	28	スローなブギにしてくれ	南佳孝	1981/1/21
50	27	一恵	山口百恵	1980/11/19

図 3.3.3 昭和 56 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(14)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1981.html> 参照

1982年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	101	待つわ	あみん	1982/7/21
2	83	セーラー服と機関銃	薬師丸ひろ子	1981/11/21
3	78	聖母たちのララバイ	岩崎宏美	1982/5/21
4	69	心の色	中村雅俊	1981/11/25
5	64	北酒場	細川たかし	1982/3/21
6	62	悪女	中島みゆき	1981/10/21
7	60	ハイティーン・ブギ	近藤真彦	1982/6/30
8	55	チャコの海岸物語	サザンオールスターズ	1982/1/21
9	55	情熱・熱風・せれなーで	近藤真彦	1982/1/7
10	52	ふられてBANZAI	近藤真彦	1982/3/31
11	51	渚のバルコニー	松田聖子	1982/4/21
12	50	赤いスイートピー	松田聖子	1982/1/21
13	48	ウェディング・ベル	シュガー	1981/11/21
14	46	哀愁のカサブランカ	郷ひろみ	1982/7/17
15	46	小麦色のマーメイド	松田聖子	1982/7/21
16	46	ジェームス・ディーンのように	Johnny	1981/11/18
17	43	誘惑	中島みゆき	1982/4/5
18	42	シルエット・ロマンス	大橋純子	1981/11/25
19	42	色つきの女でいてくれよ	ザ・タイガース	1982/2/5
20	41	い・け・な・いルージュマ	忌野清志郎+坂本龍一	1982/2/14
21	40	すみれSeptember Love	一風堂	1982/7/21
22	40	赤道小町ドキッ	山下久美子	1982/4/1
23	40	原宿キッス	田原俊彦	1982/5/8
24	40	夢の途中	来生たかお	1981/11/1
25	37	男の勲章	嶋大輔	1982/4/28
26	37	ホレたぜ! 乾杯	近藤真彦	1982/9/30
27	36	君に薔薇薔薇…という感じ	田原俊彦	1982/1/27
28	35	NINJIN娘	田原俊彦	1982/8/6
29	35	ラ・セゾン	アン・ルイス	1982/6/5
30	34	みちのくひとり旅	山本譲二	1980/8/5
31	34	YES MY LOVE	矢沢永吉	1982/2/20
32	33	＄百万BABY	Johnny	1982/6/23
33	31	約束	渡辺徹	1982/8/25
34	31	少女A	中森明菜	1982/7/28
35	30	ダンスはうまく踊れない	高樹滯	1982/7/21
36	29	デザイナー	もんた&ブラザーズ	1981/10/25
37	29	ギンギラギンにさりげなく	近藤真彦	1981/9/30
38	28	完全無欠のロックンロー	アラジン	1981/11/14
39	28	カサブランカ	パーティ・ヒギンズ	1982/4/21
40	28	匂艶THE NIGHT CLUB	サザンオールスターズ	1982/5/21
41	28	野ばらのエチュード	松田聖子	1982/10/21
42	27	暗闇をぶっとばせ	嶋大輔	1982/8/11
43	27	100%…SOかもね!	シブがき隊	1982/7/21
44	27	誘惑スレスレ	田原俊彦	1982/10/15
45	27	ハロー・グッバイ	柏原よしえ	1981/10/15
46	27	おまえにチェックイン	沢田研二	1982/5/1
47	26	すずめ	増田けい子	1981/11/28
48	26	横恋慕	中島みゆき	1982/9/21
49	25	NAI・NAI 16	シブがき隊	1982/5/5
50	24	だってフォーリンラブ突然	三原順子	1982/5/21

図 3.3.4 昭和 57 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(15)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1982.html> 参照

1983年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	105	さざんかの宿	大川栄策	1982/8/1
2	90	矢切の渡し	細川たかし	1983/2/21
3	88	めだかの兄妹	わらべ	1982/12/21
4	84	探偵物語／すこしだけやさしく	薬師丸ひろ子	1983/5/25
5	79	氷雨	佳山明生	1982/7/21
6	73	キャッツ・アイ	杏里	1983/8/5
7	70	ガラスの林檎／SWEET MEMORIES	松田聖子	1983/8/1
8	65	セカンド・ラブ	中森明菜	1982/11/10
9	63	フラッシュ・ダンス	アイリーン・キャラ	1983/6/25
10	62	め組のひと	ラッツ&スター	1983/4/1
11	58	時をかける少女	原田知世	1983/4/21
12	58	3年目の浮気	ヒロシ&キーボー	1982/8/21
13	57	1/2の神話	中森明菜	1983/2/23
14	52	初恋	村下孝蔵	1983/2/25
15	50	氷雨	日野美歌	1982/12/5
16	47	天国のキッス	松田聖子	1983/4/27
17	44	禁区	中森明菜	1983/9/7
18	43	浪花恋しぐれ	都はるみ・岡千秋	1983/5/21
19	42	トワイライト	中森明菜	1983/6/1
20	42	想い出がいっぱい	H2O	1983/3/25
21	41	ボヘミアン	葛城ユキ	1983/5/21
22	39	秘密の花園	松田聖子	1983/2/3
23	39	ミッドナイト・ステーション	近藤真彦	1983/1/20
24	38	恋人も濡れる街角	中村雅俊	1982/9/1
25	34	エスカレーション	河合奈保子	1983/6/1
26	34	悲しい色やね	上田正樹	1982/10/21
27	34	汚れた英雄	ローズマリー・パトラー	1982/11/1
28	34	君に、胸キュン。	イエロー・マジック・オーケストラ	1983/3/25
29	34	真夏の一秒	近藤真彦	1983/4/27
30	33	メリーアン	アルフィー	1983/6/21
31	33	春なのに	柏原芳恵	1983/1/11
32	33	僕笑っちゃいます	風見慎吾	1983/5/21
33	33	ピエロ	田原俊彦	1983/2/17
34	32	ためいきロ・カ・ビ・リー	近藤真彦	1983/7/15
35	31	さらば・夏	田原俊彦	1983/8/12
36	30	家路	岩崎宏美	1983/8/21
37	29	ボディ・スペシャルⅡ	サザンオールスターズ	1983/3/5
38	29	ドラマティック・レイン	稲垣潤一	1982/10/21
39	27	サマー・サスペンション	杉山清貴&オメガトライブ	1983/4/21
40	26	夏色のナンシー	早見優	1983/4/1
41	26	冬のリヴィエラ	森進一	1982/11/21
42	26	う、ふ、ふ、ふ、	epo	1983/2/5
43	26	シャワーな気分	田原俊彦	1983/5/18
44	25	夢芝居	梅沢富美男	1982/11/21
45	25	そんなヒロシに騙されて	高田みづえ	1983/8/21
46	25	瞳はダイヤモンド／蒼いフォトグラフ	松田聖子	1983/10/28
47	24	Zokkon命	シブがき隊	1983/5/5
48	24	恋吹雪	大川栄策	1983/6/1
49	24	GOOD-BYE青春	長渕剛	1983/9/1
50	23	恋は、ご多忙申し上げます	原由子	1983/8/21

図 3.3.5 昭和 58 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(16)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1983.html> 参照

1984年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	96	もしも明日が…。	わらべ	1983/12/21
2	69	ワインレッドの心	安全地帯	1983/11/25
3	67	Rock'n Rouge	松田聖子	1984/2/1
4	66	涙のリクエスト	チェッカーズ	1984/1/21
5	65	哀しくてジェラシー	チェッカーズ	1984/5/1
6	60	十戒(1984)	中森明菜	1984/7/25
7	58	娘よ	芦屋雁之助	1984/2/1
8	57	星屑のステージ	チェッカーズ	1984/8/23
9	56	北ウイング	中森明菜	1984/1/1
10	54	サザン・ウインド	中森明菜	1984/4/11
11	52	星空のディスダンス	アルフィー	1984/1/21
12	52	雨音はショパンの調べ	小林麻美	1984/4/21
13	51	メイン・テーマ	薬師丸ひろ子	1984/5/16
14	48	長良川艶歌／おはん	五木ひろし	1984/4/21
15	47	時間の国のアリス	松田聖子	1984/5/10
16	43	ふたりの愛ランド／渚の誓い	石川優子とチャゲ	1984/4/21
17	42	ピンクのモーツァルト	松田聖子	1984/8/1
18	40	ラブ・イズ・オーバー	欧陽菲菲	1982/9/1
19	40	悲しみがとまらない	杏里	1983/11/5
20	39	ギザギザハートの子守唄	チェッカーズ	1983/9/21
21	37	迷宮のアンドロラ／DUNK	小泉今日子	1984/6/21
22	33	モニカ	吉川晃司	1984/2/1
23	33	桃色吐息	高橋真梨子	1984/5/21
24	33	お久しぶりね	小柳ルミ子	1983/7/21
25	33	渚のはいから人魚／風のマジカル	小泉今日子	1984/3/21
26	32	ケジメなさい	近藤真彦	1984/6/6
27	32	愛情物語	原田知世	1984/4/25
28	31	瞳はダイヤモンド／蒼いフォトグラフ	松田聖子	1983/10/28
29	31	君が、嘘を、ついた	オフコース	1984/4/21
30	31	STARSHIP	アルフィー	1984/5/21
31	30	チャールストンにはまだ早い	田原俊彦	1984/2/3
32	30	釜山港へ帰れ	渥美二郎	1983/9/1
33	29	一番野郎	近藤真彦	1984/3/1
34	28	前略、道の上より／セピアカラー	一世風靡セピア	1984/6/25
35	28	ヤマトナデシコ七変化	小泉今日子	1984/9/21
36	27	ミス・ブランニュー・デイ	サザンオールスターズ	1984/6/25
37	27	NEVER／おつだね	MIE	1984/6/1
38	27	愛・おぼえていますか	飯島真理	1984/6/5
39	26	浪花恋しぐれ	都まるみ・岡千秋	1983/5/21
40	25	浪花節だよ人生は	木村友衛	1981/6/21
41	25	騎士道	田原俊彦	1984/5/23
42	25	つぐない	テレサ・テン	1984/1/21
43	25	喝！	シブがき隊	1984/3/30
44	25	顔に書いた恋愛小説(ロマンス)	田原俊彦	1984/8/8
45	24	君のハートはマリブルー	杉山清貴&オメガトライブ	1984/1/21
46	24	エル・オー・ヴィ・愛・N・G	田原俊彦	1983/11/18
47	24	細雪	五木ひろし	1983/9/1
48	24	艶姿ナミダ娘	小泉今日子	1983/11/1
49	23	永遠に秘密さ	近藤真彦	1984/9/13
50	23	君たちキウイ・パイア・マンゴーだね。	中原めいこ	1984/4/5

図 3.3.6 昭和 59 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(17)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1984.html> 参照

1985年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	70	ジュリアに傷心	チェッカーズ	1984/11/21
2	63	ミ・アモーレ	中森明菜	1985/3/8
3	54	恋におちて	小林明子	1985/8/31
4	51	Romanticが止まらない	C-C-B	1985/1/25
5	51	あの娘とスキャンダル	チェッカーズ	1985/3/21
6	51	飾りじゃないのよ涙は	中森明菜	1984/11/14
7	46	SAND BEIGE	中森明菜	1985/6/19
8	44	俺たちのロカビリーナイト	チェッカーズ	1985/7/5
9	44	悲しみにさよなら	安全地帯	1985/6/25
10	41	天使のウィンク	松田聖子	1985/1/30
11	39	卒業	菊池桃子	1985/2/27
12	39	あなたを・もっと・知りたくて	薬師丸ひろ子	1985/7/3
13	37	翼の折れたエンジェル	中村あゆみ	1985/4/21
14	37	スターダスト・メモリー	小泉今日子	1984/12/21
15	36	ふたりの夏物語	杉山清貴&オメガトライブ	1985/3/6
16	36	今だから	松任谷由実・小田和正・財津和夫	1985/6/1
17	36	バイバイマイラブ	サザンオールスターズ	1985/5/29
18	35	ふられ気分でROCK'N ROLL	トム・キャット	1984/11/14
19	35	ボーイの季節	松田聖子	1985/5/9
20	35	赤い鳥逃げた	中森明菜	1985/5/1
21	35	俺ら東京さ行くだ	吉幾三	1984/11/25
22	34	BOYのテーマ	菊池桃子	1985/5/15
23	33	恋の子感	安全地帯	1984/10/25
24	32	熱視線	安全地帯	1985/1/25
25	31	ウィ・アー・ザ・ワールド	USA for AFRICA	1985/4/12
26	31	ユー・ガッタ・チャンス	吉川晃司	1985/1/11
27	30	夫婦坂	都はるみ	1984/9/30
28	29	シンデレラは眠れない	アルフィー	1985/2/21
29	29	碧い瞳のエリス	安全地帯	1985/10/1
30	28	ハート・オブ・レインボー／ブルー・パシフィック	チェッカーズ	1985/9/21
31	27	いっそせれナーデ	井上陽水	1984/10/24
32	26	そして…めぐり逢い	五木ひろし	1985/4/5
33	26	常夏娘	小泉今日子	1985/4/10
34	26	卒業	斉藤由貴	1985/2/21
35	26	SOLITUDE	中森明菜	1985/10/9
36	26	にくまれそうなNEWフェイス	吉川晃司	1985/4/23
37	25	そして僕は途方に暮れる	大沢誉志幸	1984/9/21
38	24	セーラー服を脱がさないで	おニャン子クラブ	1985/7/5
39	24	タッチ	岩崎良美	1985/3/21
40	24	もう逢えないかもしれない	菊池桃子	1985/9/26
41	24	六本木心中	アン・ルイス	1984/10/5
42	23	ネバーエンディング・ストーリーのテーマ	リマール	1984/11/21
43	23	メロディ	サザンオールスターズ	1985/8/21
44	22	神様ヘルプ!	チェッカーズ	1985/11/1
45	22	涙のtake a chance	風見慎吾	1984/12/21
46	22	サイレンスがいっぱい	杉山清貴&オメガトライブ	1985/5/29
47	21	オーバーナイト・サクセス	テリー・デサリオ	1984/9/21
48	21	娘よ	芦屋雁之助	1984/2/1
49	21	雪にかいたLOVE LETTER	菊池桃子	1984/11/1
50	21	ラッキー・チャンスをもう一度	C-C-B	1985/8/21

図 3.3.7 昭和 60 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(18)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1985.html> 参照

1986年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	53	CHA-CHA-CHA	石井明美	1986/8/14
2	51	DESIRE	中森明菜	1986/2/3
3	47	仮面舞踏会	少年隊	1985/12/12
4	45	Ban BAN Ban	Kuwata Band	1986/4/5
5	44	My Revolution	渡辺美里	1986/1/22
6	40	恋におちて	小林明子	1985/8/31
7	35	ジブシー・クイーン	中森明菜	1986/5/26
8	35	スキップ・ビート	Kuwata Band	1986/7/5
9	35	OH!! POPSTAR	チェッカーズ	1986/2/21
10	34	青いスタスィオン	河合その子	1986/3/21
11	32	Song for U.S.A	チェッカーズ	1986/6/5
12	32	ダンシング・ヒーロー	荻野目洋子	1985/11/21
13	32	冬のオペラグラス	新田恵利	1986/1/1
14	31	バレンタイン・キッス	国生さゆり	1986/2/1
15	31	MERRY X'MAS IN SUMMER	Kuwata Band	1986/7/5
16	31	シーズン・イン・ザ・サン	チューブ	1986/4/21
17	30	バナナの涙	うしろゆびさされ組	1986/1/21
18	29	君は1000%	1986 OMEGA TRIBE	1986/5/1
19	28	悲しみよこんにちは	斉藤由貴	1986/3/21
20	28	熱き心に	小林旭	1985/11/20
21	28	なんてったってアイドル	小泉今日子	1985/11/21
22	28	恋のロープをほどかないで	新田恵利	1986/4/10
23	28	じゃあね	おニャン子クラブ	1986/2/21
24	27	季節はずれの恋	吉沢秋絵	1986/3/1
25	27	Fin	中森明菜	1986/9/25
26	26	デカメロン伝説	少年隊	1986/3/24
27	26	今夜はANGEL	椎名恵	1986/1/1
28	25	空想Kiss	O-C-B	1985/11/27
29	25	夏を待てない	国生さゆり	1986/5/10
30	25	フレンズ	レベッカ	1985/10/21
31	24	歌謡曲	とんねるず	1986/1/21
32	24	1986年のマリリン	本田美奈子	1986/2/5
33	24	夏色片想い	菊池桃子	1986/5/14
34	23	プルシアンブルーの肖像	安全地帯	1986/7/1
35	23	渚の『……』	うしろゆびさされ組	1986/8/27
36	23	くちびるNetwork	岡田有希子	1986/1/29
37	23	象さんのすぎやんてい	うしろゆびさされ組	1986/5/2
38	22	色・ホワイトブレンド	中山美穂	1986/2/5
39	21	Broken Sunset	菊池桃子	1986/2/13
40	21	ラズベリー・ドリーム	レベッカ	1986/5/2
41	20	シンデレラたちへの伝言	高井麻巳子	1986/6/25
42	20	Say Yes!	菊池桃子	1986/9/3
43	20	キャンドルの瞳	吉川晃司	1986/1/1
44	20	おっとCHIKAN!	おニャン子クラブ	1986/4/21
45	20	さよならのオーシャン	杉山清貴	1986/5/28
46	20	瞳に約束	渡辺美奈代	1986/7/16
47	20	Super Chance	1986 OMEGA TRIBE	1986/8/7
48	19	NANA	チェッカーズ	1986/10/15
49	19	Teenage Walk	渡辺美里	1986/5/2
50	19	不思議な手品のように	新田恵利	1986/8/1

図 3.3.8 昭和 61 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(19)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1986.html> 参照

1987年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	42	命くれない	瀬川瑛子	1986/3/21
2	34	TANGO NOIR	中森明菜	1987/2/4
3	33	雪國	吉幾三	1986/2/25
4	31	STAR LIGHT	光GENJI	1987/8/19
5	31	Strawberry Time	松田聖子	1987/4/22
6	30	難破船	中森明菜	1987/9/30
7	30	Blonde	中森明菜	1987/6/3
8	29	無錫旅情	尾形大作	1986/9/21
9	28	追憶	五木ひろし	1987/4/1
10	28	君だけに	少年隊	1987/6/24
11	27	木枯しに抱かれて	小泉今日子	1986/11/19
12	27	ろくなもんじゃねえ	長渕剛	1987/5/25
13	27	輝きながら…	徳永英明	1987/7/5
14	25	楽園のDoor	南野陽子	1987/1/10
15	25	I Love You,SAYONARA	チェッカーズ	1987/3/5
16	25	stripe blue	少年隊	1987/3/3
17	23	WAKU WAKUさせて	中山美穂	1986/11/21
18	23	話しかけたかった	南野陽子	1987/4/1
19	23	バラードのように眠れ	少年隊	1986/11/28
20	23	マリオネット	BOφWY	1987/7/22
21	21	サマードリーム	チューブ	1987/4/10
22	21	Get Wild	TM NETWORK	1987/4/8
23	21	50/50	中山美穂	1987/7/7
24	20	派手!!!	中山美穂	1987/3/18
25	20	WANDERER	チェッカーズ	1987/7/8
26	20	Oneway Generation	本田美奈子	1987/2/4
27	20	愛しき日々	堀内孝雄	1986/10/25
28	19	バンドラの恋人	南野陽子	1987/7/1
29	19	SHOW ME	森川由加里	1987/10/26
30	18	北の旅人	石原裕次郎	1987/8/10
31	18	サファイアの瞳	アルフィー	1987/3/11
32	18	水のルージュ	小泉今日子	1987/2/25
33	18	秋のIndication	南野陽子	1987/9/23
34	18	核	尾崎豊	1987/10/1
35	18	愚か者	近藤真彦	1987/1/1
36	17	六本木純情派	荻野目洋子	1986/10/29
37	17	ホワイトラビットからのメッセージ	渡辺満里奈	1987/1/1
38	17	CATCH ME	中山美穂	1987/10/7
39	17	MAY	斉藤由貴	1986/11/19
40	17	最後のHoly Night	杉山清貴	1986/11/6
41	16	男と女のラブゲーム	日野美歌・葵司朗	1986/12/21
42	16	時の流れに身をまかせ	テレサ・テン	1986/2/21
43	16	アイドルを探せ	菊池桃子	1987/3/25
44	16	湾岸太陽族	荻野目洋子	1987/3/3
45	16	さよならの果実たち	荻野目洋子	1987/6/21
46	15	悲しい気持ち	桑田佳祐	1987/10/6
47	15	水の中のAnswer	杉山清貴	1987/5/27
48	15	Pearl-White Eve	松田聖子	1987/11/6
49	15	迷惑でしょうが…	とんねるず	1987/4/5
50	15	モトーン・ボーイ	レベッカ	1987/4/22

図 3.3.9 昭和 62 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(20)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1987.html> 参照

1988年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	87	パラダイス銀河	光GENJI	1988/3/9
2	67	ガラスの十代	光GENJI	1987/11/26
3	67	Diamondハリケーン	光GENJI	1988/6/21
4	62	DAYBREAK	男闘呼組	1988/8/24
5	52	乾杯	長渕剛	1988/2/5
6	45	MUGO・ん…色っばい	工藤静香	1988/8/24
7	41	剣の舞	光GENJI	1988/10/10
8	37	ANGEL	氷室京介	1988/7/21
9	36	人魚姫	中山美穂	1988/7/11
10	33	You Were Mine	久保田利伸	1988/2/26
11	30	吐息でネット	南野陽子	1988/2/26
12	30	みんなのうた	サザンオールスターズ	1988/6/25
13	29	TATTOO	中森明菜	1988/5/18
14	29	AL-MAUJ	中森明菜	1988/1/27
15	29	You're My Only SHININ'STAR	中山美穂	1988/2/17
16	28	とんぼ	長渕剛	1988/10/26
17	27	C-Girl	浅香唯	1988/4/20
18	27	抱きしめてTONIGHT	田原俊彦	1988/4/21
19	26	はいからさんが通る	南野陽子	1987/12/2
20	26	命くれない	瀨川瑛子	1986/3/21
21	26	いつか何処かで	桑田佳祐	1988/3/16
22	25	あなたを愛したい	南野陽子	1988/6/18
23	25	FU-JI-TSU	工藤静香	1988/6/1
24	25	祝い酒	坂本冬美	1988/4/6
25	25	ふたり	少年隊	1988/3/23
26	25	太陽の破片	尾崎豊	1988/6/21
27	24	愛き世川	瀨川瑛子	1988/2/5
28	24	恋したっていいじゃない	渡辺美里	1988/4/21
29	24	雪椿	小林幸子	1987/6/25
30	23	秋からも、そばにいて	南野陽子	1988/10/8
31	22	SHOW ME	森川由加里	1987/10/26
32	22	センチ	浅香唯	1988/8/18
33	22	What's your name?	少年隊	1988/7/8
34	22	BEYOND THE TIME	TM NETWORK	1988/3/5
35	21	想いで迷子	チョー・ヨンピル	1986/9/25
36	21	SEVEN DAYS WAR	TM NETWORK	1988/7/21
37	20	旅立ちはフリージア	松田聖子	1988/9/7
38	18	悲しい気持ち	桑田佳祐	1987/10/6
39	18	僕の腕の中で	杉山清貴	1988/4/21
40	18	風のLONELY WAY	杉山清貴	1988/1/13
41	18	GET BACK IN LOVE	山下達郎	1988/4/25
42	18	抱いてくれたらいいのに	工藤静香	1988/3/2
43	18	Marrakech	松田聖子	1988/4/14
44	17	Believe Again	浅香唯	1988/1/27
45	17	Beach Time	チューブ	1988/4/30
46	17	悲しいね	渡辺美里	1987/12/9
47	17	AMBITIOUS	HOUND DOG	1988/4/1
48	17	男と女のはしご酒	武田鉄矢・芦川よしみ	1987/11/11
49	17	GOOD MORNING-CALL	小泉今日子	1988/3/9
50	16	無錫旅情	尾形大作	1986/9/21

図 3.3.10 昭和 63 年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(21)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1988.html> 参照

1989年のオリコン年間売り上げ上位50曲				
順位	売上(万枚)	タイトル	アーティスト	発売日
1	81	Diamonds	プリンセス・プリンセス	1989/4/21
2	75	世界でいちばん熱い夏	プリンセス・プリンセス	1989/7/1
3	74	とんぼ	長渕剛	1988/10/26
4	68	太陽がいっぱい	光GENJI	1989/7/20
5	62	愛が止まらない	Wink	1988/11/16
6	60	恋一夜	工藤静香	1988/12/28
7	54	淋しい熱帯魚	Wink	1989/7/5
8	52	嵐の素顔	工藤静香	1989/5/3
9	52	黄砂に吹かれて	工藤静香	1989/9/6
10	52	涙をみせないで	Wink	1989/3/16
11	47	地球をさがして	光GENJI	1989/3/6
12	44	激愛	長渕剛	1989/2/8
13	42	秋	男闘呼組	1988/12/27
14	40	夢の中へ	斉藤由貴	1989/4/21
15	40	Return to Myself	浜田麻里	1989/4/19
16	35	TIME ZONE	男闘呼組	1989/2/28
17	35	ANNIVERSARY	松任谷由実	1989/6/28
18	32	Runner	BAKUFU-SLUMP	1988/10/21
19	31	GLORIA	ZIGGY	1989/7/26
20	31	リゾ・ラバ	BAKUFU-SLUMP	1989/7/19
21	31	SUMMER GAME	氷室京介	1989/7/26
22	30	シングル・アゲイン	竹内まりや	1989/9/12
23	30	ごめんよ涙	田原俊彦	1989/4/19
24	30	DIVE INTO YOUR BODY	TM NETWORK	1989/7/21
25	29	ドリームラッシュ	宮沢りえ	1989/9/15
26	27	酒よ	吉幾三	1988/9/1
27	27	ROSECOLOR	中山美穂	1989/2/21
28	27	LIAR	中森明菜	1989/4/25
29	26	TRAIN-TRAIN	THE BLUE HEARTS	1988/11/23
30	25	ともだち	中村あゆみ	1989/4/12
31	25	MISTY	氷室京介	1989/9/6
32	25	ヴァージン・アイズ	中山美穂	1989/7/12
33	24	さよならベイビー	サザンオールスターズ	1989/6/7
34	23	ROCKIN'MY SOUL/ CROSS TO YOU	男闘呼組	1989/8/2
35	22	川の流れるように	美空ひばり	1989/1/11
36	22	Witches	中山美穂	1988/11/14
37	22	Room	チェッカーズ	1989/3/21
38	21	One Night In Heaven	Wink	1989/11/1
39	20	BE MY BABY	COMPLEX	1989/4/8
40	20	男の情話	坂本冬美	1989/3/8
41	20	涙はどこへいったの	南野陽子	1989/2/15
42	19	まいったネ今夜	少年隊	1989/6/19
43	19	17才	森高千里	1989/5/25
44	19	剣の舞	光GENJI	1988/10/10
45	18	ムーンライトダンス	渡辺美里	1989/6/1
46	18	トラブル・メーカー	南野陽子	1989/6/21
47	18	雨酒場	香西かおり	1988/5/25
48	17	TRUE LOVE	浅香唯	1989/1/25
49	17	Mother's Touch	藤井郁弥	1988/12/7
50	17	FUNK FUJIYAMA	米米CLUB	1989/10/21

図 3.3.11 平成元年オリコン年間売り上げ上位 50 曲 文献(22)より

<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1989.html> 参照

3.4 男の収集癖について

例えば男にとって女は単なる性欲を満たす道具の一種とみる場合が多い。投資家の買う株式の銘柄と同じで単なる利益を得るための手段なのである。そして一番女で大事な要素は見た目である。だから見た目の優れた女は貢がれ、おだてられ、ちやほやされる。逆に理由はどうであれ醜い女は冷遇される。見た目以外の全ての要素が同一な美女と醜女をどちらも同じように好きになる男はごく少数である。男が第一に女に求める事が性欲の対象である事の何よりの証なのである。そして好みの範囲内の女を複数同時に収集し、飽きた女は除外し、新たによいと感じた女を編入させる事で個人のコレクションを管理するのが男の理想形態ではないか。ある女への目的が達成され、欲求が満たされると飽きてしまい、次の女に好みが移る。男には興味ある対象をコレクションにしたがる収集癖がある。女にとっては都合が悪いだろうが其れが現実である(逆に女から見れば男は贅沢三昧をするための単なる金のなる木であろう)。そして現実を直視できない人間は滅び去るしかない。現実の制約の中で目的を達成するにはその現実に適した術数や手段を柔軟に駆使する必要がある。

そのような男の収集癖は趣味や音楽の面にも現れる。マニアは特に其の収集癖が強く、好きなアイドルの曲や写真集などを買い集めて自分の手元に置きたがる。ネットで DL した動画や画像も同様にハードディスクに溜め込む。リスやハムスターのようである。好きな歌手の一つのアルバムを聴くだけでそのアイドルへの欲求が満たされる事はなく、次から次へと他の作品も買おうとする。好きなアイドルが一人だけである事も非常にまれである。そして色々な要因で気に入っていたアイドルの作品に飽きてくれば他の歌手に興味が移る。そして各人の欲にあった形態にコレクション群が保たれるのである。プラモデルマニアでも同じである。例えば之はほしいと思う製品を買い、作ったらそれ 1 つだけで完結する事はまずない。次の好みにあうプラモデル製品がほしくなるのだ。そして、次から次へと自分の好みに合う製品を収集、製作していく。この本質はやり方しだいでナオタンの音楽作品の売上にプラスにもマイナスにも働く。

ナオタンのファンは殆どが以上に述べたような収集癖の強いアイドルマニアの中年男である(それ以外のファンを大量に獲得するのはナオタンの性質上きわめて困難)。ナオタンの音楽活動がプラスに動くようにするには其の男衆の性癖や心理に適合した販売戦略にするべきだ。ナオタン側(供給側)がファンの喜ぶ曲を出し続け、飽きない企画でセクシー路線や間接的エロチック路線の演出を続ければナオタンファンの需要は保てる。水着姿も、作品ごとに形や色を変えていたり必要に応じて胸の透けポチなどのサービスをすれば男の欲望をうまく持続できる。ナオタンは顔も体も良いので強調できるぶぶんも多い。特に胸だけではなく股間もきわどく強調すべきである。他のナオタンと同じ年代のアイドルで曲がさっぱり売れず、ヌードになるのはいたがあまりファンの人気向上にはプラスに働かず、一時的に話題になるだけである。逆にエロを完全否定して女趣味的作風になったりファンの好みに合わない退屈曲を出し続ければ飽きられてしまい、売上が落ち、結局歌手活動を自ら破滅させる事になったのは過去の歴史からも理論的にも説明がつく。過剰なエロ演出もあだになるので注意が必要である。そうするとナオタンへのファンの性的欲求は満たされてしまい、あそ事あそこはこうなっているんだ、と分かってしまうのでファンの多くは妄想が尽きてナオタンに飽きてしまい、ナオタン作品への投資が鈍ってしまう。過激なエロもエロの否定もファンの妄想意欲をそぎ、ナオタンにはマイナスに働くのである。ナオタンが高齢化して見るに耐えない姿になった場合は最新技術を駆使して全盛期のナオタンを CG と人口音声で再現すれば作品のリリースは可能である。そうすればナオタンファンからの需要も今後

40 年程度は期待でき、ナオタンファンも性的妄想に花を咲かせる事になる。また、その様な妄想は男の創造力を鍛え、脳を活性化させるので、痴呆症や頭の老化防止にも役立つ。ナオタンの年代はもうすぐ老年期を迎えるので老人の脳の活性化にも貢献できるのである。オナペット女王とは、福祉や精神医療の分野でも貢献可能なのだ。そしてあくまでナオタンファンというのはナオタンが音楽活動で利益を得るための手段であると同時にナオタンや其の作品もナオタンファンが好きな音楽を聴いたり其の見た目をオナペットにする手段なのである。こうして需要と供給の関係は保たれ、商売は成り立つ。現実のなかでの理想の実現とはこの事だ。女にとっては気に食わぬと思う男の収集癖もやり方しだいでナオタンを生かすプラスの方向に仕向ける事は十分可能である。

3.5 カバー曲の有効性

ナオタンは歌唱力があるのにヒット曲にそれほど恵まれていない。そこで、カバー曲の有効活用が考えられるのである。カバーした曲の元の歌手のファンを取り込んだりその歌や歌手のブームに便乗する事も可能である。また、ナオタンファンもナオタンがこういう曲を歌うのを聴きたいという願望を持つ場合、その要望の多い曲をカバーすれば在来 of ナオタンファンからも人気を博す場合も考えられる。また、カバー曲というのは過去にヒットした曲、しなかった曲両方をカバーするようにすべきである。実際にも過去のヒット曲をカバーして売れる場合、過去にヒットしなかった曲をカバーして売れる場合両方の事例が存在する。要はナオタンのカバー作品が売れ、少数ではなく多数のナオタンファンに喜ばれれば其れでよい。

カバー曲を採用する基準は以下の 2 通りある。的を得たカバー曲の選定もファンと双方向的な関係を保ってこそ実現されるものである。

(1) 能動的採用

要望がなくてもナオタンの販売戦略で求める曲傾向に合致し、需要が期待できる曲であれば採用し、音楽作品に収録する

(2) 受動的採用

定期的に公式サイトなどでファン投票し、ナオタンにこういう曲を歌ってくれという要望が強い曲に関して採用する

カバー曲も重視する事でヒット曲の可能性は広がる。カバー曲の選定も新曲を作る事と同じくらい重視すべき事だと考えられる。

3.6 ファンとの双方向的関係の構築について

地道にファンの意向や動向を販売戦略に反映する事は売り上げ維持向上の為に必要である。また、また、現在はネット社会でありファンの要望や嗜好特性をすばやく正確に把握するには便利になっている。インターネットをふんだんに駆使してファン側との双方向的関係を構築すれば昔よりも少ないリスクでヒット作を作る事にもつなげられる。其れだけではなく互いの情報交換は急激な人気凋落や売り上げ低下を予防する事にもつながる。個人の主観的好みや意見も選挙の出口調査や内閣支持率調査同様に多数集まれば過去の経験の反省やこれからの作品リリースを考える上で非常に重要な資料となる。

ナオタンはこれから音楽作品を作るならその構想段階の時点で公式ホームページを作るべきで

ある。あらかじめ公式サイトを駆使してファンからの意見を集めてそれを作品に反映すべきである。意見を調査したふりをして結局ファンの意向を反映しない作品を作ったり捏造や情報操作で製作側に都合のよい事情だけを発信したり収集するようではその場しのぎはできても長期的にはイメージ低下やファン離れを引き起こし、最終的に破滅するだろう。

公式サイト以外でも例えば Youtube, ニコニコ動画などの動画サイトも宣伝として使える。自分が行ったような Youtube でのナオタン動画の動画とその再生回数についての調査や情報収集も可能である。

ファンサイト, 2ch のような提示版, Youtube の動画のコメント欄は利用価値が低い。ファンサイトはナオタンのやる事なす事を褒めちぎるだけなのでナオタンファンからの生の意見は黙殺されてしまいがち(他のアイドルのファンサイトも同様)である。2ch のようなサイトは 2ちゃんねらーによる煽りや誇張, 自作自演(一人や数人でスレを埋めまくる暇人も多い), ガセネタの割合が非常に多くあまり信憑性がない。芸能人がブログを書くのもよくあるが, ブログのコメント欄も当人のやる事なす事への一方的な共感と賞賛しか許されず, 建設的な意見や批判であっても荒らしとしてたたかれる。馬を鹿であるとか鳥は白いとそのタレントが言えばコメント欄には其れに盲従するコメントのみを書かすような盲従的, 隷属的人間の一方的賞賛からはファンの生の意見は見出せない。Youtube の動画のコメント欄については書かれている感想や意見は 2ch 同様殆どが建設的ではなく, そのコメント数も再生回数のわりに少なすぎる。それらの媒体は販売戦略を練る上では使えないのである。

ここから本題にはいるが, ファンとの双方向的関係の構築には合理的な組織編成が欠かせない。ファンからの意見や傾向の情報収集は第 3 者機関を設けたほうが音楽製作組織の利益にかなうというのが自分の意見である。例えばナオタンと個人的に仲の良い人間が情報収集すれば, ナオタンの機嫌を損ねる事を恐れるあまりナオタンに都合の悪い事を見てみぬふりをし, 本人が自己満足して喜ぶ事ばかりを抽出したがるであろう。個人的に仲の良い村社会的人間関係で仕事をすればそこに馴れ合い, 癒着, 不祥事の隠蔽が生じ, 当初は其れを隠しおおせたとしても最終的に利益率が極度に下がるか不祥事が露見して破滅をする。同属経営食品メーカーが長年隠してきた食品偽装がばれて廃業したり, 村社会的農村の百姓が高齢化と人口流出による自然消滅に向かっているのはそのためであろう。馴れ合い人間関係で音楽製作をするのではファンの生の意見を黙殺されてしまい, 大多数のファンの意見を反映しない製作側の自己満足による音楽作品の製作を招き, 長期的にはファン離れを誘発する。だからナオタンが自作作曲をだすと次第に売れ行きが悪くなったのである。距離を保った効率の良い人間関係ならば, 各自の仕事と目的の達成のために冷静な目線で物事の成り行きを観察できる。悪い面が発見できればどこがどういう観点から見てデメリットを生じるかはっきり意見を述べやすくなる。組織や社会を動かすのはシステムであり, 人間力ではない。欧米社会ではシステム化とマニュアル化は常識である。欧米の企業や軍隊のような効率の良いチームワークで組織を運営すれば目的の達成のために特化した組織構造となれるのでより高い成果(作品の質及びその売り上げ)とより少ない製作効率(時間, コスト, 電力などのエネルギー全て)を両立可能になる。

音楽製作組織に研究機関を設ける事も組織運営上有益である。米軍には CIA が情報収集を, DRAPPA が最先端の軍事研究を行う。其の DRAPPA に相当する研究機関も音楽製作をする上で必要になる時期が出てくる。研究機関の目的は以下の通りである。

- ・ 曲の路線変更(例えばナオタンがエスカレーションを出した時など)や新しい販売手法が成功

するのか否かをあらかじめ把握する

- ・ CG や合成音声などを音楽に応用する新技術の研究をする

情報収集や研究だけではなく作品製作主導にもアーティスト達と距離を置いた機関が必要であると考えられる。之を音楽製作主導部とでも名づけよう。仮に中立な情報をナオタン側に与えたとしても、ナオタン側のアーティスト(ナオタン部)がくさいものには蓋をしたり自分達の都合の良い解釈しかできない人間ばかりであってはその情報が音楽製作に反映されなくなる。特にアーティストは各々の創造性には持ち味があるものの行動が感情的で知性に乏しく個人的趣味をおしつけがちになるのでそこに待ったをかけ、ファンの意向を忠実に作品に反映させる強制力のある第三者機関が必要なのである。ファンに関する情報、ナオタン側の主張、試験販売や研究などの結果をふまえ、中立的観点から音楽作品の製作に意見を出したり権限を行使すれば的外れな企画で売り上げ低下を招くような事態は避けられる。財務省は国の各省庁の要求する色々な予算を各省庁とは距離を保った上で許可を出したり出さなかったりする。勿論各省庁は欲張りに予算を要求しがちであるが、国の財政や税収は逼迫していて余裕がないので各省庁の思惑に左右されずに財政面から無謀な行動に待ったをかけるのが財務省である。

之と、情報収集部、ナオタン部(ナオタン、作詞、作曲、ジャケットやブックレットのデザインをする各アーティスト達)3 組織が企画構想段階から持続的に情報のやり取りを行い、駄作の発生を最小限にとどめる事が出来る。図 3.6.1 がそれらの組織と研究機関の模式図である。製作主導部は企画や構想の段階で失敗の芽を摘み取る事を第一にすべきである。作品の曲や其のレコーディングが出来てしまってから待ったをかけるのはかなり労力の無駄なので製作の初期からその動向をつぶさに観察するほうが組織の効率を高める事になる。勿論各部局の責任者が過失を起こしたりノルマを達成できない場合は糾弾され彼らにそのミスに度合いに応じて減給、左遷、契約終了、賠償などのペナルティを課すのは組織の運営上必要である。既成事実を積み上げ、せっかく作ったのだからとナオタン部が駄作の販売をゴリ押しする愚行をやらかした場合(自己満足系アーティストにはよくある)でも見逃しはならない(ナオタンの歌手活動にはマイナスに働くので)。駄作や的外れの曲は完全に没にするのではなく資源の有効利用で販売戦略上重要でない作品に載せるという手もある。例えばキャンディーズの 3 人が普段のシングル、アルバムとは別に作詞や作曲をした歌をアルバム作品として販売した例(早春譜)がある。もちろんその旨は契約書に分かりやすく明記する必要がある(契約主義社会の常識)。例えばメーカー(受注側)が設計ミス、事故、労働者ストライキなどで納期が遅れた時、発注した側が後々になって其の注文をキャンセルしたときなどは多額の違約金を払うのと同じである(この金額も契約書に明記するのは当然)。

歌手のファンとの双方向的関係の構築

- ・ 各々の機関の構成員がその組織の目的の達成に貢献した場合その分の報酬を払う
- ・ 欧米の軍、企業の組織編成を基本に契約主義を貫き、出来る限り作業手順はマニュアル化する
- ・ 目的をより高いレベルで、より効率の良い手段で達成できる事を目指せるようなシステムや給与体系にする

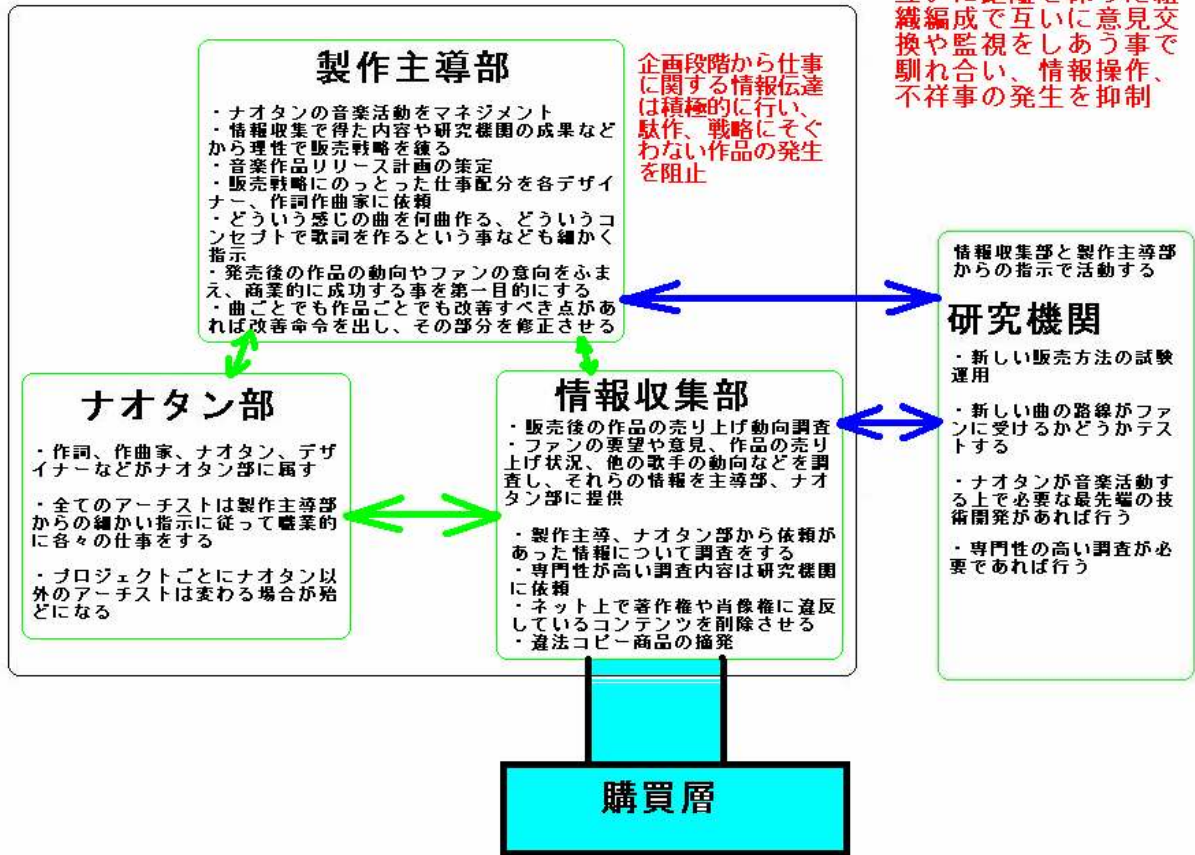


図 3.6.1 ナオタン部、情報収集部、音楽製作主導部、研究機関の役割分担(政治の場でも国益の立場から立法、行政、司法の3権分離の原則があり、予算の策定には財務省がいるのと同様に各組織は分立し、契約的に各自の任務を遂行してゆくのである)

このようなシステム化された合理的な組織を編成し、目的を達成する事が本当の意味でのファンとの双方向的関係の構築を可能にするのである。ナオタン部、情報収集部、音楽製作主導部の3組織分立と DRAPPA のような研究機関の設置というのは素人目から見た自分の意見ではあるが、自分は音楽製作の現場がどうなっているか知っているわけではないので実際はもっと合理的な組織編成が考えられうるであろう。だが、民度の低い日本組織的な人海戦術や馴れ合い仲良しクラブでは成果と仕事効率の両立、社員の好待遇(年間休日 126 日以上、一日 7,8 時間労働で残業年中ゼロ、成果に応じた給与)、ファンとの双方向的関係の構築は絶対に無理であるという事だけは断言できる。

3.7 CG と人工音声を使ったバーチャル・ナオタン実現のメリット

ナオタンが 85 歳まで生きるとしたらあと 40 年ちかく人生が残っている。ナオタンファンの平均寿命もあと 40 年近く残っている(その間のナオタンの需要が見込める)。しかしナオタンの長所である見た目や歌声は永遠ではない。確実に数十年後は見るに聞くに堪えない状態に劣化する。

老朽化により歌唱力も落ちてくる。言葉では老婆になってもまだまだ美しいかのようにもてはやし、褒めちぎる事は出来てもその本質は変えられない。そしてその現実から逃れる事は 100%出来ない。そして最後には死ぬ。劣化時にはただ従来型の音楽活動をし、ファンから気持ち悪がられて朽ち果てるだけなのであろうか?・・・違う。自分は CG を用いて全盛期の見た目を仮想空間上に復元し、その 2 次元平面上で仮想のナオタンが歌手活動を行うという形態を提案する。勿論全盛期の頃のナオタンを再現するものであるからバーチャル・ナオタンであり老けた婆チャル・ナオタンではない。図 3.7.1 がバーチャル・ナオタンについての概要をまとめたものである。こうすれば特定の目的、ここでは音楽作品のリリースについてであるが、其の目的に特化した純粋な道具としてバーチャル・ナオタンを活用可能になる。本人其の者は肖像権の利用に関してのみ関連し、映像音楽製作会社はナオタンの見た目と歌声を利用してナオタンファンに新曲を販売する。ナオタンは見た目と声の現在(筋肉、内臓、骨格、脂肪の構造や肌が出る部分のほくろや毛の太さ、生え方、爪の形状、皮膚の細かいしわなどは過去の映像のみからでは正確なデータを得られない)の科学的データの提供及び過去の映像音声データの使用の対価としてバーチャル・ナオタンの活動から得た利益の一部を肖像権料として得る事でその仮想的労働は成立する。ナオタンには寿命と賞味期限があるが身体データはきちんと保管すれば半永久的に朽ちる事はない。そうすれば 2,30 年後の未来でもセカンドライフを歩むナオタンファンにナオタン全盛期の見た目を駆使した音楽作品を提供する事が可能となる。製作側にはナオタン商売から生産的、経済的価値を生み出せる期間をかなり長く出来るメリットが生ずる。また、バーチャル・ナオタンに関しては本人の求める音楽性や個人的好みとは分離して活動できるのでファンの好みを忠実に反映した曲構成が可能になるのでマネジメントの面からも有益である。80年代後半と90年代前半期のようにマネジメント能力の低いナオタンがその中途半端な能力で自身の音楽活動をだめにしてしまう事もない。人口音声、CG の再現性の問題があるが其れは技術の発展が解決してくれる。バーチャル・ナオタンの実現はナオタン音楽作品のセールスは今後何十年も持続できる事につながるのである。勿論バーチャル・ナオタンの CG,音声は本物と区別が殆どつかないほどのリアルな再現性で音声や映像を作るのは大前提である。

現在はもはやネット社会であり、もう CD や DVD の販売のみでセールスを確保しようとするのは時代遅れになりつつある。今後其の傾向はさらに強まる。3.2 節で述べたようにハードウェアや媒体に関しては手段としての要素が強く、客観的に見て新しい流行が古い流行よりもよりよい特性を示すようになる場合が殆どである。将来的には有料アダルトコンテンツ同様にネットで動画や音声有料配信の方が主流となり、CD や DVD の販売に関してもネット購入の割合が増えるであろう。ネットを利用した映像、音楽の DL 販売は違法コピーや曲の Youtube などへのアップロード対策や法整備などを本気考えたほうがよいのではないかと考える。だが、何が何でも規制ありきというのも頂けない。なぜなら動画サイトはファンサイトとは違い、中立的で大衆の生の意見が聞けて公平な情報収集も出来るからである。投稿されるナオタンに関する動画を全て規制させてしまうと逆に製作側から見て本当に売れる曲をリリースするためのすべが減ってしまうのである。視聴できれば音楽作品や曲がどういうものなのかある程度見当がつくので買う側からみれば買いたい商品の狙いを定められるので便利である。だが映像などを全て野放し状態にしてよいというわけでもない。個人的には部分規制という手法をとればよいと考えている。例えば音質、画質をある程度落としてある映像のみ許可、動画の長さを規制(歌の映像はワンコーラス以内など)、部分的な映像でも Part1, 2, 3・・・とつなげれば全部そろってしまうのは規制するとい

うようにすれば売る側、買う側の欲求が両立可能できるだろう。

写真集に関しては画像コンテンツの DL 販売にすると容易に画像提示版などにアップできるので従来型の本という形態を保った方が無難ではないかと考えられる。

肖像権料はコンテンツのダウンロードや CD の販売に比例したものとすべきである。また、全盛期の外見と歌声を利用する範囲や目的などはっきりとした契約をむすぶべきである。例えば水着の映像ならどこまで露出が可能か、身体データの AV 転用の可否などあらかじめ取り決めをするか、作品の映像内容や衣装についてナオタンと打ち合わせをするかどちらかにすべきである。守るべき範囲を忠実に守った上でバーチャル・ナオタンを 2 次元平面状で活動させればナオタン側に問題は生じないのである。ナオタンももう 40 代中盤、もうすぐ老年期にさしかかり、自慢である美貌にも陰りが見え始める年頃である。遠めで昔とさほど変わらないと感じても化粧をとった時の目じりや頬回りのしわ、肌の張り、首筋や手の甲や腕の血管の浮きで具合などをアップで直視すれば全盛期との違いに気づくだろう。実在する芸人の全盛期を CG と人工音声で再現して音楽作品を出す手法は前例はないが、技術的にも見込みがあり、かつてのアイドルがいくら劣化しても 2 次元平面状に再現されたアイドルは永遠に全盛期のままなのである。架空の人間を作るのではなくすでにファンが存在する実績のあるアイドル歌手を再現するものなので老化した歌手本人が新曲を出す以上に持続的な成功を収める事は十分可能である。

仮想ナオタンとは

- ・ CG と人工音声で 2 次元平面上に再現されたナオタンを仮想ナオタンという
- ・ 過去の映像から音声や身体データを分析し、必要があれば現在のナオタンからもデータをとる

メリット

- ・ ナオタンが老化し、劣化が激しくなっても永遠に全盛期のナオタンが歌う音楽作品をリリース可能
- ・ 仮想ナオタンは全盛期の超美形のナオタンを再現したものであるためナオタン世代の寿命が続く今後 4,50 年程度迄はナオタンファンの需要が期待できる
- ・ ナオタンの音楽の意向とは独立して活動できるのでファンの意向に特化した販売戦略に基づいた作品リリースが可能になる

技術的課題があるのですぐに実現できるものではない

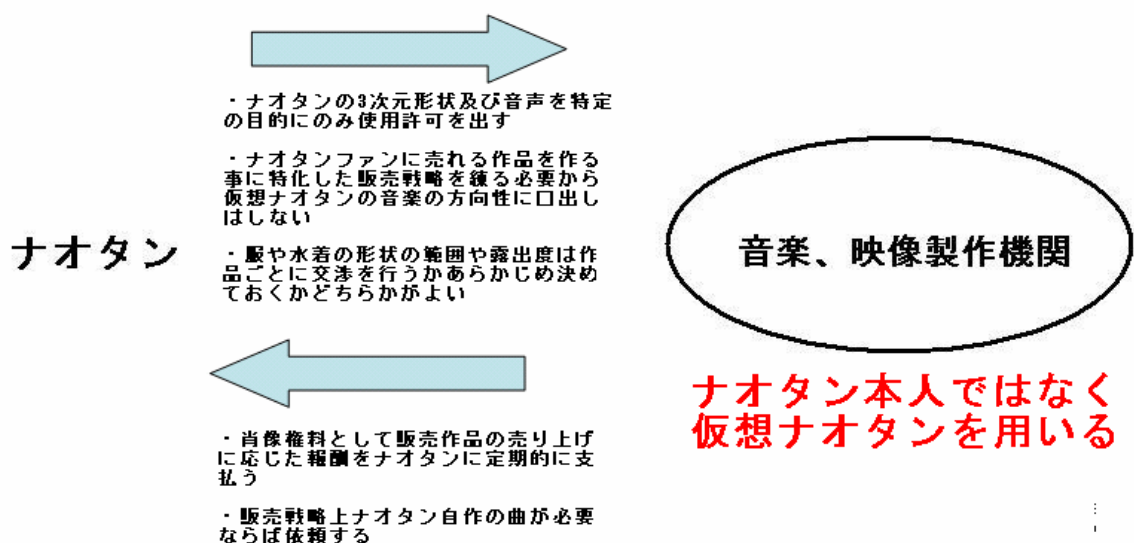


図 3.7.1 バーチャル・ナオタンによる間接的音楽活動の模式図

3.8 歌手や作曲家の不規則な労働環境を改善すべきである

歌手というものは人気があるときは寝る暇すらない激務と不規則労働の連続で人気が落ちると収入がたおちする不安定な職である。芸能関係の労働場所では実効性のある分煙対策が殆どされておらず受動喫煙にさらされる。宴会は強制参加で其の場所が禁煙になっておらず受動喫煙を強要される(飲み会の受動喫煙だけで肺がんになる確率は煙草を全く吸わない、吸わされない場合の1.8倍)その激務と受動喫煙が歌手の健康を害する。人気調落後の芸人や元芸人が犯罪に走ったり反社会的組織の広告塔になったりするのは職としての不安定さには関連がある。そもそも日本の労働環境自体が世界最悪の水準である事、法律が欠陥だらけで実情にあわず、労働基準監督署の規模も小さすぎて取り締まりが殆どされていない西欧では考えられないようなアジア系社会そのもののレベルの低さが劣悪労働の根底にある。昭和52年キャンディーズの3人が解散したいと言いつつ理由の一つとして過酷な長時間労働があげられる。売れる芸人は其の分高給どりになるので甘い汁をすえるが芸人や歌手は人間であり、人形ではない。人間を雇うのだから長時間労働にならず規則的で、完全に受動喫煙を強いられない職場にするのは当然である。

過重労働を強いると体に不調をきたす。身体能力も落ちる。またストレスがたまり、過食や拒食に走り、運動をする暇すらないのもあいまって体形が悪くなる。ストレスは麻薬や覚せい剤に手を出す要因にもなる。過重労働の弊害は枚挙にいとまがない。またいくら優れて過去の実績のある歌手であって人気があっても一度人気なくなるとごみのように捨てるのは悪い行為である。売れなくなるのは歌手をうまくマネジメントできないという要因も考えられる。ナオタンの場合も同様である。音楽の製作チーム自体が人海戦術的で3.6節でのべたようなファンとの双方向的関係を築いて長期間持続的に売れる作品を出し続ける西歐的組織形態になっていない。作風がいきあたりばつりのアーティスト自己満足作品の連発であればそのヒットの可能性は運命任せになり、運命と作風が合致したときにしかうれないのでごまんという歌手の中で売れているのはほんの一握りになるという度合いが強くなるのだ。長期戦略にたつて組織をシステム化し、優れた歌手は大事に使っても売れる歌手は少ないという傾向は変わらないが、売れる歌手の割合は増える(どうしても売れない歌手もいるのは仕方ない)ので歌手にとっても音楽業界にとっても有益になる。人気があつて出演依頼が殺到する場合でもある程度以上の労働量になる場合はその仕事の依頼を先延ばしにするか断るかすべきである。ドイツでは殆どの労働者が一日7,8時間労働であり、其れで経済が成り立っている(そして給与の半分近くが税金)。また、一日10時間以上は働かせてはいけないという法律もある。決まりの守れない中小零細悪徳企業は取締りによってどんどん淘汰され、大企業による寡占化もすすんでいる。労働時間や制度面の改革はドイツを見習うべきである。

長時間労働の防止対策としては労働基準監督署の規模を拡大し、強制力をもって過重労働を取り締まれるようにする、労働組合も日本のように会社内に御用組合を作るのではなくドイツのように業種別に独立して設ける、欧米のような契約主義、あらゆる作業を徹底マニュアル化した企業組織の実現による生産効率向上などがあげられる。それらを同時並行的に実践すれば激務にならない社会が実現できる。成果と待遇の両立は組織や制度の内面の西歐化によってのみ可能になる。

激務にならないように好待遇で優秀な(見た目、歌唱力どちらもあり=優秀)歌手を雇うのは優れた人材の効率的獲得や流出防止にもなる。優秀でない歌手は捨ててしまえばよい。素材として優れた歌手は長期的な雇用とセールスを前提として活用するほうが其の歌手から生み出せる経済

的効果や生産的価値が高まっていく。長くつとめてもらうためにもワーク・ライフバランスを常に保つのが当然となるような社会制度は必要である。

第4章 販売戦略のまとめ

2章, 3章の結果をふまえ, もしナオタンを素材として利用して売れる音楽作品を安定的に出そうとする事を検討するならば以下のような販売戦略が提案できる.

販売戦略の基本

- ・ 長期的にファンに売れる戦略を第一に考え, ファンの喜ぶ曲を出す
- ・ 一時的なブームで終わるよりも持続的成功を目指す

対象にするファン層(3.2節参照)

- ・ ナオタンとほぼ同年代の中高年の男のアイドルマニアのみを重視
- ・ 特にナオタン全盛期時代からのナオタンファンを最重要ターゲットにする
- ・ 女とヤングは対象から度外視する

ナオタンとバーチャル・ナオタンの曲について

- ・ 多様なアップテンポ主体のポップスを基本にする(第2章, 第3章 3.1, 3.3節より)
- ・ アイドル歌謡から発展した明るい雰囲気, ディスコサウンド, ユーロビート, 80年代後期の秀美のようなロック調など, 多様なアップテンポ曲に力を入れる
- ・ 全ての曲を80年代のアレンジで新曲を出し, 楽器音も極力80年代にする(3.2節より)
- ・ ファンからの要望も多数意見, ヒットが見込めるリクエストは積極的に採用する(主に3.6節より)
- ・ カバー曲も重視し, 他の歌手やアーティストのブームに便乗する事もたくらむ(3.5節より)
- ・ 男の視点に立ち, 中年男アイドルマニアの喜ぶセクシー路線で歌詞やコンセプトで曲を作る(3.4節より)

製作チームについての留意点(3.6, 3.7節参照)

- ・ ファンとの双方向的関係を構築し, 成果と待遇の両立できる組織構造にする事で優秀な人材を確保する
- ・ アーティストの個人的な人脈に頼らず, 労働や成果相応の報酬を提示し, 販売戦略上必要な人材を必要な分だけそのアーティストの能力のみで集める
- ・ 一気に勝負に出るとリスクがある企画は試験運用や実験を行う
- ・ ナオタンは賞味期限に限りがあるので長期戦略に基づきバーチャル・ナオタン実用化のためのCGと人工音声の研究開発に力を入れる

ナオタンの扱い

- ・ ナオタンは販売戦略に基づいて歌唱の全てと作曲の一部を担当する組織の歯車の一部にする(ナオタンは歌唱力と見た目が高く, 作曲能力はそこそこあるのだがマネジメント力が低い為)
- ・ ナオタンの不得意な分野(特に筋道を立てて考える力が必要とされる業務)に口出しをさせない(ナオタンはマネジメント力が低い為)
- ・ ファンは中高年アイドルマニアなので美貌とセクシー路線を売りにしてオナペット女王をめ

ぎす(3.1 節, 3.4 節より)

- ・ マイナーな曲しか作れないのでシングル、アルバムの販売戦略上重要でない部分を担当した上で作曲もこなす音楽性の高いナオタンであると宣伝する(2.2 節より)
- ・ 成果相応の報酬を与え、使い捨てにするのではなく長期雇用を前提として良い待遇を与えてつなぎとめる(3.8 節より)
- ・ フルタイムでも基本週 5 日以内一日 7,8 時間労働でいかに忙しくとも 1 日 10 時間を越えるようにはしない。本人が希望すれば短時間正社員での雇用も考慮すべき(3.8 節より)

勿論之は一例であり、この手法がそっくりそのまま他の高齢化した元アイドル歌手に応用できるはずもない。各人の置かれた状況や持ち味、ファンの情勢によって販売戦略は柔軟に変化させる必要がある。ナオタンが成功するための方法論もこの 1 通りだけである筈はないし状況が変化すれば其の目的達成のための手段も変更する必要がある。

アーティストにとって感性や創造力は非常に重要な要素である。人間は生物なので行動を起こすには其の目的の達成をしようとする意欲や感情が必要である。だがその行動そのものが感情に支配されてしまうと其の目的の達成からは遠のく。感情は理性でコントロールする事で始めて生産的価値にプラスに働き、その目的の達成に少しずつ近づく事が出来るのである。そしてほんのわずかだが感情をコントロールして創造的、生産的産物に生かす事が出来る人間がいるために技術や芸術、文明が進化するのである。

おまけ 運命を切り開くにはその運命の女神をぶちのめせばよい

文献(1) P.143-147

25 運命は人間の活動にどの程度まで力を持っているか、また、運命にはどのようにして抵抗すべきか

もともとこの世の事は、運命と神の支配にまかされているのであって、たとえ人間がいかに思慮を働かせても、この世の進路は修正する事はできない。いな、対策すら立つものではない。と、こんな事を、昔から今に至るまで、多くの人が考えてきた事を、私は決して知らない訳ではない。したがって、こうした人たちの意見によると、何事に対しても、あまり汗を流して苦労する事はなく、宿命のままに身を託すのが良いという事になるようである。

事に現代では、人間の思惑を全く超えた世相の激変を日夜見せ付けられているので、こうした見解はますます受け入れられている。そして、この事実思いを致す時、時には私もいささか彼らの意見に傾く。

だが、我々人間の自由な意欲は、どうしても失われてはならないものであって、仮に運命が人間の活動の半分を思いのままに裁定する事が出来るとしても、少なくともあと半分か、または半分近くは、運命も我々の支配に任せていると見るのが真実であろうと私は考える。運命の女神を次の破壊的な河川の一つに例えてみよう。この川は怒り出すと、野辺に氾濫し、樹木や建物を破壊し、こちらの土を掘り起こして向こうに置く。誰も皆其の奔流を見て逃げ去り、誰も皆抵抗のすべもなく、其の前に屈してしまう。河川とはこうした性質のものであるが、しかし、平穏な時にあらかじめ堤防や堰を築いて備えを固めておく事は出来る。やがて増水しても、今度は河川の方に流れ去ってしまう様にする事、言い換えれば河川の猛威を我俥勝手に外を加える事がないようにする事は出来る。

同じ事は運命についても言える。運命は、まだ抵抗力がついていないところで、大いに力を発揮するものであり、まだ堤防や堰が出来ておらず、阻止されないと見る所に猛威の矛先を向けてくるものである。

いまイタリアは世相の激変の中心地であり、また震源地であるが、このイタリアをもし貴方が観察してみれば、ここは堤防もなければ堰も持たぬ野辺でしかない事に気づくであろう。すなわち、イタリアにマーニャ(ドイツ)やイスパニアやフランスのよ

うな適切な力の備えが出来ていたなら、この洪水も、今日みられるような大きな激変は引き起こさなかったであろう。また、そんな洪水も来ないで済んだかもしれない。以上の例で、運命に対しては一般にどのようにに対抗すべきかの議論は十分尽くされたと思う。

ところで、もっと突き詰めてみていくと、ある君主が、きょうは隆盛を極めているのに、あくる日は滅んでしまうような事がよく起こる。しかも、この君主の心情または気質は其の間に何一つ変化したとは見えないのに、こういう事が起こるのは何故かについて述べておこう。この事態は先に詳しく述べたとおり。運命に全面的に依存してしまう君主は、運命が変われば滅びると言う理由から特に起こった事だと私は思う。更に、時勢とともに自分の生き方を一致させるものは成功し、反対に、時代と自分の行き方とがかみあわない者はうまく行かないように思う。

要するに、人間は、栄光や富と言った各自がいただく目標に向かって活動する上で、種々さまざまな生き方をしているのである。慎重にやる者もあれば、果敢にやる者もあり、暴力をふるう者もあれば、巧妙にやる者もあり、また、ある人は辛抱強く、ある人は其の逆をいくというぐあいに、めいめいが様々な行き方をして目標にして目標に達するのである。

同じ様に用意周到であった二人の男が、一方は目標に達し、他方は出来なかったという事が見られる。また、一人は用意周到な男で、もう一人は果断な男という風に、其々異なった気風を持ちながら、兩人とも同じ様に成功している場合もある。これは、彼らの生き方が時勢とあっていたか、合っていなかったという一事から生まれているのである。上述した事、すなわち、両者が同じ様に振舞っても、目的を達する者と達しない者とができ、また両者が其々違った様に振舞っても、同一の結果をもたらす事があるというのは、これから生じているのである。

更にまた、栄えたり衰えたりする事も之に起因する。もし、時節や事態が慎重に慎重に忍耐強く国を治めている君主に適していれば隆盛へと向かうのである。だが、時節も事態も変化したのに、其の君主が行き方を変えないとすれば、衰える。しかし、こうした情勢に対応出来る賢明な人間は、実はなかなかいないものである。

その理由は、人間はもって生まれた性質のままに傾き易く、そこからとても離れられないものだからである。またもう一つの理由は、一つの繁栄を味わった男は、その道から離れる気にはどうしてもなれないからである。そこで用意周到な男は、いざ果敢に振舞う時節がやってきても、腕をこまねいているばかりで、破滅してしまうのである。時節と事態に合わせてこの者が性質を変えていけば、運命が変化する事はないのである。

中略(慎重ではなく果断な行動で教皇領を拡大したユリウス2世の例を挙げている)

以上の事から結論をくだすとしよう。運は変化するものである。そこで、人間が自己流のやり方に固執すれば、運と人の生き方が合致する場合は成功するものの、不一致の場合においては、不幸な結末をみるのである。

私は、用意周到であるよりはむしろ果断に進む方がよいと考えている。なぜなら、運命の神は女神であるから、彼女を征服しようとするれば、うちのめしたり、突き飛ばしたりする事が必要である。運命は冷静な行き方をする者より、こんな人たちに従順になるようである。

要するに、運命は女性に似て、若者の友である。つまり、若者は、思慮は深くなく、荒々しく、きわめて大胆に女を支配するからである。

知性が乏しく臆病で優柔不断な人間には運命を切り開くどころか運命に翻弄されて破滅するだけなので組織の参謀や司令には不向きである。持続的成功をめざすなら織田信長やユリウス・カエサル、ハンニバルやスキピオ・アフリカヌスのような統率力を備え、知的で果断な人材をリーダーにすえ、各分野の優秀な人材をそろえたプロジェクトチームを組む事が必要である。

第5章 その他のナオタンの考察

5.1 節で実際のナオタンが将来的にどのような行動をとるかという現実的予測をし、5.2 節で表象の振る舞いや性質について考察をし、5.3 節でナオタンの売りである見た目をなるべく劣化しないようにするには日ごろの運動が大事であるという事を述べた。

5.1 ナオタンの将来の行動予測

持続的なヒット曲という物は綿密な分析と創造力の英知を結集した質の高い作品をリリースし続けてその潮流が出来てくる。感情まかせに製作してたまたま運良くヒットさせたアーティストは大概一発屋で終わり、結局破滅する。つまり安定的な曲作りとは非常に強くて長続きする創造力や努力を要する物なのである。

ファンとしては残念だがナオタンはヒット曲を出そうとする努力をせずとも生きていける。ナオタンは平成 8 年から富豪と結婚している。見た目が優れた女には金品を貢ぐ男が大勢集まる。自身の肉体の提供を交換条件に多額の金品を享受でき、仮に途中で離婚したとしても裁判で多額の慰謝料を獲得可能なのである。自身は芸能人であるから離婚トラブルに直面したとしても会見やテレビ出演をして泣いて見せたり色々な苦労話をあってもなくてもこしらえて視聴者やファンからの同情を買う事は容易であり、弱者の立場を利用して裁判でも有利に事を運べるのであれこれと権謀術数を練るには有利なのである。そして離婚後金銭に困れば美貌と知名度を利用してまた次の金のなる木を探して食いつぶせば良い。しかしこの手法は加齢による容姿の衰えが進むとあまり金のなる木がよりつかなくなるのと其の本性がファンやマスコミに露見してイメージが悪くなってしまわないように隠匿する必要があるという点を注意すべきである。労せずして生涯贅沢を尽くし、やりたい事だけやる生活ができると言う事はま事にうらやましい限りである。当人にとってはこれは非常に有益であると同時にファン側にとっては不利な状況となる。であるので音楽活動も趣味的でファンの傾向からは全くかけ離れた的外れな事ばかり行い、小出しに作品をリリースして生涯を終えるだけの趣味人になるだろうというのが現実的な予測である。あくまでこの人は自分の個人的好みを最優先に音楽活動を行っているのである。

ファンにあった質の高い曲をリリースできる見込みが薄いというのはナオタンの持っている能力や意欲面からも説明が可能である。そもそもナオタンは 2 章で述べたように見た目と歌唱力が両立できるという利点を持つ反面、典型的な女性的文系脳でファンの意向をふまえたヒット狙いの作品をだす企画力に乏しい。数学的思考力や問題解決能力、空間認識力などが相当に低い。また、作曲に関してもマイナー調主体で明らかに他人の曲を盗作したような曲が非常に多く、職業的というよりむしろ趣味的である。それでいてナオタン個人の好きな作品を出すだけ事にこだわり、需要側とのミスマッチが常に発生している。ナオタンはあくまで優れた製作陣の中の歯車や素材として生かすのがベストな活動形態であるが過去の傾向から行ってアイドル期のように本人が其の製作陣に身を投じようとする意欲はなさそうである。また、田舎百姓のように限られた人間関係の範囲内のみで音楽作品をつくらうとするのでナオタンを偉大な歌手にのしあげる人材に恵まれる可能性は皆無である。中途半端な作曲能力はその歌手を破滅させる。ファンの好みをふまえない傾向がヒット曲の発生を阻み、自身の活動に自ら制約を課す事になるからである。アイドル期の貯金を使い果たし、歌手ナオタンとして活動していく機会を自ら奪い、的外れ戦略をこれからも続けるのであろうか。デビュー時から歌手をやりたい、歌が好きと言っていたのに何故自作

曲が売れなくなってからドラマやバラエティ番組出演の割合が増え、歌手活動が下火になったのだろうか？何故同じ事務所の秀美のように売れなくなっても地道に歌手中心で芸能活動を続けなかったのだろうか？結婚後にホームページすら作らず、CD ボックスにも何のコメントも寄せず気が向いたら突然復活する。本当にファンの事を大事にして歌手で飯を食っていくという意思是全く感じられない。もしかしたらナオタンは昭和60年代前半および平成初期に売り上げがどん底に落ちた事が自身の活動の失敗ではなく100%ファン側のせいであると思っているかもしれない。そうだとすればナオタンなりの腹いせか仕返しとして超消極的姿勢を貫いている動機が見出せる。

5.2 ナオタンの表象について該当する政略論の記述

ナオタンは表向きは上品で謙虚である(本性もそうであるとは限らない)。また、臆病で押しが弱く自分からはっきり物事を述べたり進んで表舞台に出たりしようとしたがらない。虚栄心(人から好かれたいという気持ち)が大きいと考えられるがこの控えめな表向きの態度について政略論に該当する記述が見られたので其れを引用する。

文献(1) PP.401-403

14 謙譲の美德によって尊大を打ち砕けると考えて、失敗する事が多い

控えめな態度は、何の益もないばかりでなく、むしろ有害であると言う事は、よく体験さえる事である。特に嫉妬やそのほかの理由でこちらに憎悪感をいだいている横柄な人物に対して、こちらが下手に出る場合はなおさらである。ローマ人とラティウム人との戦争を論じたわが歴史家ティトゥス・リウィウスは、この点をはっきり裏付けてくれる。サムニウム人は、自分たちがラティウム人に攻撃されている事をローマ人に訴えていたが、ローマ人はラティウム人を刺激する事を避けて、この戦いをラティウム人が続けていこうとする事を妨げようとはしなかった。ところが、この処置はかえってラティウム人を苛立たせたばかりでなく、ローマ人に対して更に敵愾心を燃やさせる結果となり、彼らがローマ人の敵としての立場を鮮明にするのを早めさせる結果になってしまった。

この事については、ラティウム人の執政官アンニウスが同じ会議の席上で以下のような発言をしている事からも察する事が出来るだろう

アンニウスは言う。「諸兄は、ローマ人は軍隊を送らずに耐え忍ぶと言うははっきりとした証明を握られたはずである。ローマ人の心の中は憤激で煮えくり返っている事は明らかである。それでも連中は侮辱をこらえている。また、彼らはローマの盟邦サムニウムに対して、われわれラティウム人が軍を出す事を知っていたはずだ。にもかかわらず、彼らはローマから進軍しようとしな。ローマ人のこの優柔不断は、いつに始まった事なのだろうか。思うにわが国力がローマ人の其れをはるかに上回っていると言う事を悟るようになってからの事に違いないだろう。」

以上の文章から見ても、ローマ人が隠忍自重した事が逆にラティウム人の傲慢さをどれほど募らせるようになったかが極めてはっきりしてくるだろう。

それゆえ、君主は、自分の威厳を損なうような事は絶対してはならない。また、其の君主がある事柄を維持していく能力も備えているし、また其の自信もあるような場合には、其の事について相手に妥協したり、鷹揚に相手のなすがままに方っておいたりする事は一切やってはならない。というのも、右に述べたような場合ではなく、君主が自信を持って処理していけないような事態のもとでは、相手の武力に怖気づいて譲歩してしまうよりは、力でぶち当たった結果、やむなく放棄する事の方が、たいていの場合をはるかにまだからである。

また、恐怖に駆られて譲歩し、戦争を回避しようとしても、結局のところ、戦争をしなければならなくなるのがオチだからである。というのも、万一怖気づいて譲歩をしたと言う事を相手に見せれば、当の相手は其れだけで満足するどころか、更に図々

しくなって、今まで以上の物をもってやろうとするし、腰抜けだと見て取れば、それだけ凶に乗って強い要求を持ち出してくるものだからである。

一方、君が弱虫で腰抜けだと言う事がさらけ出されると、たとえ君の味方でも、ますます冷淡な態度をとるようになるだろう。
以下略

つまり、マキャベリは平身低頭な態度は敵や相手を調子付けさせ、言うべき事やるべき事を怠れば結局自身が駆け引きや戦いに負けたり他人に陥れられてしまい、破滅すると述べている。不満や意見ははっきりと述べる方が本人の為にはなるが人間の生来の性格や習慣は墮落する方向には陥りやすい反面余程の事がない限りは良い方向には動かないのが現実である。

当然、ナオタンの謙虚な外面は本質ではない。ただの臆病者である。この事を直視できるファンは少ないだろう。ナオタンはマザーテレサではないのだ。芸能人というものは「でない」事を「である」かのように振舞うのが職業である。ナオタンは表向きは奇麗事で塗り固められたような態度をとっているものの、そこでかなりのストレスがたまる。其の日常の不平不満はどこで発散させているのだろうか？一般的に体面を気にする女は一人きりになった際やごく親しい身内と一緒にあった際に本性を露にする場合が多い。そこでヒステリーを起こしたり文句をぶちまけてストレスを発散させているはずである。これも女の性格を分類した典型的な何種類かの性格のうちの一種類である。

人間は殆どが保守的であり、自作曲や女趣味的作風にこだわりたがるナオタンも其の例外ではない。特に何事も感情的に考えたがる人間は行動がワンパターン化しやすい。だが重要とされる自己の目的を賢い手段でより高いレベルで達成しつづけたいならば、自己の状況をふまえた合理的な行動が求められる(もちろん当人にその力量がないのは自明)。之も政略論に該当する記述が見られたので引用する。

文献(1) PP.531-533

いつも幸運に恵まれたければ時代とともに自分を変えなければならない

すでに何度も述べた様に、人の運不運は時代に合わせて行動を吟味するか否かにかかっている。周知のように、ある者は感情の激するままに事を運び、ある者は用心に用心を重ねて事を進めていく。またどちらの場合でも、限界を踏み越えやすく、適切な方法を守り通しえずに、失敗に終わってしまう。

ところで、誤りを犯す事も少なく、前途は洋々たる幸運に彩られている人々は、何度も述べたように、時代の性格を敏感に感じ取り、いつも自然が命ずるままに事を運んでいくものである。

周知のように、ファビウス・マクシムスは慎重な配慮と細心の注意を払いつつ作戦を推し進めていった。これはローマ人にありがちな、衝動に駆られ向こう見ずに突っ走るといった傾向からは、まさに遠い物と言わなければならない。ところがこのファビウスの行き方こそ、幸運にも時代の動きに即応した物だった。

当時イタリアに侵攻してきたハンニバルは、若さとはつらつとした運とに恵まれて、ローマ人を2度までも撃破していた。それに引き換えローマ共和国は、精鋭の軍隊の大半を失い、士気阻喪(しきそそう)していたのである。従って退勢を挽回し幸運を手に入れる為には、いささか鈍重のきらいはあっても用心深い将軍が出て、敵に監視の目を光らせている事が、どうしても必要であった。

一方、ファビウスにとっても、自分の持って生まれた性格や生き方に、これほどぴったりの時代に巡り合わすと言う事は考えられなかった。だからこそあのような栄誉を一身に浴びるまでになったのである。しかも、ファビウスがあのような仕事を成し遂げたのも、彼の生まれ持った性格によるもので、好んで選んだ道ではなかった。この事は、次の事からも知られる。スキピオが戦争を終結させる為軍隊をアフリカに派遣しようとした時の事であった。ファビウスは之に強く反対する。之は自分のなれて

きた方法を捨て切れず、頭の切り替えの出来ない人にありがちの事である。だからファビウスの主張が通っていたら、ハンニバルはなおイタリアに留まっていたであろう。之はファビウスが時の流れを察知するのに疎く、其れにつれて戦争遂行の方法も代えていかねばならないという事を理解しなかつた事を示す物に他ならない。

ファビウスがローマの国王だったとしたら、この戦争は簡単に敗れていたに相違ない。というのは、彼は時代の推移につれて策を変えていかねばならないという鉄則を知らなかつたからである。

ところが実際にはファビウスは共和国に生を受けたのであった。共和国には様々な方の市民、色々な性格を持った人間がいて、長期戦を戦い抜くにはちょうど適任のファビウスがおり、一方、勝ちに乗じた時には持って来いのスキピオが控えている、と言った具合なのである。

中略

すでに述べたように、いつでも決まった手しか打てない人は、時局の動きにつれて脱皮する事が出来ない。時勢が変わって其れまでの方法が通用しないと破滅するよりほか仕方がない。

中略

時代にあわせて行き方を変える事が出来ない理由として二つ挙げられるだろう。第一に、生まれ持った性格にはどうしても逆らう事は出来ない。第二に、いったんある方法を用いて成功した人物に対し、今度は別の方法を採用した方がうまく行くと信じさせるのは至難の業である。こうして、人の運命が色々に変わってくる。時勢は刻々に移り変わるのに、人は其れに対応して行き方を変える事をしないからである。

以下略

5.3 ナオタンの身体能力、容姿を維持するにはどういう方策が考えられるか

自分は見た目の優れた女の見た目が良い時期の見た目(身体能力、歌唱力等も含む)のみに興味があるのだが、どんな美しい女でも年をとれば年々醜くなるのが現実である。顔にはしわが増え、皮膚は張りがなくなり、身体能力も落ち、筋肉と骨が萎縮し、醜い老婆への道を一步一步着実に歩んでいかざるをえない。女は賞味期限があり、賞味期限が過ぎれば女も終わる。ナオタンが美貌を維持して女としての賞味期限を長引かせるにはどうすれば良いかを考察する。

身体能力と体形の維持をしたいならばある程度負荷のかかる運動を定期的に行う事がかせない。其れを怠ると梨型人間化(閉経後顕著になる)、老年期の歩行困難、骨粗鬆症の進行および転倒骨折などの障害の原因となる。日ごろの運動を怠ると見た目が益々醜くなるのを促進するだけではなく晩年にはおむつをはいて車椅子や寝たきりの生活を余儀なくされる。大小便、食事、入浴、服の着脱等の日常生活全般の行為が介護ロボットか介護ヘルパーなしでは不可能になるのである。そのような状態に直面してから運動を始めても殆ど効果はない。老年期に一度やせ筋肉や骨がだめになると後戻りできない。また、この種の惨めな晩年は自身にとっても明らかにマイナスであり、ファンの側としても見苦しいのである。この種のリスクは災害や事故対策と同様に予防措置のみが効果的な対処法である。

ナオタンを体形、身体能力維持しようとするならば特に胴体周り及び下半身を使う筋トレやスポーツが欠かせない。之には以下の根拠があげられる

- ・ ナオタンはボインで脚が長いので重心が高く不安定である(転倒の際に怪我をする)。
- ・ 下半身の筋力は更年期、老年期を迎える際著しく弱体化しがちになる
- ・ 運動をして体に適度な付加をかけないと筋力だけではなく骨までやせ細り、骨粗鬆症になる。
- ・ 加齢性筋肉の萎縮は関節への相対的な負荷の増加をもたらす、膝痛、腰痛を引き起こす

- ・ 閉経をすると梨型体形化し易くなる
- ・ 梨型体系化すると腹筋がたるんで下腹も出てくる

筋肉が萎縮すると皮膚がたるんで非常に醜くなってしまう。下半身はいわば体を支える土台である。下半身を鍛えたいなら走ったり自転車をこいだり水泳をしたりすればよい。バスケやサッカーのような運動ならば走りに緩急が付き、持久力、瞬発力両方が鍛えられる。スクワットは色々な種類があるが、かがみ跳躍(陸自のレンジャー課程でやるトレーニング)やうさぎ跳びのような極めて膝を痛めやすい運動は避けたほうが良い。

胴回りの筋力群を鍛える場合について述べる。腹筋や背筋のように胴回りの筋肉のみを中心に鍛える場合と腕立て伏せや懸垂(腹筋を使う)、サンドバック打ち(主に体側、上半身をかがめる動きを取り入れれば背筋も使う)のように全身的な運動の動きの中で鍛える場合の2種類がある。

上半身の鍛錬も必要である。少なくともベンチプレスで自分の体重とおなじ重さ(55kg程度)を持ち上げられる位の筋力は必要である。そうすれば胸筋や二の腕周りも引き締まる。上半身を鍛える運動としては腕立て伏せ、懸垂、バットの素振りやサンドバック打ち、ロッククライミング、水泳などがあげられる。ダンベルやハンドグリップなどを用いて腕の筋群を鍛えるのもよくある方法だ。

筋力トレーニングは乳酸が腕にたまる位追い込まないと成果は出にくい。毎回同じ負荷で同じ様な事ばかりやっていたらいつまでも進歩しない。例えば腕立て伏せの場合もいい加減に回数をこなそうとするのではなく下げる位置と上げる位置をきっちり定め、乳酸で体が上がらなくなるような状態まで追い込み、運動後其の部位が筋肉痛になる位が筋肉を発達させる最も良い状態となる。筋肉痛になった場合は全く動かさないのではなく軽い負荷で其の部位を動かした方が痛みがひく。筋肉痛がひいたら再び負荷をきつくして追い込み、筋肉痛にさせる。其れを長年くりかえせば効率よく筋力がついてくる。誰かと一緒に競争すると闘争心をかきたてて一人で行うより多くの運動量をこなせる傾向にあるので鍛錬の効果が増す。だがオーバーワークで筋トレをやりすぎると筋が萎縮したり肉離れ、炎症の原因になるのできつすぎず、軽すぎず自身の体力にあわせた負荷を設定すべきなのである。サッカーやランニングなどもやりすぎると筋疲労がたまるだけではなく関節の炎症と貧血を起こす。だからそれらの疲労をとる為に運動をしない日を週に何回か設ける方が自身にとって有益でメリハリのきいた生活ができるのだ。

肉体の鍛錬をする場合、多かれ少なかれ関節の炎症と隣りあわせとなる。特に腰、膝、足首などは故障が慢性化しやすい。炎症をすぐに抑えるには関節は違和感を感じたらすぐに塗り薬などを塗り、負荷のかかるような鍛え方を控えるべきである。また、ストレッチなどで関節をやわらかくする事も関節の故障防止に役立つ。関節の炎症が慢性化した場合は其の問題となる運動をなるべく中止し、其の部位に負荷のかからない(痛まない)別のトレーニングに切り替えるべきである。例えば足首をくじいて炎症を起こした場合は走る運動はせずに自転車や水泳などに切り替えれば足首に負担がかからずに下半身を動かす事が出来る。自分の経験だが慢性的な関節炎症を抑える薬として最も効き目があるのは久光製薬のモーラステープである。之は経皮沈痛消炎剤である。患部になるべく一日中貼り付けて一日一枚使用するのが基本である。ただし、使用中および使用後数週間程度は其の患部を紫外線や太陽光にさらしてはならない。屋外に出る時は天候に関わらず衣服、サポーターを着用し、貼付部を紫外線にさらさないようにするのが正しい使用方法である。治ってから4週間程度も同様の注意が必要であるとの説明がある。さもなくば副作用で光線過敏症を起こし、肌が荒れてしまう。使用方法を守れば肌荒れはおきない。塗り薬としては久光製薬の

エラダーム軟膏が特に効き目が強い。だが、エラダームも塗っている期間が長いと其の部分がかゆくなり、肌荒れを起こす。エラダームは慢性化前の軽い炎症を抑える時のみに限定すべきではないかというのが自分の経験である。

顔のしわが増えて醜くなるのを予防する対策もとるべきである。特に老化すると目の周り、口周り、首の喉周りなどがしわだらけになり、肌も張りがなくなりがさがさになる。全体としてたくあんやナスの漬物の如く変形してしまう。デビュー時と現在の石川ひとみの顔を見比べれば一目瞭然である。一見若々しく見える現在の由美かおるも首筋を見れば加齢によって筋が浮き出て非常に醜い。また、しみのような斑点が出てきたりする。肌だけではなく顔の筋肉もやせ細り、皮膚がたるみ、全体的に下膨れのような顔になる危険性もある。デビュー時と現在の麻丘めぐみを見比べてみれば分かる。老人になると歯が抜け、あごの骨もやせてしまいがちになる。このような醜い顔にならない為にはあごや首周り、顔面の筋肉を鍛え、しわをのばす体操のような事すべきである。顔面部は女にとって重要な部分の一つである。自分はしわの増加防止には詳しくないのであまり突っ込めないが、顔の劣化を遅らせてなるべく長く女としての賞味期限を保つべきではないか。さもなくば肌の鍛錬を怠った結果干し物や漬物のごとく醜い顔となる。その醜塊を鈴木その子ばりの厚化粧をしてごまかそうとしてもその醜い本質は変わらないのである。

喫煙は中毒症状による一時的なストレス発散とひきかえに美貌維持や健康維持、歌手活動の観点からは百害あって一利なしである。それらの根拠として以下の点が挙げられる。

- ・ 歌手の生命線である声帯に悪い影響を及ぼす。
- ・ 肺ガンに非常になりやすくなる
- ・ すすがたまるので塵肺や肺気腫のような病気になりやすくなる。そして肺ガンに発展しやすい。
- ・ 心配機能が衰え、持久力が低下する
- ・ 気管支喘息を誘発する
- ・ 肌が荒れる
- ・ 吐く息や加齢臭がタバコ臭くなる。
- ・ 歌唱力や声量が落ち、低くどすの利いた醜いがらがら声になる
- ・ 心疾患、脳疾患の原因になる

以上のように加齢による見た目の劣化を抑えるにはストイックで規則正しい食生活、体力練成、肌の鍛錬などが欠かせない。持続的努力は労力を要するが其の分見た目というナオタンの生命線の維持に確実に繋がっていく。

5.5 バイオ・ナオタンについて

自分はバイオテクノロジーに全く詳しくないのでこのテーマには少し触れるだけにします。ナオタンのように見た目の優れた女は非常に少ないのが現実である。見た目の優れた女の生体細胞を集め、そのクローン人間を大量生産すれば安いコストで醜い人間を自然淘汰出来る。また、優れた女同士の細胞のみを組み合わせ、多様な美女を人工的に生産し、人間社会に送り出す事が出来れば女の全体的な質は格段に向上し、男にとって人間社会をより魅力的な物に出来る。不老不死とナメック星人のような自己再生能力の技術が確立できれば永遠の美が備わるのであるので女にとってもこれほど有益な事はない。そして将来的に頭脳、性格、精神の堅牢さ、見た目全て、再生能力、身体能力、不老不死能力などの全ての要素において一定水準以上の優れた能力を持つ完璧な細胞を作り出す事が可能になれば、多様な究極の無限大パーフェクト・ボディ(完全体)を作り出す糧になるのである。より完璧になった究極のナオタンが地球上に出現する日が来るかもしれない。

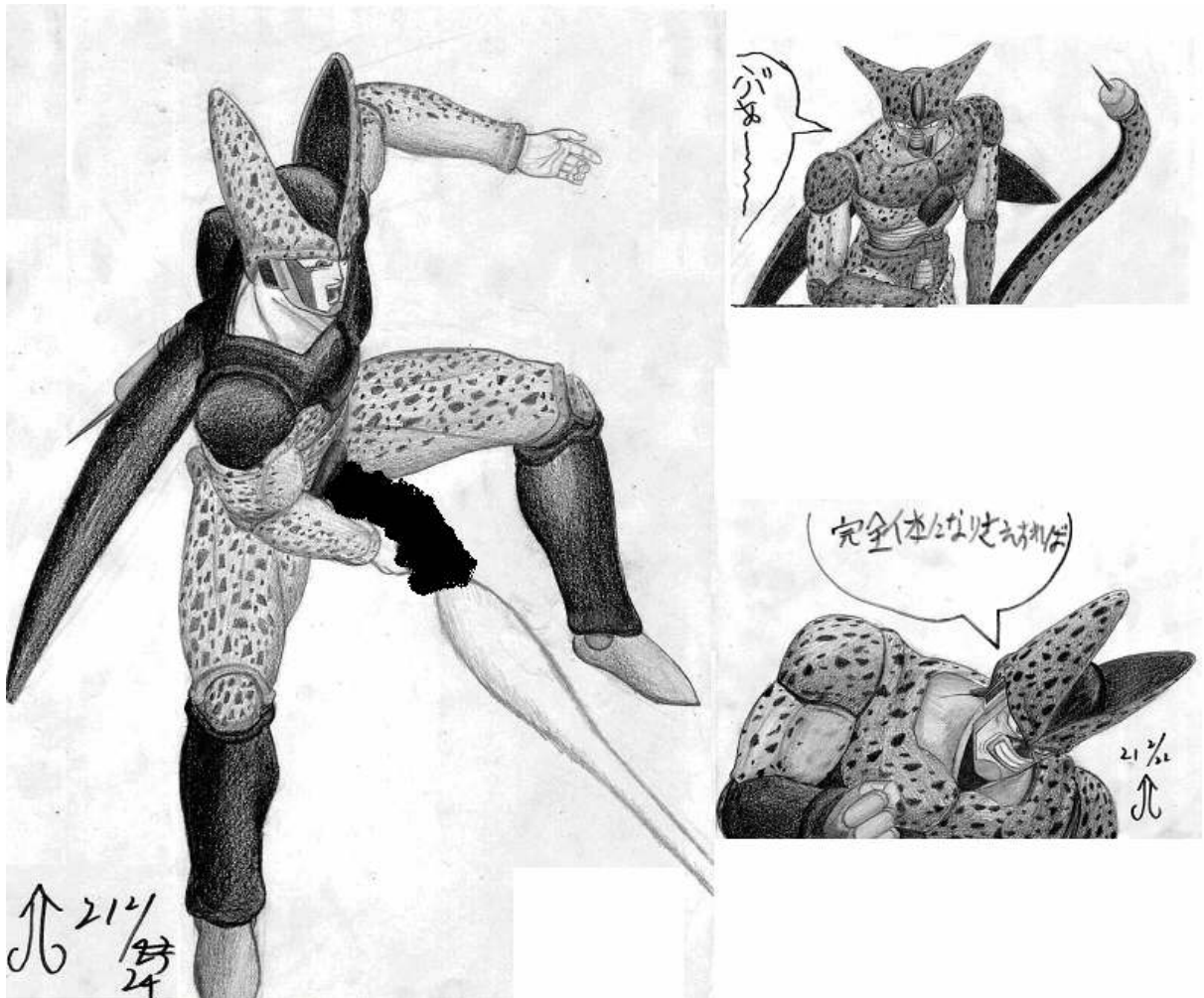


図 5.4.1 完全体のイメージ

第6章 結言

河合奈保子への提言としてレポートを書いたのが18年8月頃であったが、内容的に主観的すぎて不完全な部分が多かった。其の時の経験を生かして本論考はより実効性のある内容にした。之はあくまでナオタンを持続的に売れる歌手にするにはどういう術策が考えられるか、ナオタンの問題点や欠点にはどのように対処し、よりよい結果につなげればよいかという観点から内容を作成している。だが之でもまだ完全とはいえない。アルバムの曲や売上の解析は資料不足で出来ない。仮にアルバムも全曲分資料があればより正確な分析ができたであろう。また、論理学や誤謬などについての勉強をすれば矛盾のない美しい文章になるはずである。工学部出なので大学、大学院は工学、応用数学的な事が殆どだったので言語分野の論理学は履修していない。誤謬の全くない文章こそ理想なのだが自分に其れを使いこなすようになるには相当な勉強が必要である。

自己の利点を音楽活動に生かしていくだけでなく欠点や問題点を直視して探求し、其の対策を練る事でより賢い行動は生まれていく。都合のよい事だけ考え、現実逃避や臭い物に蓋をしているようでは永遠に真理に到達できない。臭いものは様々な対策で取り除くべきなのだ。だから本論考は半分批判的な内容になった。

だが冷静に考えてみると分かるが、実際のナオタン園長が仮に之を呼んだとしても園長の脳みそにはこの内容の本質を見抜き、知恵を自分の物にするだけの知性が伴っていないだろう。そもそも女性的文系脳は科学的、合理的、論理的に現実を直視して物事を考える能力が低く理性で筋道をたてて思考する事ができない。人間は元来非常に保守的であり墮落しやすく自分の好きな事に共感を求めるだけの性格(自分の好きな事=ファンの好きな事と履き違えたりする)では本当の意味でのファンの視点に立った活動はほぼ不可能である事も分かっている。そして、Nahoko音の時もそうであったがナオタンの音楽活動はアーティストの能力ではナオタン個人の好き嫌いで仲間を募り、単なる仲良しクラブで趣味的作品を作っていくので優秀な人材や組織にも殆ど恵まれない。だからバーチャル・ナオタンを2次元平面上に実現するほうが長期的に売上を維持する事や音楽作品のファンから見た充実度からも期待できるというのが今のところの自分の結論である。

第7章 参考文献

(1)中央公論社 世界の名著 16 マキアヴェリ(君主論, 政略論) 昭和 53 年刊

(2)ナオタンのシングル売上

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~yamag/single/kawainaoko.html>

(3)こけし原芳恵のシングル売上

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~yamag/single/kashiwabara.html>

(4)ブス田聖子のシングル売上

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~yamag/single/seiko.html>

(5)小泉今日子のシングル売上

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~yamag/single/kyonkyon.html>

(6)中森明菜のシングル売上

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~yamag/single/akina.html>

(7)石川秀美のシングル売上

<http://www15.ocn.ne.jp/~hoppy/singles/singles.html>

・ 戦闘機の主要緒元

(8)[http://ja.wikipedia.org/wiki/F-15E_\(%E8%88%AA%E7%A9%BA%E6%A9%9F\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/F-15E_(%E8%88%AA%E7%A9%BA%E6%A9%9F))

(9)http://en.wikipedia.org/wiki/F-16_Fighting_Falcon

(10)http://en.wikipedia.org/wiki/Super_Hornet

(11)http://en.wikipedia.org/wiki/F-22_Raptor

(12)<http://www.aerospaceweb.org/aircraft/fighter/f22/>

・ オリコン年間売り上げ上位 50 曲一覧表(昭和 55 年から平成元年)

(13)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1980.html>

(14)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1981.html>

(15)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1982.html>

(16)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1983.html>

(17)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1984.html>

(18)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1985.html>

(19)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1986.html>

(20)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1987.html>

(21)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1988.html>

(22)<http://www.geocities.jp/entamedata/music/music1989.html>